

W02H 取扱説明書

ご利用の前に

パソコンで使う

取り付けかた

インターネット
接続

Windows XP

Windows 2000

Windows Me

Windows 98 SE

ダイヤラの
使いかた

PDAで使う

取り付けかた

インターネット
接続

ダイヤラの
使いかた

auの
ネットワークサービス

付録

CDMA 1X
WIN

au by KDDI

はじめに

このたびは、「W02H」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前に、このW02H取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるよう大切にお手元に保管してください。このW02H取扱説明書を紛失されたときは、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

●本製品の使用環境は以下のとおりです。

◎パソコン

PCカードTypeIIスロット搭載のパソコンでMicrosoft® Windows® XP (SP1, SP2)、Windows® 2000 Professional、Windows® Me、Windows® 98 Second EditionがプリインストールされているPC/AT互換機（アップグレードからは保証しません。）

◎PDA

・ご利用になれるPDAにつきましては、auのホームページ <http://www.au.kddi.com> をご参照ください。

●本書は、お客様がWindowsおよびお使いのPDAの基本操作に習熟していることを前提にしています。パソコンやPDAの操作については、お使いのパソコンまたはPDAの取扱説明書をご覧ください。

●本書内で使用されている表示画面、イラストなどは説明用に作成されたものです。

●本書の内容の一部または全部を無断転載することは、禁止されています。

●本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

●本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。

●乱丁、落丁はお取り替えいたします。

なお、auホームページでもこの取扱説明書をダウンロードいただけます。

auのホームページ <http://www.au.kddi.com>

W02Hの最新ダイヤソフトは、日立ホームページにおいてダウンロードいただけます。

・下記URLは日立HPモバイルトップとなっておりますので、こちらより、W02Hのページへアクセスしてください。

日立のホームページ <http://www.hitachi.co.jp/products/personal/mobile/index.html>

■ 本製品をご利用いただくにあたって

<通信上に関する注意>

- ・W02Hは、表示ランプが消灯しているときは使用できません。表示ランプ（緑）が安定して点滅する電波状態が良好な環境で通信を行ってください。（ただし、ダイヤラにて表示ランプを消灯した場合を除く。）
- ・サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、地下駐車場、トンネル、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは、通信ができない場合があります。またサービスエリア内であっても、地域的に電波の伝わりにくい場所もありますのでご了承ください。
- ・au電話はデジタル方式の特徴として電波の弱い極限まで一定の高い通信品質を維持続けます。したがって、通信中この極限を超えてしまうと、突然通信が切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- ・au電話は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえませんのでご注意ください。（ただし、CDMA方式は通信上の高い秘話機能を備えております。）
- ・本製品は国内でのご利用を前提としています。国外に持ち出での使用はできません。（This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.）
- ・au電話は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- ・公共の場での、ご使用の際は周りの方の迷惑にならないようご注意ください。

技術基準設計認証番号：AD04-0473001

認証年月日：2004年8月31日

本書の見かた

編タイトル

本書は、「ご利用の前に」、「パソコンで使う」、「PDAで使う」、「auのネットワークサービス」、「付録」の5つの編で構成されています。

章タイトル

この章のタイトルです。パソコン、PDAの別、ご利用のOSを確認して説明を読んでください。

インターネット接続 (Windows XP)

準備

インストール条件

W02HをWindows XPでご利用いただくには、次の環境が必要です。

CPU	Pentium 300MHz以上
必要メモリ	64M/バイト以上
ハードディスクの空き容量	6M/バイト以上 (アドレス帳登録なしの場合) 7M/バイト以上 (アドレス帳登録500件の場合)

ダイヤラのインストール

- 1 パソコンの電源を入れ、Administrator (管理者) 権限でログオンする
- 2 PCカードスロットにW02Hが取り付けられていないことを確認する
- 3 付属のCD-ROMをドライブにセットする
自動的にインストーラが起動します。
- 4 W02Hdialer (PC版)の【インストール】をクリックし、ファイルのダウンロード画面で【開く】をクリックする

お知らせ

- CD-ROMをセットしてもインストーラが自動的に起動しない場合は、【スタート】→【ファイル名を指定して実行】をクリックし、次のように入力して【OK】をクリックしてください。
<例>CD-ROMドライブがDドライブの場合
d:\forpc\WPC_Dialer_Setup.exe

26

操作説明

操作を順番に説明します。

お知らせ

知っていると便利なことや、注意が必要なことなどをお知らせします。

操作画面

操作中の画面例です。

● 本書内で使用されている表示画面、イラストなどは説明用に作成されたものであり、変更になる場合があります。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください。

■ この「安全上のご注意」には、W02Hを使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

■ 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

	危険	この表示は「人が死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
	警告	この表示は「人が死亡または重傷 ^(※1) を負う可能性が想定される内容」を示しています。
	注意	この表示は「人が傷害 ^(※2) を負う可能性が想定される内容や物的損害 ^(※3) の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷 : 失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 傷害 : 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害 : 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

図記号の説明



禁止

行ってはいけない(禁止) 内容を示しています。



分解禁止

分解してはいけない(禁止) 内容を示しています。



強制

必ず実行していただく(強制) 内容を示しています。

免責事項について

■ 地震、雷、風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■ 本商品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。

■ 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■ 大切なデータは別途バックアップをとっておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化、消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



危険 必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。



強制

必ず専用の周辺機器をご使用ください。発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。



禁止

高温になる場所(火のそば、ストーブのそば、炎天下など)や引火性ガスの発生するような場所での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。



禁止

電子レンジや高压容器などの中に入れてください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。



禁止

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。



禁止

接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入れたりしないでください。火災や故障の原因になる場合があります。



警告 必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。



禁止

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電の恐れがあります。



分解禁止

分解や改造をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本商品などに不具合が生じてもKDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)では一切の責任を負いかねます。携帯電話および電波を発する電子機器の改造は電波法違反になります。



禁止

水などの液体をかけたりしないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気が多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対しないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。(雨天・降雪中、海岸・水辺などでの使用は特にご注意ください。)万一、液体がかかってしまった場合には直ちに使用を中止してください。水濡れや湿気による故障は保証外となり、修理ができません。



禁止

自動車運転中の使用は危険なため法律で禁止されています。



禁止

航空機内での携帯電話および電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。パソコンおよびPDAに本製品を接続しないでください。



強制

植込み型心臓ペースメーカーや医用電気機器のお近くで本製品を使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことを守ってください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、本製品をペースメーカーから22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性がありますので、本製品を使用しないよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
 - ・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
 - ・病棟内では、本製品を接続したパソコンやPDAの電源を切ってください。
 - ・ロビー等であっても付近に医用電気機器がある場合は、本製品を接続したパソコンやPDAの電源を切ってください。
 - ・医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカー以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養等)は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカー等にご確認ください。



強制

高精度な電気機器の近くでは電源をお切りください。

電気機器に影響を与える場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例:ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドア等。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)



注意

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

直射日光のあたる場所(自動車内など)や高温になる所、極端に低温になる所、湿気やホコリの多い所に保管しないでください。
変形や故障の原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。



禁止

幼児の手の届く場所には置かないでください。
傷害などの原因となります。



強制

使用中に煙が出たり、においがする、異常な音がする、発熱しているなど異常が起きたら使用しないでください。異常が起きた場合は本製品を接続したパソコンの電源を切り、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合などもそのまま使用せず、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。



湿気が多い場所で使用しないでください。

身につけている場合は汗による湿気が故障の原因となる場合があります。水濡れや湿気による故障と判明した場合は保証の対象外となり、修理ができません。



お客様による修理などは危険ですから、絶対にしないでください。



自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。



キャッシュカード・フロッピーディスク等の磁気を帯びたものを近づけないでください。記録内容が消去される場合があります。



本製品の強引な取り付け・取り外しは行わないでください。機器の故障やけがの原因となります。必ずお使いのパソコンやPDAの取扱説明書に記載されている注意事項もご確認ください。



パソコンから取り出した直後のW02Hには触れないでください。

高温になることがありますので、やけどをするおそれがあります。皮膚の敏感な方は特にご注意ください。



小さなお子さまのいるご家庭で本製品をご使用になる場合は、お子さまが外部アンテナおよびケーブルで遊ばないようにご注意ください。

ケーブルが首に巻き付いたり、パソコンが落下してけがをするおそれがあります。



外部アンテナのケーブルを強く引っ張ったり振り回したりしないでください。ケーブルの破損・断線の原因となります。



外部アンテナを折り曲げたりしないでください。

変形し、使用できなくなる場合があります。



皮膚に異常を感じたときは、直ちに使用をやめ、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

◎W02H

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース	ポリカーボネート樹脂	—
メタルカバー	ステンレス	—
デコレーションパネル	ポリカーボネート樹脂	—
アンテナエレメント	ニッケルチタンおよびステンレス	—
アンテナキャップ	ポリエステル	—
外部アンテナ端子カバー	エラストマー	—
イヤホンマイク端子カバー	エラストマー	—
端子カバー	エラストマー	—
ネジ	鉄	黒ニッケルメッキ
飾りラベル	ポリエチレンテレフタレート	—
銘板	ポリエチレンテレフタレート	—

◎外部アンテナ

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース	ポリカーボネート+ABS樹脂	—
デコレーションパネル	ポリカーボネート樹脂	—
アンテナエレメント	ニッケルチタンおよびステンレス	—
アンテナキャップ	ポリエステル	—
ケーブル	耐熱性塩化ビニール	—
コネクタ 外装部	ポリ塩化ビニール	—
コネクタ	リン青銅	ニッケルメッキ
外部アンテナホルダー	ポリカーボネート+ABS樹脂	—
バンド	ナイロン	—
ネジ	鉄	黒ニッケルメッキ
銘板	ポリエチレンテレフタレート	—

◎イヤホンマイク

使用場所	使用材料	表面処理
イヤホン部	ABS樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
イヤホン部 イヤーパッド	シリコン	—
イヤホン部 デコレーションパネル	ABS樹脂	クロムメッキ
ケーブル	ポリ塩化ビニール	—
クリップ	ABS樹脂	—
マイク部 カバー	ABS樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
マイク部 ブッシュ	ポリ塩化ビニール	—
ジャック 外装部	ポリ塩化ビニール	—
ジャック	リン青銅	金メッキ

◎PCカードアダプタ

使用場所	使用材料	表面処理
フレーム	PBT樹脂	—
化粧板	ステンレス	—
コネクタ	PPS樹脂	—
シャッター	PPS樹脂	—
接触パネ	銅合金	ニッケルメッキ
飾りラベル	ポリエチレンテレフタレート	—
銘板	ポリエチレンテレフタレート	—

◎カードケース

使用場所	使用材料	表面処理
カードケース	AS樹脂	—

取り扱い上のご注意

- 無理な力がかかると内部の基板等が破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿は避けください。(周囲温度5℃～40℃、湿度30%～85%の範囲内でご使用ください。)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤等を用いると、外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 使用中は温かくなることがありますが異常ではありません。
- パソコンやPDAの電池が不足した状態では、動作が不安定になります。パソコンの電池の残量をよく確認のうえ、お使いください。
- 誤って操作した場合や動作が不安定な場合は、パソコンの電源を一度切り、もう一度電源を入れ直す、PDAのリセットボタンを押すなどして操作し直してください。
- W02HをパソコンやPDAのスロットに長期間挿入したままにしないでください。
- W02Hに貼ってある製造番号の印刷されたシールは、お客様の本製品が電波法および電気通信事業法により許可されたものであることを証明するものですので、はがさないでください。

付属ソフトウェアに関するご注意

本製品に付属のソフトウェアのご使用にあたり、下記の事項にご注意ください。

- お客様には、本ソフトウェアの使用権のみが譲渡されます。著作権が移転するものではありませんので、第三者への譲渡・販売などはできません。
- 本ソフトウェアのコピーは、保管(バックアップ)の目的のみ許可されます。他人への譲渡・販売などの目的でコピーをすることはできません。
- 本ソフトウェアのご使用にあたり、生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する損害の請求については、当社はその一切の責任を負いません。
- 本ソフトウェアをご使用の前に、インストール時に画面に表示される使用許諾契約を必ずお読みください。使用許諾契約に同意いただければじめて、本ソフトウェアをご使用いただくことができます。

目次

はじめに

本書の見かた	1
安全上のご注意	2
目次	8

ご利用の前に 11

W02Hでできること	12
各部の名称と機能	16
ランプ表示について	20

パソコンで使う 21

取り付けかた	22
パソコンへの取り付けかた	22
アンテナについて	22
内蔵アンテナを使用する	23
外部アンテナを使用する	24

インターネット接続 (Windows XP) ... 26

準備	26
インストール条件	26
ダイヤラのインストール	26
ドライバのインストール	30
インストール結果の確認	33
アンインストール	34
PacketWIN	36
ネットワーク接続を設定する	36
インターネットに接続する	40

インターネット接続 (Windows 2000) ... 41

準備	41
インストール条件	41
ダイヤラのインストール	41
ドライバのインストール	44
インストール結果の確認	47
アンインストール	48
PacketWIN	51
ダイヤルアップ接続を設定する	51
インターネットに接続する	56

インターネット接続 (Windows Me) ... 57

準備	57
インストール条件	57
ダイヤラのインストール	57
ドライバのインストール	60
インストール結果の確認	62
アンインストール	62
PacketWIN	65
ダイヤルアップ ネットワークを設定する	65
インターネットに接続する	68

インターネット接続 (Windows 98 SE) ... 69

準備	69
インストール条件	69
ダイヤラのインストール	69
ドライバのインストール	72
インストール結果の確認	74
アンインストール	75
PacketWIN	78
ダイヤルアップ ネットワークを設定する	78
インターネットに接続する	82

ダイヤラの使いかた 83

ダイヤラの起動	83
ダイヤラを起動する	83
ダイヤラ画面の見かた	83
電話のかけかた／受けかた	84
自分の電話番号を確認する	84
電話をかける	84
電話を受ける	86
履歴を使う	87
相手の声の音量を変える	90
着信音の音量を変える	91
着信音を変える	91
使用時間や使用バケット数を表示する	92
表示ランプを消灯する	93
エニーキーアンサーを設定する	93
アドレス帳	94
アドレス帳に登録する	94
登録した電話番号にかける	95
アドレス帳を修正する	96

アドレス帳を削除する	96
履歴からアドレス帳に登録する ...	97
テキストファイルやCSVファイルを利用する	97

PDAで使う **99**

取り付けかた	100
PDAへの取り付けかた	100
アンテナについて	100
内蔵アンテナを使用する	101
外部アンテナを使用する	102
インターネット接続	104
準備	104
ダイヤラのインストール	104
ダイヤラのアンインストール ...	106
PacketWIN	107
接続を設定する	107
インターネットに接続する	110
ダイヤラの使いかた	112
ダイヤラの起動	112
ダイヤラを起動する	112
ダイヤラ画面の見かた	112
電話のかけかた／受けかた	113
自分の電話番号を確認する	113
電話をかける	113
電話を受ける	115
履歴を使う	116
相手の声の音量を変える	120
着信音の音量を変える	120
着信音を変える	121
使用時間や使用パケット数を表示する	122
表示ランプを消灯する	122
エニーキーアンサーを設定する	123
アドレス帳	124
アドレス帳に登録する	124
登録した電話番号にかける	125
アドレス帳を修正する	126
アドレス帳を削除する	126
履歴からアドレス帳に登録する	127
テキストファイルを利用する ...	127

auのネットワークサービス **129**

利用できるauのネットワークサービス	130
お留守番サービス(標準サービス)	131
お留守番開始1	132
お留守番開始2	132
お留守番停止	133
サービス中に電話がかかってくると	134
伝言お知らせ	135
お留守番伝言再生	136
着信お知らせ	137
応答内容変更	138
不在通知	138
遠隔操作サービス	140
ボイスメール	140
英語ガイダンス	142
日本語ガイダンス	142
ご利用料金	142
着信転送サービス(標準サービス)	143
無応答転送	144
話中転送	145
フル転送	146
海外の電話に転送するには	146
転送停止	147
遠隔操作サービス	148
ご利用料金	148
割込通話サービス(標準サービス)	149
割込禁止	150
割込通話開始	150
割込通話停止	151
ご利用料金	151
発信番号表示サービス(標準サービス)	152
発信時の操作について (自分の電話番号の通知)	152
着信時の表示について (かけてきた相手の電話番号の表示)	152
番号通知リクエストサービス(標準サービス)	153
番号通知リクエストサービス開始	153
番号通知リクエストサービス停止	153

迷惑電話撃退サービス (オプションサービス)	154
.....	
受信拒否リスト登録	154
受信拒否リスト削除	155
受信拒否リスト全削除	155
ご利用料金	155
通話明細分計サービス (オプションサービス)	156
.....	

付録 **157**

ATコマンド	158
ATコマンドについて	158
ATコマンドリファレンス	160
ATコマンド	160
リザルトコード	161
故障かな?と思ったら	162
アフターサービス	171
主な仕様	173
索引	174

ご利用の前に

W02Hでできること	12
各部の名称と機能	16
ランプ表示について	20

W02Hでできること

PacketWIN

本製品はPacketWINを利用して、データ通信が行うことができます。

- 最大2.4Mbps*での通信がご利用になれます。
- PCカードType II スロットを装備したパソコンまたは本製品対応のPDAでご利用になれます。

※ 最大2.4Mbpsで通信できるエリア、通信速度、通信料金については、最新のau総合カタログ、auホームページをご確認ください。

■PacketWINとは

Packet通信方式を採用した、CDMA 1X WINのデータ通信サービスです。Packet通信によるインターネット接続やLAN接続を行うことができます。

W02Hは「au.NET (エーユーネット) 等のPacketWIN対応プロバイダ (別途、プロバイダとの契約が必要となります)」のご利用により、パソコンなどを手軽にインターネットに接続し、Packet通信を行うことができます。

■パケット通信ご利用上の注意

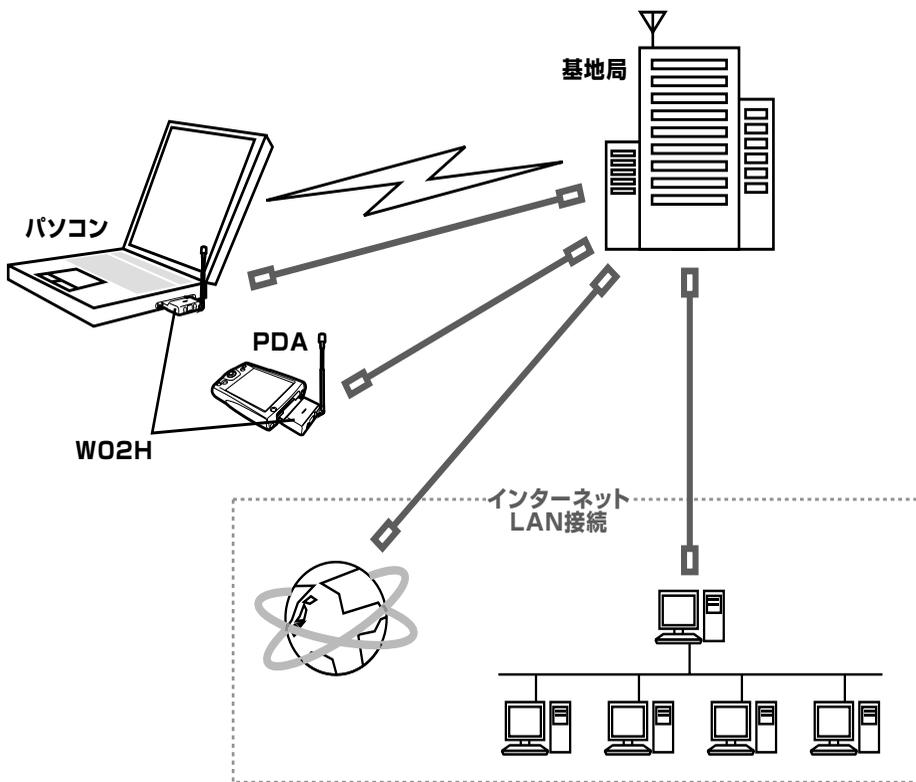
画像を含むホームページの閲覧、動画データ等のダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと、パケット通信料が高額となりますのでご注意ください。

またワーム型のコンピュータウイルスなどの影響により、常時W02Hとパソコンを接続した環境にてデータ通信をご利用の場合、お客様が意図しない通信が継続的に発生する恐れがあります。ご利用にあたりましては、ウイルス予防、対処策を講じていただくと共に、ご利用方法につきましてもご配慮いただきますようお願い申し上げます。

■ご利用パケット通信料のご確認方法について

料金照会 (今月 (前日または前々日まで) の割引適用前の概算パケット通信料) を照会いただけます。

パソコンから⇒<http://www.au.kddi.com>⇒お客さま窓口

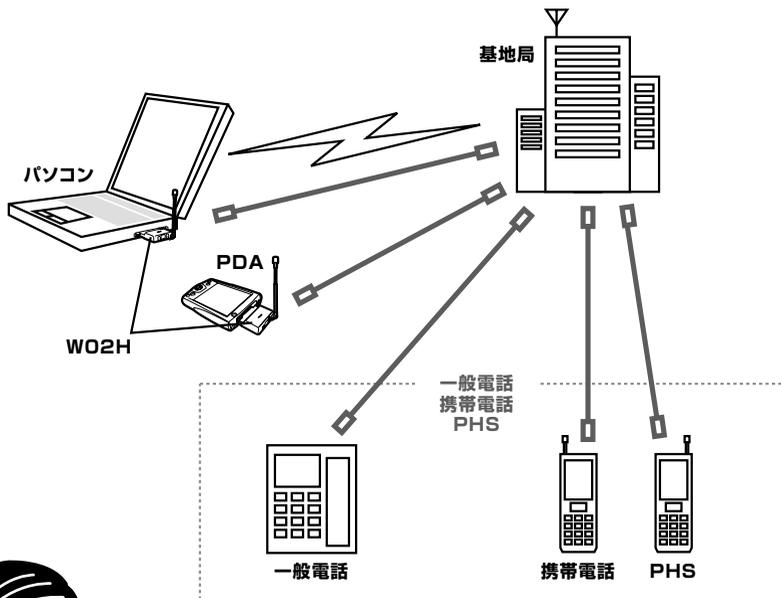


お知らせ

- auパケットデータ通信サービスでは、ダイヤルアップ接続におけるログインIDのドメイン部分(@以降)に大文字を使用しての接続はできません。必ず小文字で設定の上接続してください。
 - データ通信サービスは、特別なお申込みが不要な標準サービスです。
 - 別途ご契約により、PacketWIN対応プロバイダ*による接続もできます。
 - 通話中はデータ通信できません。
 - W02Hは電波を利用しているため、電波の弱い場所などでは、パケット通信できない場合があります。
 - 実効速度(スループット)は、接続する機器の種類やお使いになる環境(天候、電波状況やネットワークの混雑状況)により、設定した通信速度にならない場合があります。
 - W02Hは回線交換通信サービス(ASYNC通信/FAX通信)はサポートしておりません。
 - 電波状態が悪いときなどは、通信速度が最大2.4Mbpsから最大144kbpsに落ちたり、通信できない場合があります。
- ※ 対応プロバイダについては、auホームページをご覧ください。また、設定方法は通信ソフトによって異なりますので、各対応プロバイダの設定手順書をご覧ください。

音声通話

付属のイヤホンマイクとダイヤラを使用して、パソコンやPDAから携帯電話として音声通話が行えます。



■W02Hからご利用いただけるダイヤルサービス

- 全国の一般電話との通話
- 全国の携帯電話・PHS・自動車電話との通話
- au国際電話サービス (005345:お申し込みは不要です。)
- ポケットベルの呼び出し (市外局番が必要です。)
- 171 (NTT災害対策用ボイスメール)
- 177 (天気予報:市外局番が必要です。)
- 117 (時報)
- 104 (NTT電話番号案内)
- 110 (警察への緊急通報)※
- 119 (消防への緊急通報)※
- 118 (海上保安本部への緊急通報)※

● 船舶電話

※警察・消防・海上保安本部へ緊急通報の際は、お客様の所在地をご確認ください。なお、おかけになった地域によっては管轄の通報先に接続されない場合があります。

- ・ 次のNTTサービスはご利用になれません。

コレクトコール、電報の発信、伝言ダイヤル、ダイヤルQ2、新幹線との通話、116 (NTT営業案内)

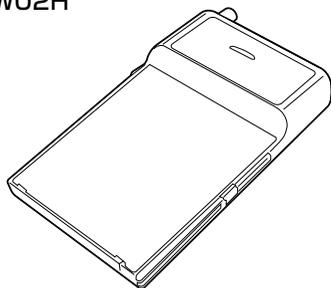
お知らせ

- データ通信中は、ダイヤラを起動できますが、電話をかけたり、受けたりすることはできません。

各部の名称と機能

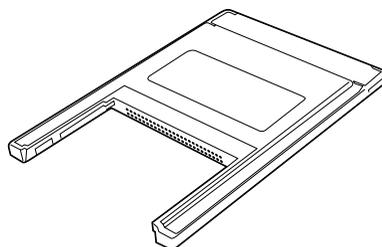
お買い上げいただいたパッケージの中には以下のものが入っています。お使いになる前にご確認ください。万一、不足しているものがあった場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●W02H



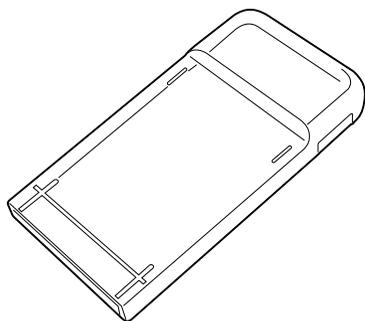
PCカードアダプタを使用してパソコンのPCカードスロットに取り付けるか、PDAのカードスロットに取り付けて使用します。

●PCカードアダプタ



W02HをパソコンのPCカードスロットに取り付けるとき使用します。

●カードケース



W02HをPCカードアダプタに接続したまま収納できるケースです。

●CD-ROM (1枚)

ダイヤラなど本製品の使用に必要なソフトウェアや取扱説明書が収録されています。

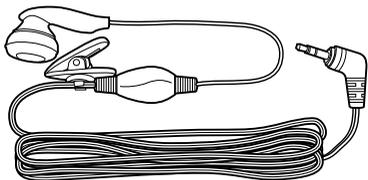
●取扱説明書

本製品でデータ通信をするための設定方法、ダイヤラによる音声通話のしかたなどを説明しています。

●保証書

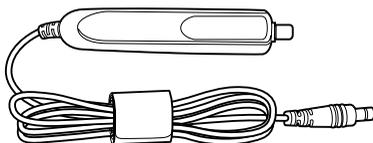
大切に保管してください。

●イヤホンマイク



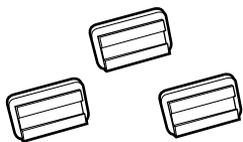
音声通話をするときにW02Hのイヤホンマイク端子に接続して使用します。

●外部アンテナ



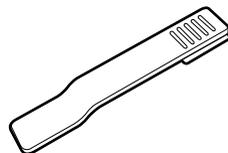
快適な通信をご利用いただくため、W02Hの外部アンテナ端子に接続して使用します。

●外部アンテナホルダー
パソコン用 (3個)



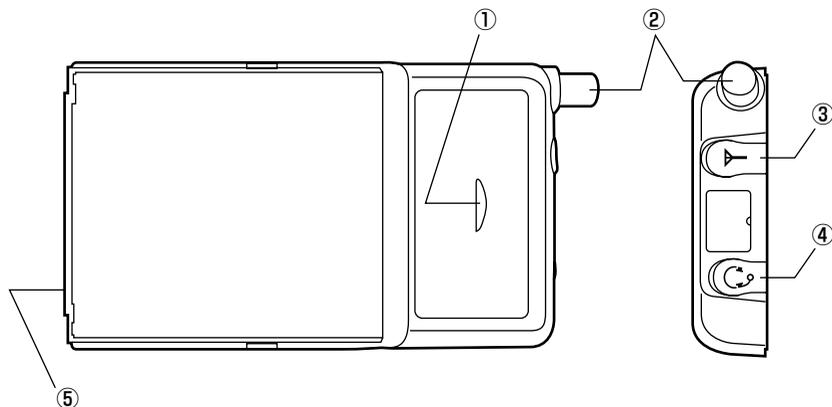
外部アンテナをパソコンに取り付けるときに使用します。

●外部アンテナホルダー
PDA用



外部アンテナを衣服のポケットなどに取り付けるときに使用します。

■W02H

**① 表示ランプ**

電波の強さや現在の通信状態などの情報をお知らせします。

② 内蔵アンテナ

ご使用のときはアンテナを引き出します。

③ 外部アンテナ端子

外部アンテナをご使用の場合、カバーを外して外部アンテナのコネクタを差し込みます。

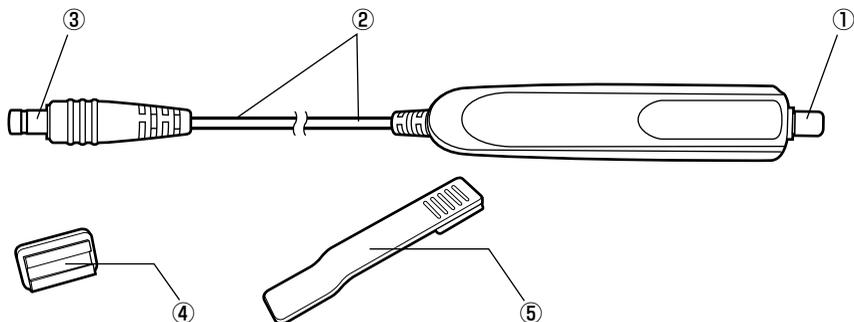
④ イヤホンマイク端子

イヤホンマイクをご使用の場合、カバーを外してイヤホンマイクのジャックを差し込みます。

⑤ カードスロットコネクタ

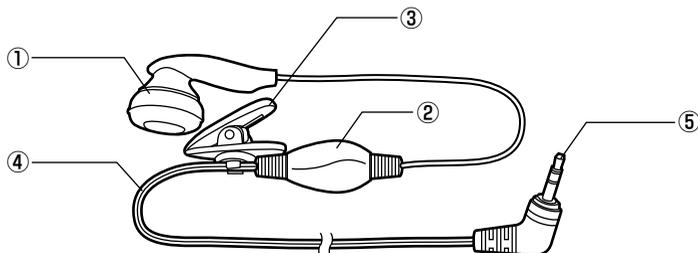
PCカードアダプタまたはPDAのカードスロットに差し込みます。

■外部アンテナ



- ① アンテナ
ご使用のときはアンテナを引き出します。
- ② ケーブル
- ③ コネクタ
WO2Hの外部アンテナ端子に差し込みます。
- ④ 外部アンテナホルダー-パソコン用
WO2Hをパソコンでご使用になるときに、パソコンの液晶部裏側などに貼り付けて、外部アンテナ本体を取り付けます。
- ⑤ 外部アンテナホルダー-PDA用
WO2HをPDAでご使用になるときに、外部アンテナ本体に取り付けます。

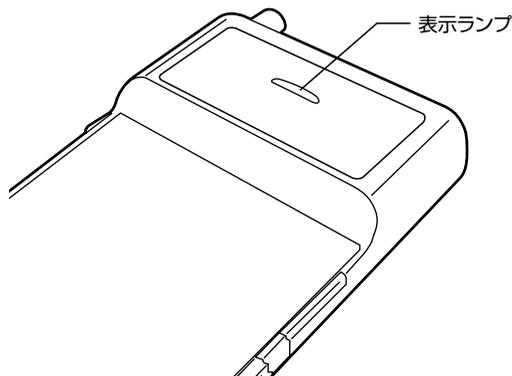
■イヤホンマイク



- ① イヤホン部
- ② マイク部
- ③ クリップ
ご使用になるときに、衣服のポケットなどに取り付けます。
- ④ ケーブル
- ⑤ ジャック
WO2Hのイヤホンマイク端子に差し込みます。

ランプ表示について

サービスエリア内の電波状態および着信を表示ランプの点滅でお知らせします。



表示ランプ		意味
待受・通話中	緑色点滅(3回※)	安定した通信が可能です。
	緑色点滅(2回※)	通信が可能です。
	緑色点滅(1回※)	
	橙色点滅(1回※)	
	消灯	サービスエリア外の場所です。
着信中	橙色速い点滅	着信中です。

※約5秒間隔で連続点滅する回数を表します。

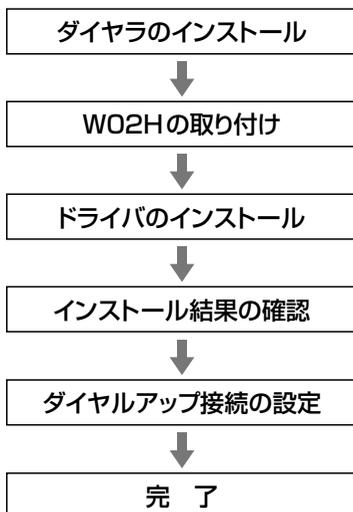
お知らせ

- パソコンやPDAに取り付けたとき、1秒程度表示ランプが橙色に点灯します。取り付け後、1秒程度以上経っても橙色に点灯したままの場合や、使用中に橙色に点灯した場合は、次のようにしてください。
 - ・ 一度、WO2Hを取り外し、再度取り付ける
 - ・ WO2Hが動作しないときの確認方法に従って確認する
 それでも橙色に点灯したままの場合は、auショップもしくはauお客様センターまでお問い合わせください。

パソコンで使う

取り付けかた	22
インターネット接続 (Windows XP)	26
インターネット接続 (Windows 2000)	41
インターネット接続 (Windows Me)	57
インターネット接続 (Windows 98 SE)	69
ダイヤラの使いかた	83

インターネット接続までの流れ



パソコンにWO2Hを取り付ける前にダイヤラをインストールしてください。ダイヤラをインストールする前にWO2Hを取り付けるとドライバが正しく認識されません。

取り付けかた

インターネット接続

Windows XP

Windows 2000

Windows Me

Windows 98 SE

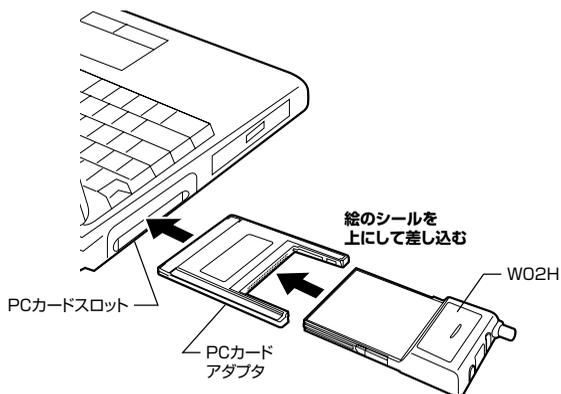
ダイヤラの使いかた

取り付けかた

パソコンへの取り付けかた

W02Hを付属のPCカードアダプタに取り付け、パソコンのPCカードスロットに差し込みます。PCカードアダプタは奥までしっかり差し込んでください。

パソコンにW02Hを取り付ける前にダイヤラをインストールしてください。ダイヤラをインストールする前にW02Hを取り付けるとドライバが正しく認識されません。



W02Hを取り外すときは

「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってから、W02Hをパソコンから取り外してください。

※ 「ハードウェアの安全な取り外し」については、ご利用のOSのヘルプなどを参照してください。

アンテナについて

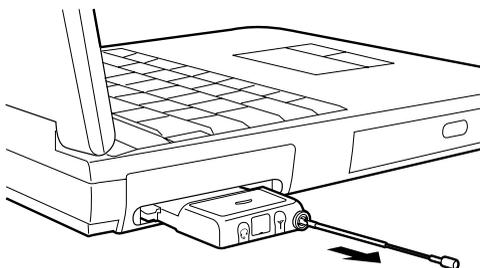
快適な通信をご利用いただくために、内蔵アンテナを引き出してご使用いただくことを推奨いたします。なお、本製品は内蔵アンテナと外部アンテナから使用するアンテナを選ぶことができます。内蔵アンテナでは十分に受信できないような電波の弱い場所にいるときや移動中、また、ご使用のパソコンの機種によっては、外部アンテナを使用することを推奨いたします。

内蔵アンテナを使用する

内蔵アンテナを使用するときは、電波の状態に合わせて向きや角度を調節してください。

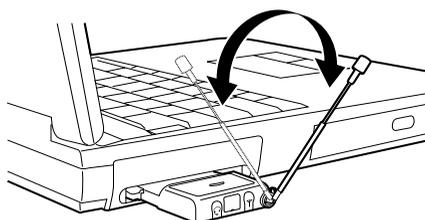
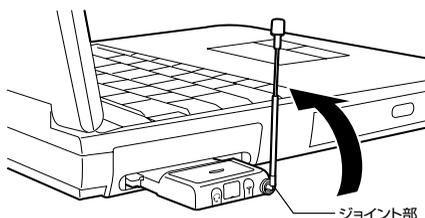
① アンテナの先端部を持ち、まっすぐ引き出す

最後までしっかり引き出してください。



② ジョイント部で折り曲げ、角度を調節する

ジョイント部の近くを持ち、折り曲げる方向をよく確認して折り曲げてください。



注意

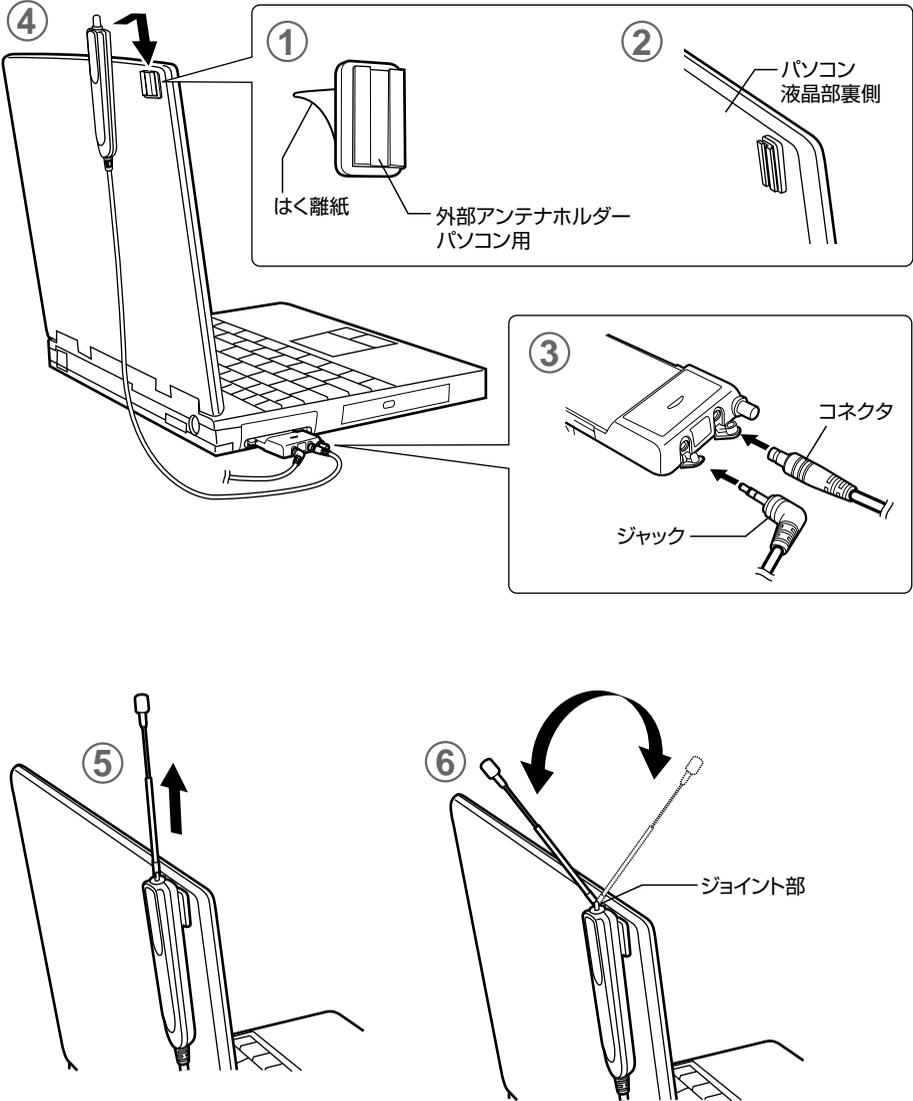
- 通信中に内蔵アンテナを握ったりすると、電波を妨げる要因となることがあります。
- 内蔵アンテナに無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- 使用しないときや持ち運ぶときは、内蔵アンテナを収納し、PCカードアダプタをパソコンから取り外してください。

外部アンテナを使用する

快適な通信をご利用いただくため、付属の外部アンテナのご使用を推奨いたします。

パソコンで使う

取り付けかた



- ① 外部アンテナホルダーパソコン用の裏面のはく離紙をはがす
- ② パソコンの液晶部裏側に外部アンテナホルダーパソコン用を貼り付ける
- ③ 外部アンテナのコネクタをW02Hの外部アンテナ端子に、イヤホンマイクのジャックをW02Hのイヤホンマイク端子に差し込む
コネクタ／ジャックは無理に差し込まないでください。破損するおそれがあります。うまく差し込めない場合はいったんコネクタ／ジャックを抜き、再度差し込んでください。
- ④ 外部アンテナホルダーパソコン用に外部アンテナ本体を取り付ける
- ⑤ 外部アンテナの先端部を持ち、まっすぐに引き出す
最後までしっかり引き出してください。
- ⑥ ジョイント部で折り曲げ、角度を調節する
ジョイント部の近くを持ち、折り曲げる方向をよく確認して折り曲げてください。
※ 外部アンテナは引き出して使用することを推奨いたします。アンテナの向きを変えることにより、通信の品質がよくなる場合があります。

注意

- 外部アンテナに無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- 外部アンテナのケーブルをきつく束ねたり、折り曲げたりしないでください。ケーブル断線の原因となることがあります。
- 外部アンテナ使用時には、本体内蔵アンテナは収納してください。
- 使用しないときや持ち運ぶときは、アンテナを収納し、PCカードアダプタをパソコンから取り外してください。

インターネット接続 (Windows XP)

準備

インストール条件

W02HをWindows XPでご利用いただくには、次の環境が必要です。

CPU	Pentium 300MHz以上
必要メモリ	64Mバイト以上
ハードディスクの空き容量	6Mバイト以上(アドレス帳登録なしの場合) 7Mバイト以上(アドレス帳登録500件の場合)

ダイヤラのインストール

- ① パソコンの電源を入れ、Administrator (管理者) 権限でログオンする
- ② PCカードスロットにW02Hが取り付けられていないことを確認する
- ③ 付属のCD-ROMをドライブにセットする

自動的にインストーラが起動します。

※ Internet Explorerの警告画面が表示される場合があります。

インストーラが自動的に起動しない場合は、[スタート] → [ファイル名を指定して実行] をクリックし、次のように入力して[OK]をクリックしてください。

<例>CD-ROMドライブがDドライブの場合

d:¥index.htm

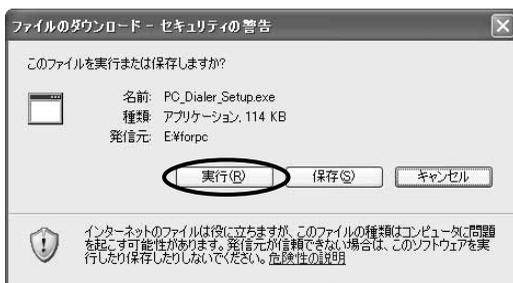
- ④ W02H Dialerセットアップ(PC版)の[PC版セットアップ画面へ]をクリックする



- ⑤ W02H Dialerの[インストール]をクリックし、ファイルのダウンロード画面で[開く]をクリックする



- ⑥ [実行]をクリックする



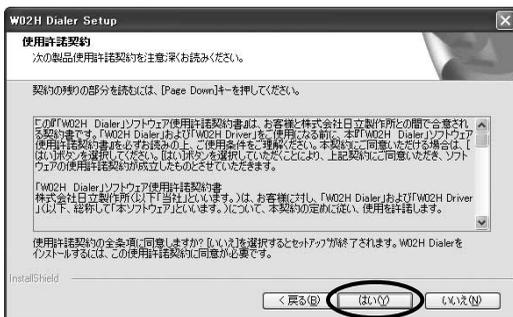
- ⑦ [実行する]をクリックする



- ⑧ [次へ]をクリックする

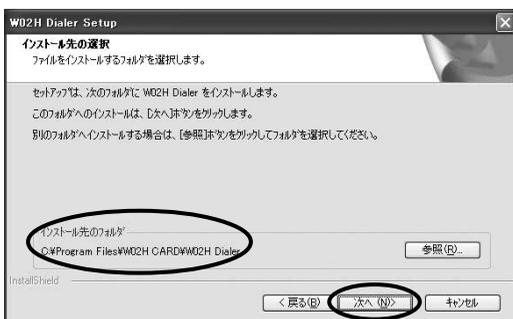


9 使用許諾契約を読み、 [はい] をクリックする

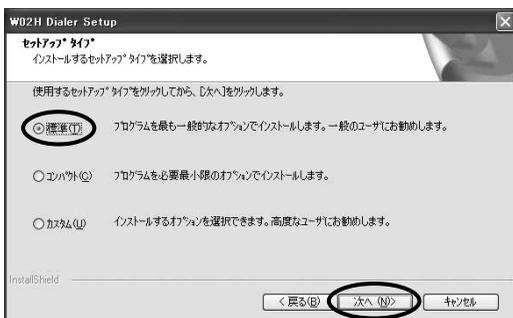


10 インストール先を確認し、 [次へ] をクリックする

インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックしてフォルダを指定してください。

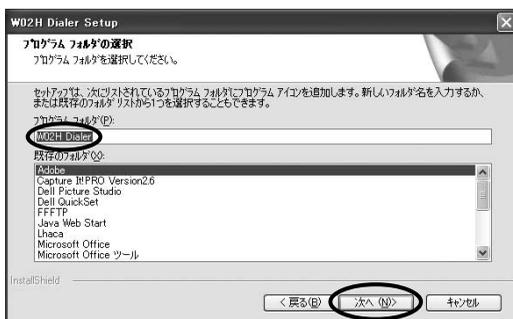


11 「標準」が選択されている ことを確認し、[次へ] を クリックする



12 プログラムフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックする

インストールが開始します。



13 [完了]をクリックする



- W02Hの最新ダイヤラソフトは、日立ホームページにおいてダウンロードいただけます。下記URLは日立HPモバイルトップとなっておりますので、こちらより、W02Hのページへアクセスしてください。

<http://www.hitachi.co.jp/products/personal/mobile/index.html>

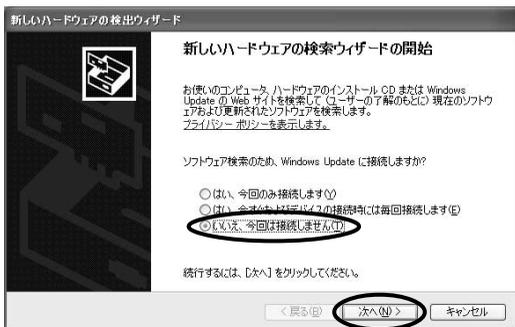
ドライバのインストール

ドライバのインストールは、ダイヤラをインストールした後に行ってください。

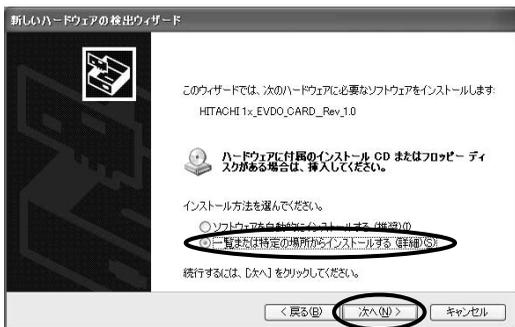
① WO2Hを取り付ける (→P.22)

WO2Hを奥までしっかり差し込んでください。カードが認識されると「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。

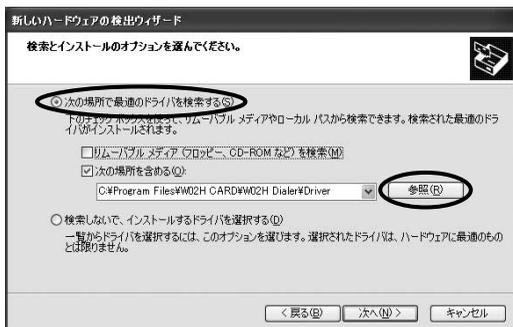
② [いいえ、今回は接続しません] をクリックし、 [次へ] をクリックする



③ [一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] をクリックし、 [次へ] をクリックする

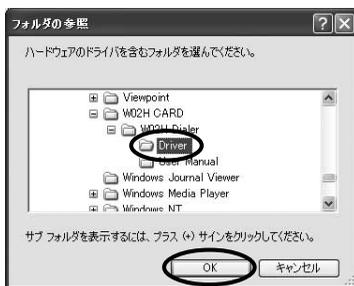


- ④ [次の場所で最適のドライバを検索する]をクリックし、[参照]をクリックする



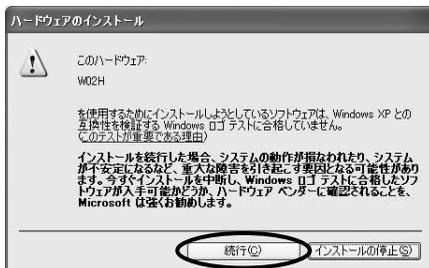
- ⑤ ダイアログのインストール先として指定したフォルダ(→P.28)の中の [Driver] フォルダを選択し、[OK] をクリックする

操作 ④ の画面に戻ります。

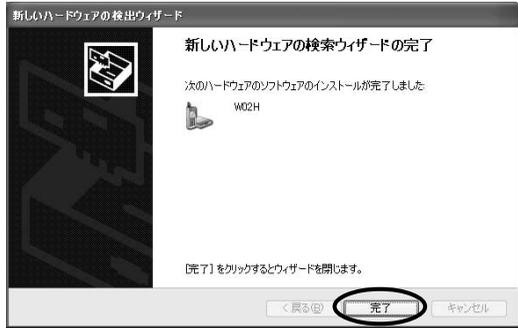


- ⑥ [次へ] をクリックする
ドライバが検索されます。

- ⑦ [続行] をクリックする
ドライバがインストールされます。



8 [完了] をクリックする



お知らせ

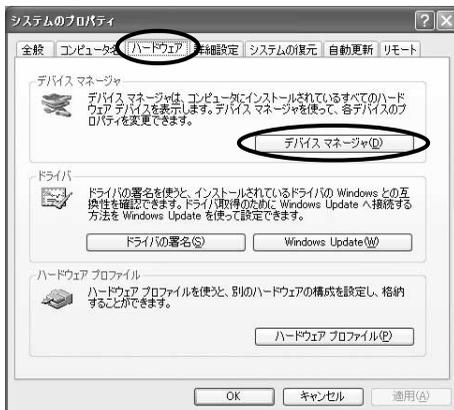
- 本書では、初回インストール時の操作手順を記載しています。

インストール結果の確認

W02Hのドライバが正しくインストールされたことを確認します。

① W02Hを取り付けた状態で、コントロールパネルの[システム]を開く

② [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックする



③ [モデム]の[+]をクリックする

W02Hのドライバが正しくインストールされているときは、[W02H]が表示されます。



アンインストール

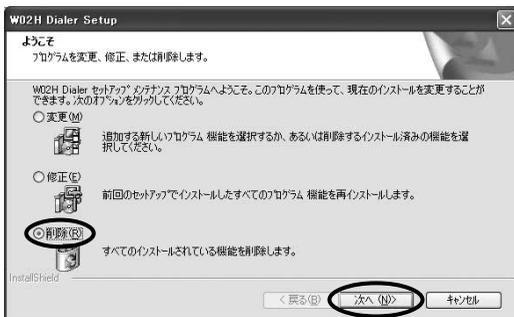
■ダイヤラをアンインストールする

① コントロールパネルの [プログラムの追加と削除] を開く

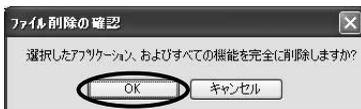
② [W02H Dialer] をクリックし、[変更と削除] をクリックする



③ [削除] をクリックし、[次へ] をクリックする



④ [OK] をクリックする

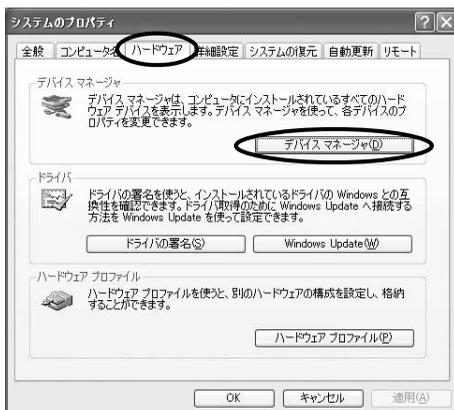


⑤ [完了] をクリックし、Finish Complete画面で [完了] をクリックする。

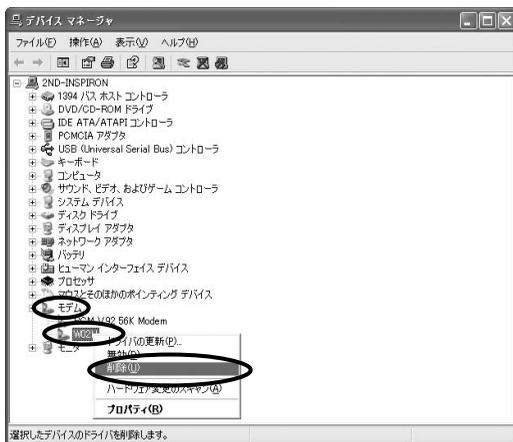


■ドライバをアンインストールする

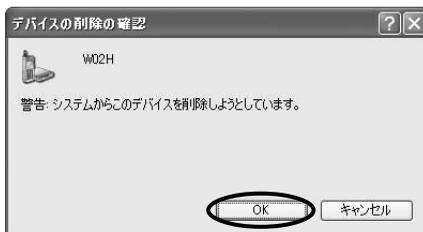
- 1 W02Hを取り付けた状態で、コントロールパネルの[システム]を開く
- 2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイス マネージャ]をクリックする



- 3 [モデム]の[+]をクリックし、[W02H]を右クリックしてメニューから[削除]を選択する



- 4 [OK] をクリックする



ネットワーク接続を設定する

au.NETをご利用になる場合の設定例です。接続先のプロバイダから設定の指示がある場合は、それに従って設定してください。

パソコンで使う

インターネット接続 (Windows XP)

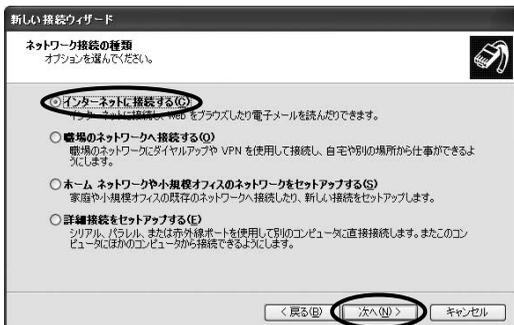
- ① コントロールパネルの「ネットワーク接続」を開き、ネットワークタスク中の「新しい接続を作成する」をクリックする



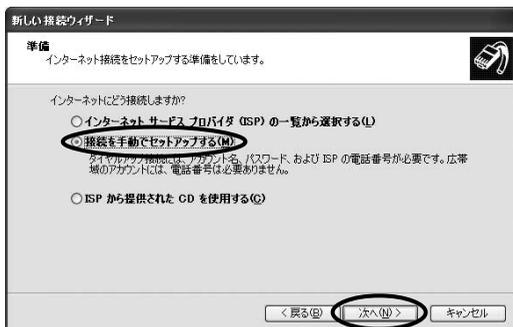
- ② [次へ] をクリックする



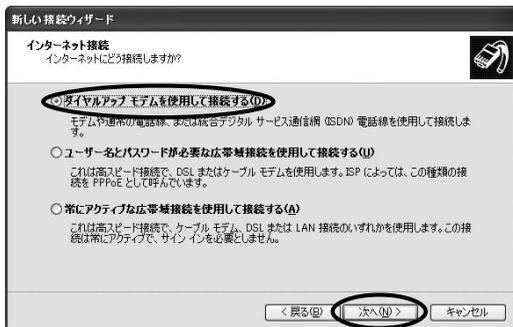
- ③ [インターネットに接続する] をクリックし、[次へ] をクリックする



- ④ [接続を手動でセットアップする] をクリックし、
[次へ] をクリックする

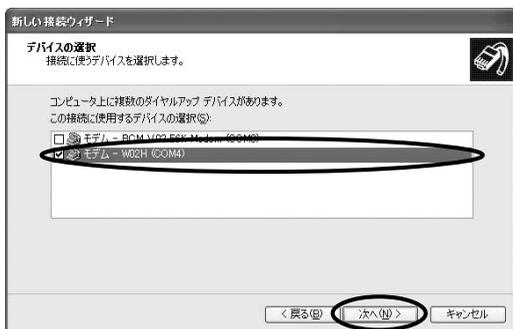


- ⑤ [ダイヤルアップモデムを使用して接続する] を
クリックし、[次へ] をクリック
する

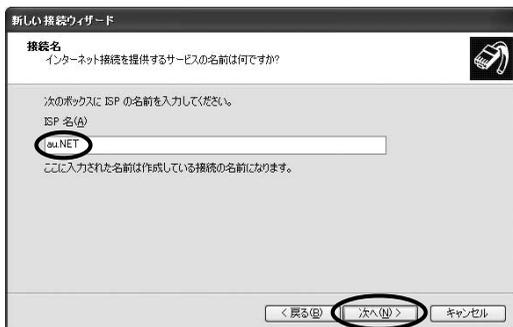


- ⑥ [モデム-WO2H] をクリックし、
[次へ] をクリックする

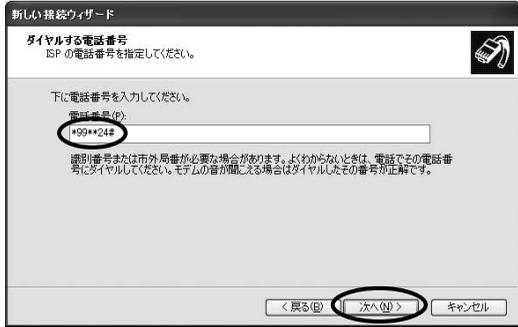
使用できるモデムが [モデム-WO2H] のみの場合は、この画面は表示されません。



- ⑦ [ISP名] に任意の名前
(例:au.NET) を入力し、
[次へ] をクリックする

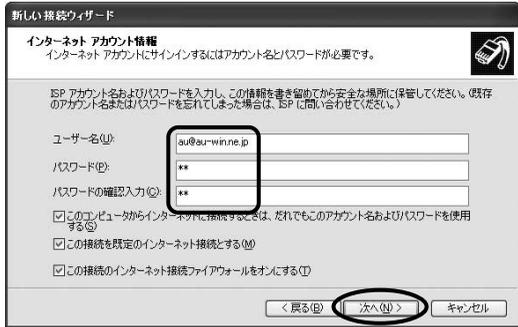


⑧ [電話番号]に「*99**24#」を入力し、[次へ]をクリックする



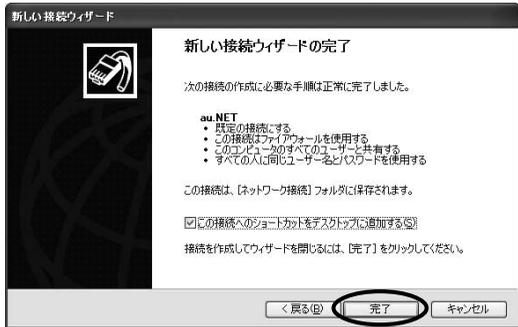
⑨ [ユーザー名]に「au@au-win.ne.jp」、[パスワード]と[パスワードの確認入力]に「au」と入力し、[次へ]をクリックする

[パスワードの確認入力]の下にあるチェックボックスはお客様がお使いになる環境に合わせて選択してください。



⑩ [完了]をクリックする

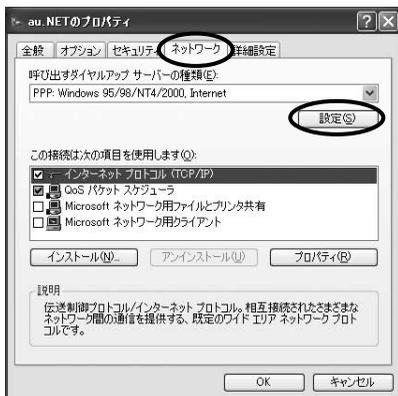
新しい接続が作成され、作成した接続の接続画面が表示されます。



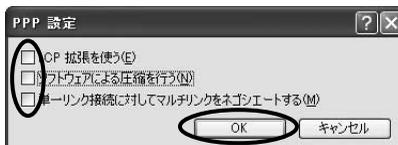
⑪ デスクトップから接続画面を表示するときは、コントロールパネルの[ネットワークとインターネット接続]を開き、任意の名前(例:au.NET)のアイコンを右クリックしてメニューから[プロパティ]を選択する



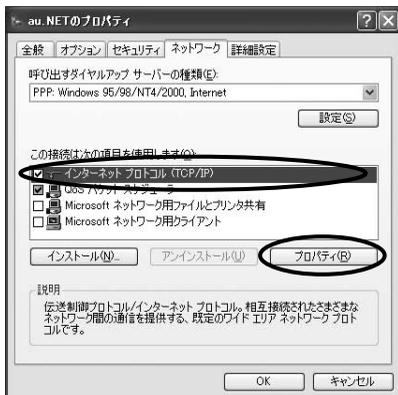
- 12 [ネットワーク] タブをクリックし、[設定] をクリックする



- 13 [PPP設定] ですべてのチェックを外し、[OK] をクリックする

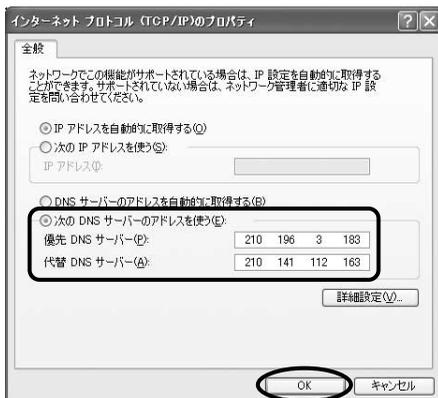


- 14 [インターネットプロトコル (TCP/IP)] をチェックして、[プロパティ] をクリックする



- 15 次のように設定し、[OK] をクリックする

- ・ [次のDNSサーバーのアドレスを使う] をクリック
- ・ [優先DNSサーバー] に「210.196.3.183」と入力
- ・ [代替DNSサーバー] に「210.141.112.163」と入力



インターネット接続 (Windows 2000)

準備

インストール条件

W02HをWindows 2000でご利用いただくには、次の環境が必要です。

CPU	Pentium 300MHz以上
必要メモリ	64Mバイト以上
ハードディスクの空き容量	6Mバイト以上 (アドレス帳登録なしの場合) 7Mバイト以上 (アドレス帳登録500件の場合)

ダイヤラのインストール

- 1 パソコンの電源を入れ、Administrator (管理者) 権限でログオンする
- 2 PCカードスロットにW02Hが取り付けられていないことを確認する
- 3 付属のCD-ROMをドライブにセットする

自動的にインストーラが起動します。

インストーラが自動的に起動しない場合は、[スタート] → [ファイル名を指定して実行] をクリックし、次のように入力して [OK] をクリックしてください。

<例>CD-ROMドライブがDドライブの場合

d:¥index.htm

- 4 W02H Dialerセットアップ(PC版)の[PC版セットアップ画面へ]をクリックする

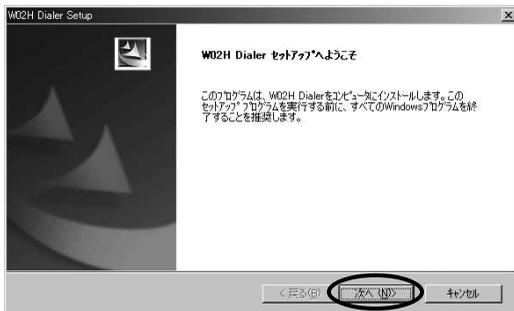


- ⑤ W02H Dialerの [インストール] をクリックし、ファイルダウンロード画面で [このプログラムを上記の場所から実行する] をクリックして [OK] をクリックする

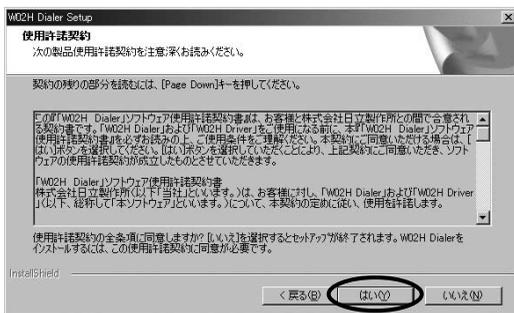
セキュリティ警告の画面が表示された場合は、[はい] をクリックしてください。



- ⑥ [次へ] をクリックする

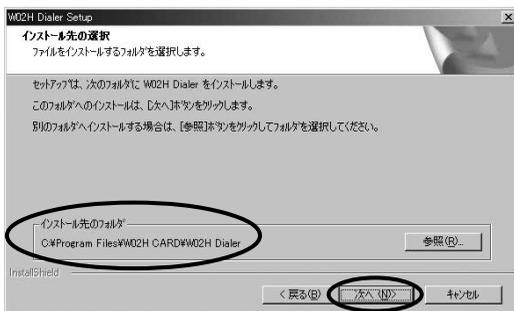


- ⑦ 使用許諾契約を読み、[はい] をクリックする

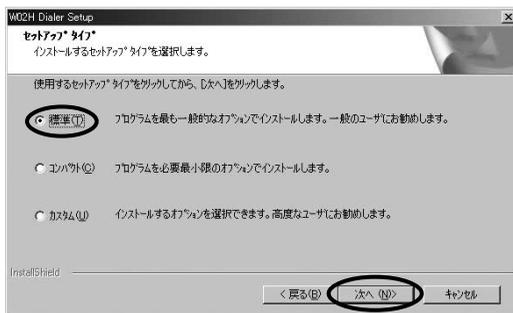


- ⑧ インストール先を確認し、[次へ] をクリックする

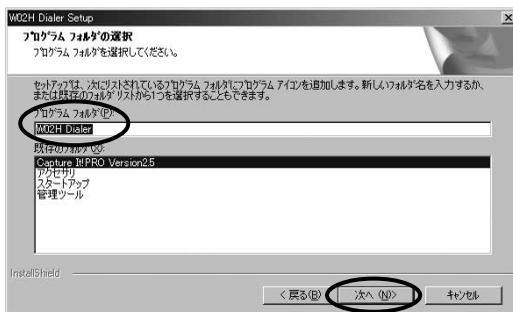
インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックしてフォルダを指定してください。



- 9 [標準] が選択されていることを確認し、[次へ]をクリックする



- 10 プログラムフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックする
インストールが開始します。



- 11 [完了]をクリックする



- W02Hの最新ダイヤラソフトは、日立ホームページにおいてダウンロードいただけます。下記URLは日立HPモバイルトップとなっておりますので、こちらより、W02Hのページへアクセスしてください。

<http://www.hitachi.co.jp/products/personal/mobile/index.html>

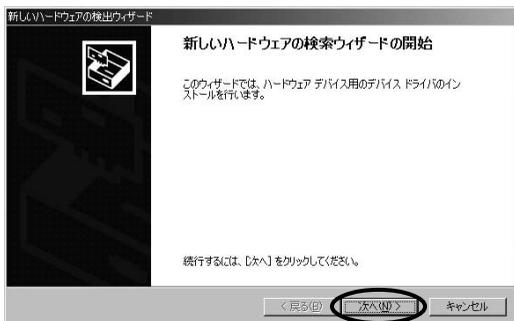
ドライバのインストール

ドライバのインストールは、ダイヤラをインストールした後に行ってください。

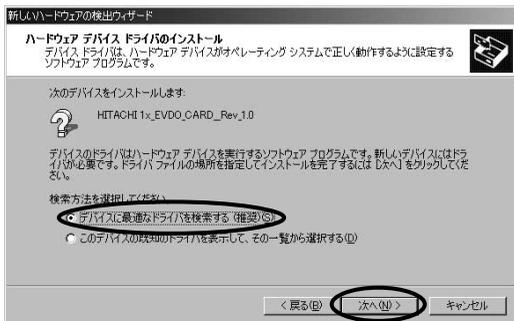
① WO2Hを取り付ける (→P.22)

WO2Hを奥までしっかり差し込んでください。カードが認識されると「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。

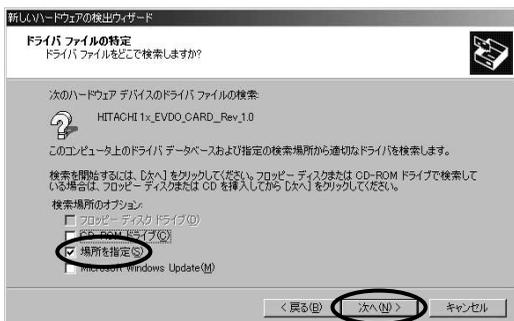
② [次へ] をクリックする



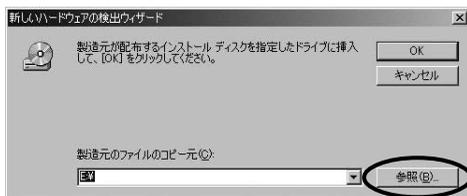
③ [デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)] をクリックし、[次へ] をクリックする



④ [場所を指定] をチェックし、[次へ] をクリックする

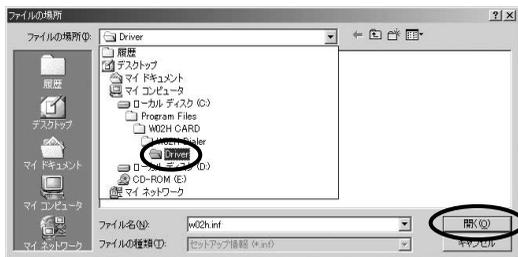


⑤ [参照] をクリックする



⑥ ダイアログのインストール先として指定したフォルダ (→P. 42) 中の「Driver」フォルダを選択し、[開く] をクリックする

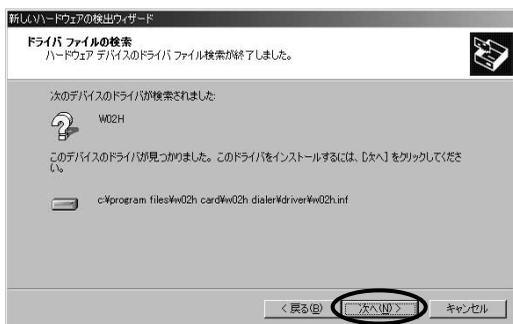
操作 ④ の画面に戻ります。



⑦ [OK] をクリックする

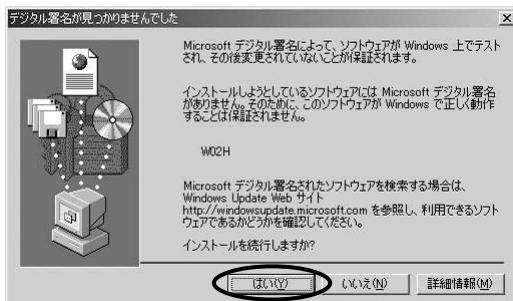
ドライバが検索されます。

⑧ [次へ] をクリックする

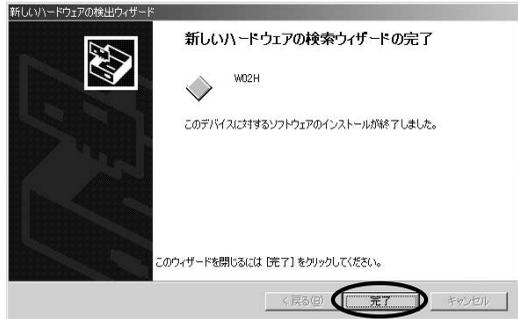


⑨ [はい] をクリックする

ドライバがインストールされます。



10 [完了]をクリックする



お知らせ

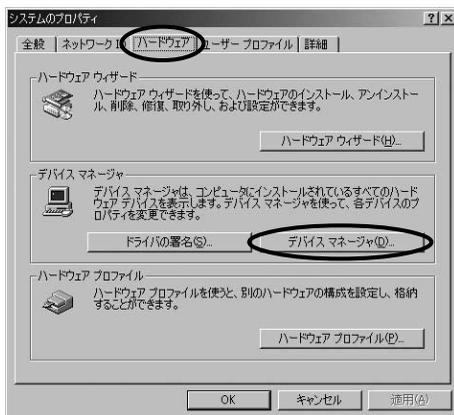
- 本書では、初回インストール時の操作手順を記載しています。

インストール結果の確認

W02Hのドライバが正しくインストールされたことを確認します。

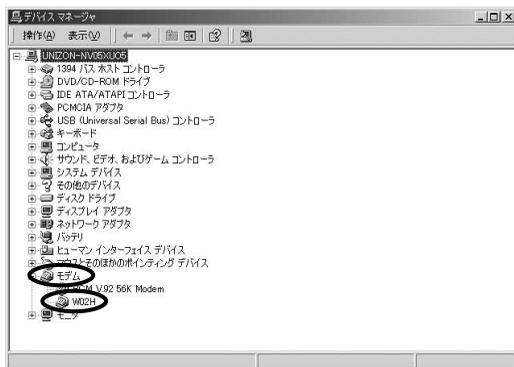
① W02Hを取り付けた状態で、コントロールパネルの[システム]を開く

② [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックする



③ [モデム]の[+]をクリックする

W02Hのドライバが正しくインストールされているときは、[W02H]が表示されます。



アンインストール

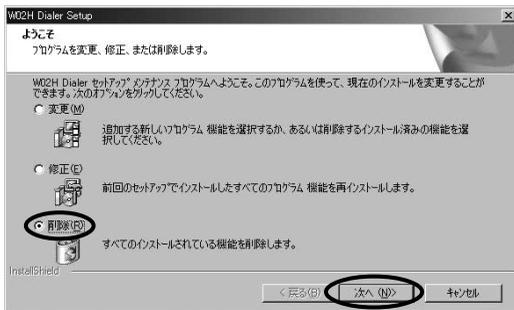
■ダイヤラをアンインストールする

① コントロールパネルの [アプリケーションの追加と削除] を開く

② [W02H Dialer] をクリックし、[変更/削除] をクリックする



③ [削除] をクリックし、[次へ] をクリックする



④ [OK] をクリックする



⑤ [完了] をクリックする



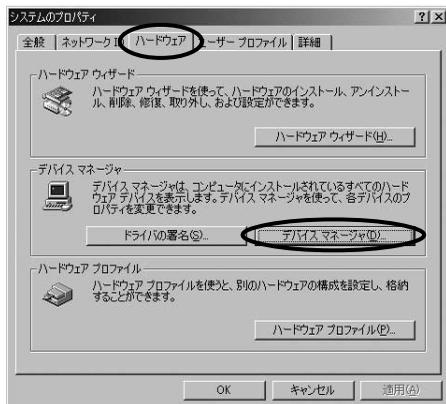
⑥ [完了]をクリックする



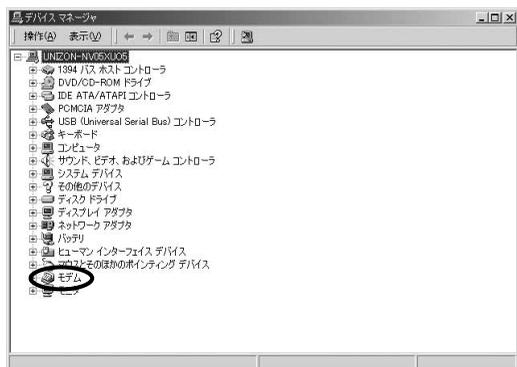
■ドライバをアンインストールする

① W02Hを取り付けた状態で、コントロールパネルの [システム] を開く

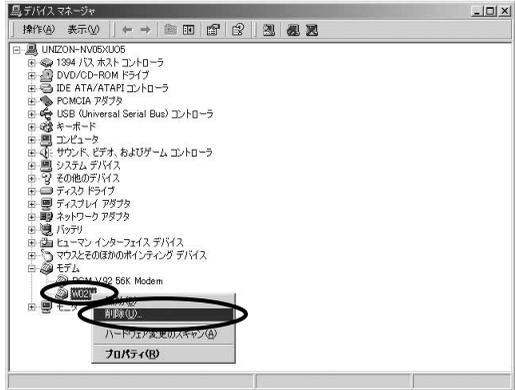
② [ハードウェア] タブをクリックし、[デバイスマネージャ] をクリックする



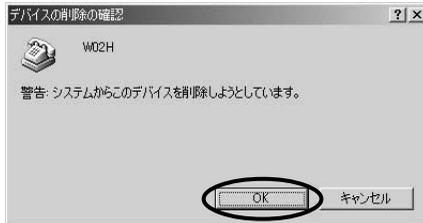
③ [モデム]の[+]をクリックする



- ④ [W02H] を右クリックし、メニューから [削除] を選択する



- ⑤ [OK] をクリックする

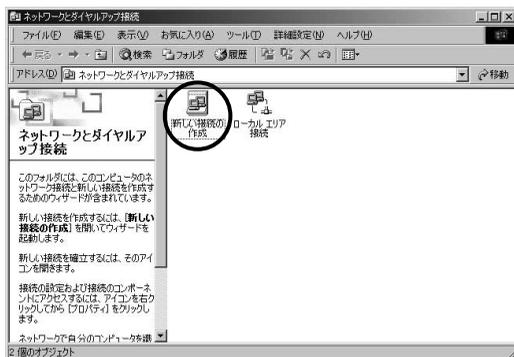


ダイヤルアップ接続を設定する

au.NETをご利用になる場合の設定例です。接続先のプロバイダから設定の指示がある場合は、それに従って設定してください。

① [スタート] → [設定] → [ネットワークとダイヤルアップ接続] をクリックする

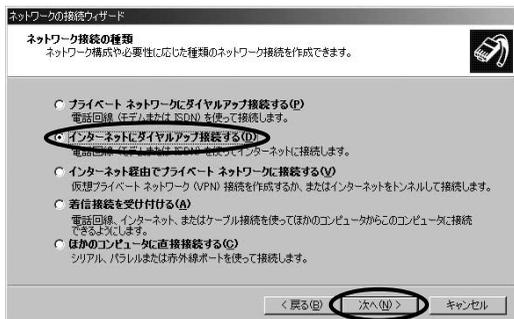
② [新しい接続の作成] アイコンをダブルクリックする



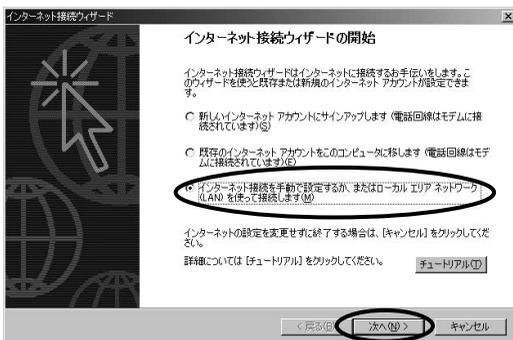
③ [次へ] をクリックする



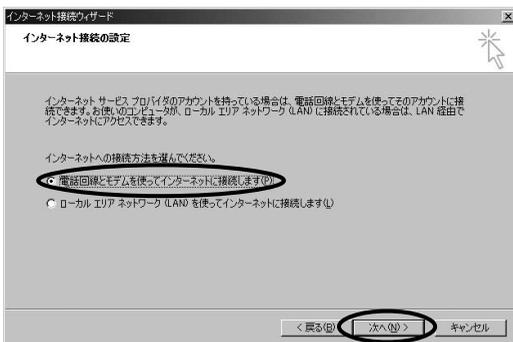
④ [インターネットにダイヤルアップ接続する] をクリックし、[次へ] をクリックする



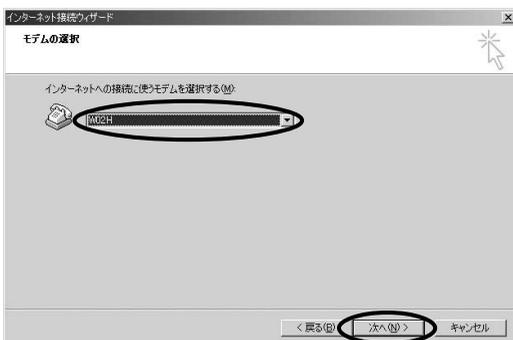
- ⑤ [インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します]をクリックし、[次へ]をクリックする



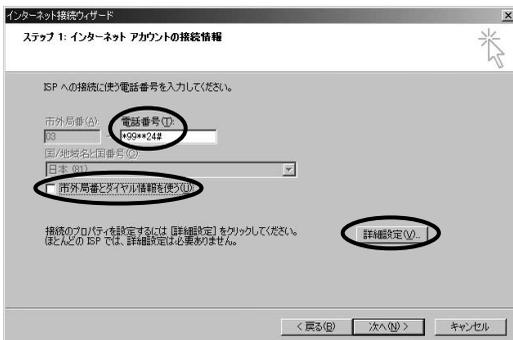
- ⑥ [電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します]をクリックし、[次へ]をクリックする



- ⑦ [W02H]を選択し、[次へ]をクリックする
使用できるモデムが[モデム-W02H]のみの場合は、この画面は表示されません。

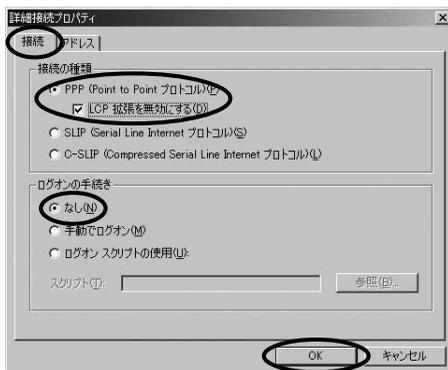


- ⑧ [電話番号]に[*99**24#]を入力し、[市外局番とダイヤル情報を使う]のチェックを外して[詳細設定]をクリックする



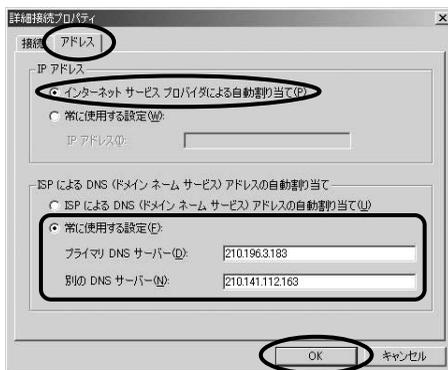
9 [接続] タブをクリックし、次のように設定して [OK] をクリックする

- ・ [接続の種類] の [PPP (Point to Point プロトコル)] をクリック
- ・ [LCP 拡張を無効にする] をチェック
- ・ [ログオンの手続き] の [なし] をクリック



10 [アドレス] タブをクリックし、次のように設定して [OK] をクリックする

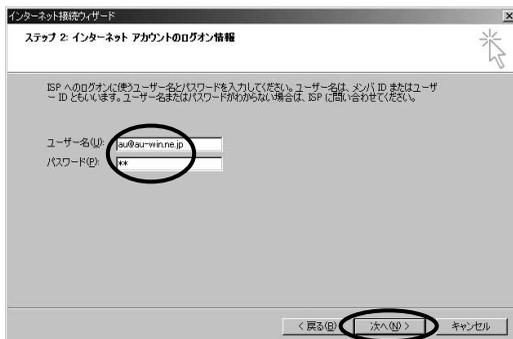
- ・ [インターネットサービスプロバイダによる自動割り当て] をクリック
- ・ [常に使用する設定] をクリック
- ・ [プライマリDNSサーバー] に「210.196.3.183」と入力
- ・ [別のDNSサーバー] に「210.141.112.163」と入力



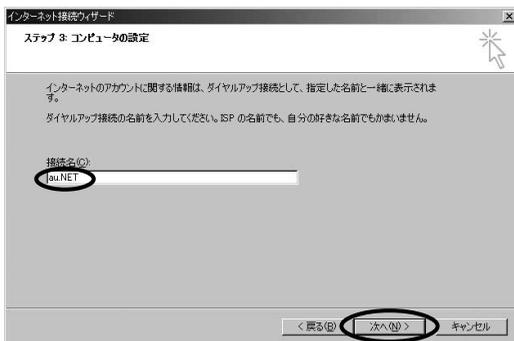
操作 ⑧ の画面に戻ります。

11 [次へ] をクリックする

12 [ユーザー名] に「au@auwin.ne.jp」、[パスワード] に「au」と入力し、[次へ] をクリックする

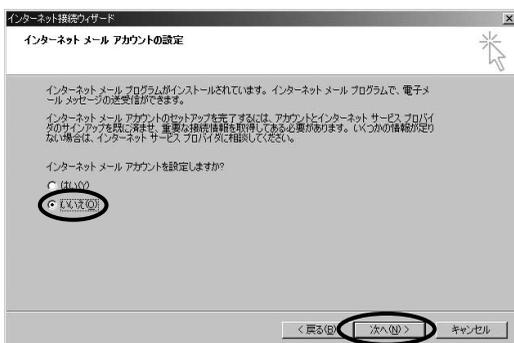


- 13 [接続名] に任意の名前 (例:au.NET) を入力し、[次へ] をクリックする

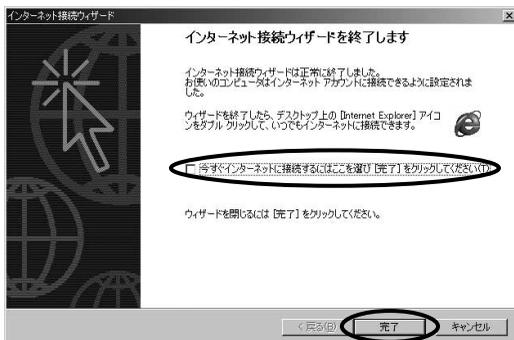


- 14 [いいえ] をクリックし、[次へ] をクリックする

メールアカウントの設定は接続先のプロバイダの指示に従って行ってください。

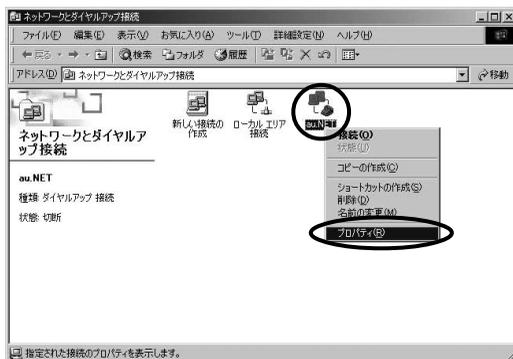


- 15 「今すぐインターネットに接続するにはここを選び [完了] をクリックしてください」のチェックを外し、[完了] をクリックする
新しい接続が作成されます。

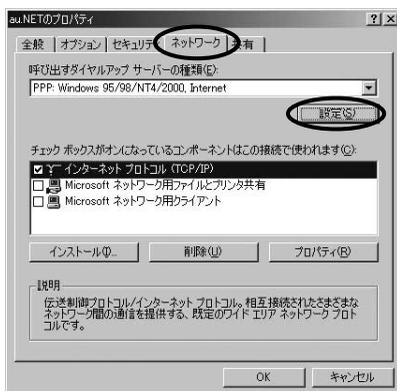


- 16 [スタート] → [設定] → [ネットワークとダイヤルアップ接続] をクリックする

- 17 任意の名前 (例: au.NET) のアイコンを右クリックし、メニューから [プロパティ] を選択する

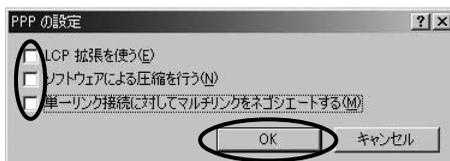


- 18 [ネットワーク] タブをクリックし、[設定] をクリックする



- 19 [PPP設定] ですべてのチェックを外し、[OK] をクリックする

操作 18 の画面に戻ります。



- 20 [OK] をクリックする

インターネットに接続する

① [スタート] → [設定] → [ネットワークとダイヤルアップ接続] をクリックする

② 任意の名前(例:au.NET)のアイコンをダブルクリックする



③ [ダイヤル] をクリックする



インターネット接続 (Windows Me)

準備

インストール条件

W02HをWindows Meでご利用いただくには、次の環境が必要です。

CPU	Pentium 300MHz以上
必要メモリ	64Mバイト以上
ハードディスクの空き容量	6Mバイト以上(アドレス帳登録なしの場合) 7Mバイト以上(アドレス帳登録500件の場合)

ダイヤラのインストール

- 1 パソコンの電源を入れる
- 2 PCカードスロットにW02Hが取り付けられていないことを確認する
- 3 付属のCD-ROMをドライブにセットする

自動的にインストーラが起動します。

インストーラが自動的に起動しない場合は、[スタート] → [ファイル名を指定して実行] をクリックし、次のように入力して [OK] をクリックしてください。

<例>CD-ROMドライブがDドライブの場合

d:¥index.htm

- 4 W02H Dialerセットアップ(PC版)の[PC版セットアップ画面へ]をクリックする



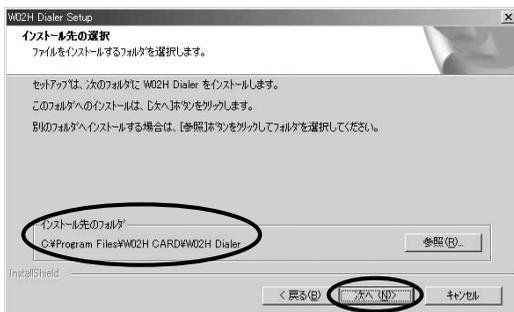
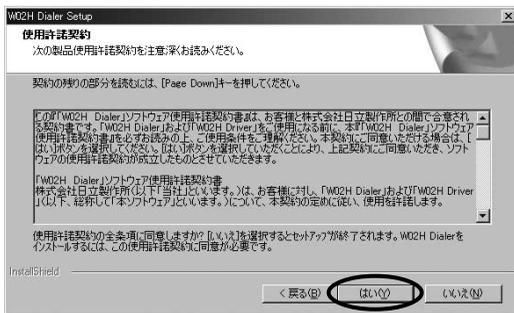
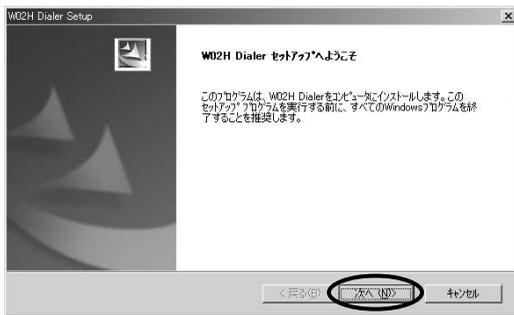
- ⑤ W02H Dialerの[インストール]をクリックし、ファイルダウンロード画面で[このプログラムを上記の場所から実行する]をクリックして[OK]をクリックする

セキュリティ警告の画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

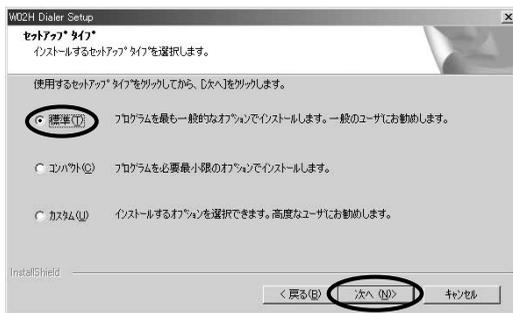
- ⑥ [次へ]をクリックする

- ⑦ 使用許諾契約を読み、[はい]をクリックする

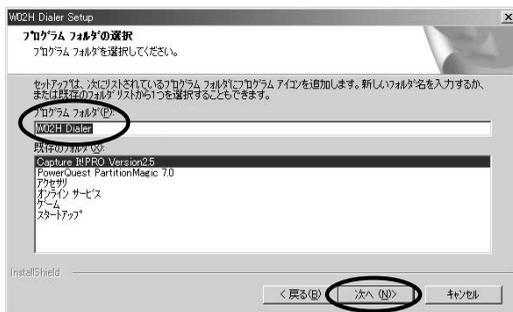
- ⑧ インストール先を確認し、[次へ]をクリックする
インストール先を変更する場合は、[参照]をクリックしてフォルダを指定してください。



- 9 [標準] が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックする



- 10 プログラムフォルダ名を確認し、[次へ] をクリックする
インストールが開始します。



- 11 [完了] をクリックする



- W02Hの最新ダイヤラソフトは、日立ホームページにおいてダウンロードいただけます。下記URLは日立HPモバイルトップとなっておりますので、こちらより、W02Hのページへアクセスしてください。

<http://www.hitachi.co.jp/products/personal/mobile/index.html>

ドライバのインストール

ドライバのインストールは、ダイヤラをインストールした後に行ってください。

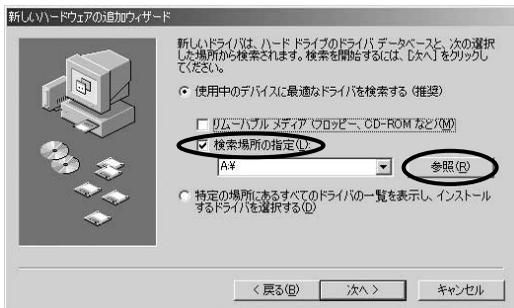
① WO2Hを取り付ける (→P.22)

WO2Hを奥までしっかり差し込んでください。カードが認識されると「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。

② 「ドライバの場所を指定する (詳しい知識のある方向け)」をクリックし、[次へ]をクリックする



③ 「検索場所の指定」をチェックし、[参照]をクリックする

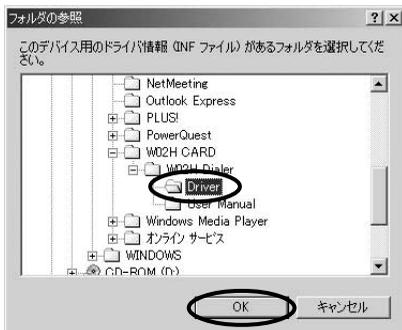


④ ダイヤラのインストール先として指定したフォルダ (→P.58) 中の [Driver] フォルダを選択し、[OK]をクリックする

操作 ③ の画面に戻ります。

⑤ [次へ] をクリックする

ドライバが検索されます。



⑥ [次へ] をクリックする



⑦ [完了] をクリックする



お知らせ

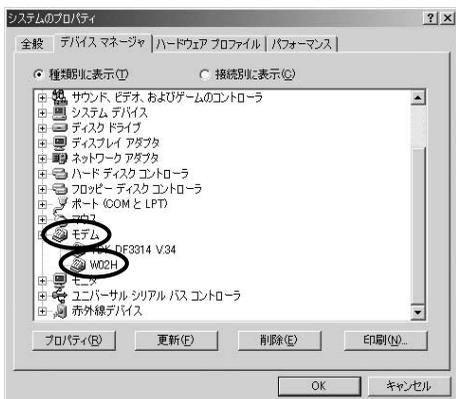
- 本書では、初回インストール時の操作手順を記載しています。

インストール結果の確認

WO2Hのドライバが正しくインストールされたことを確認します。

- 1 WO2Hを取り付けた状態でコントロールパネルの [システム] を開く
- 2 [デバイスマネージャ] タブをクリックし、[モデム] の [+] をクリックする

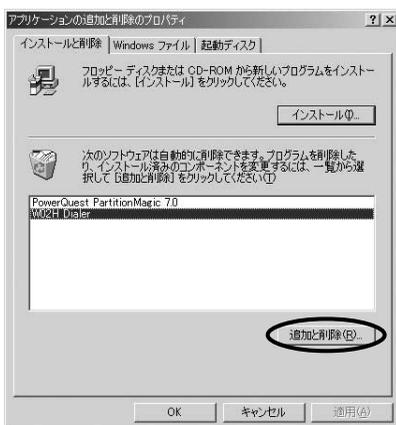
WO2Hのドライバが正しくインストールされているときは、[WO2H]が表示されます。



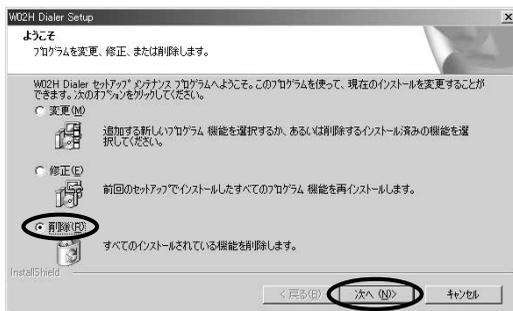
アンインストール

■ダイヤラをアンインストールする

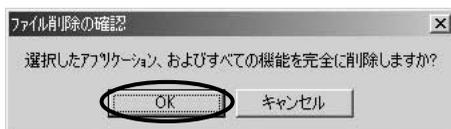
- 1 コントロールパネルの [アプリケーションの追加と削除] を開く
- 2 [WO2H Dialer] をクリックし、[追加と削除] をクリックする



- ③ [削除] をクリックし、
[次へ] をクリックする



- ④ [OK] をクリックする



- ⑤ [完了] をクリックする



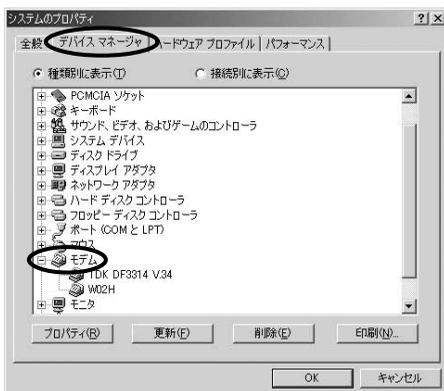
- ⑥ [完了] をクリックする



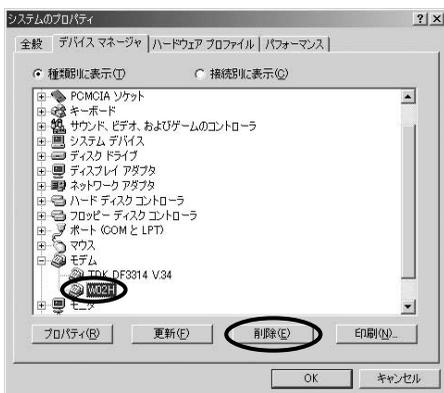
■ドライバをアンインストールする

① W02Hを取り付けた状態でコントロールパネルの [システム] を開く

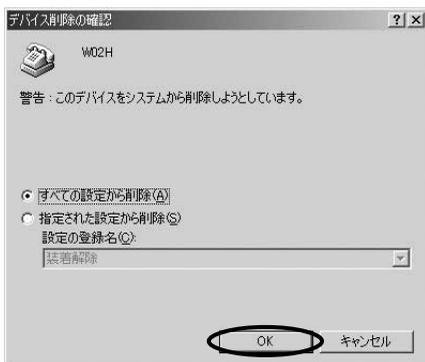
② [デバイスマネージャ] タブをクリックし、[モデム] の [+] をクリックする



③ [W02H] をクリックし、[削除] をクリックする



④ [OK] をクリックする



ダイヤルアップ ネットワークを設定する

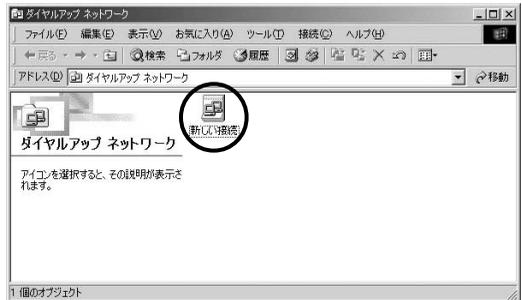
au.NETをご利用になる場合の設定例です。接続先のプロバイダから設定の指示がある場合は、それに従って設定してください。

ダイヤルアップ ネットワークとTCP/IPのインストール

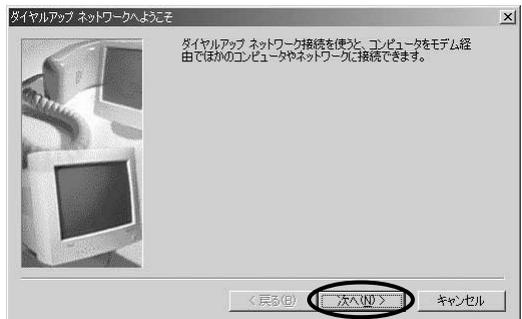
ダイヤルアップ ネットワークの設定は行うには、あらかじめWindows MeにダイヤルアップネットワークとTCP/IP（ネットワークコンポーネント）がインストールされている必要があります。確認やインストール方法については、Windows Meの取扱説明書やヘルプを参照してください。

① [スタート] → [設定] → [ダイヤルアップ ネットワーク] をクリックする

② [新しい接続] アイコンをダブルクリックする



③ [次へ] をクリックする
すでにダイヤルアップ ネットワークで接続を作成している場合は、この画面は表示されません。



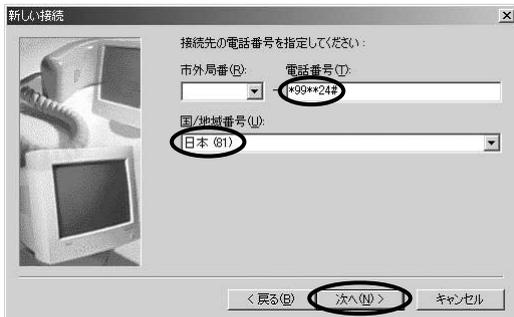
4 次のように設定し、[次へ]をクリックする

- ・[接続名]に任意の名前(例: au.NET)を入力
- ・[モデムの選択]で[W02H]を選択

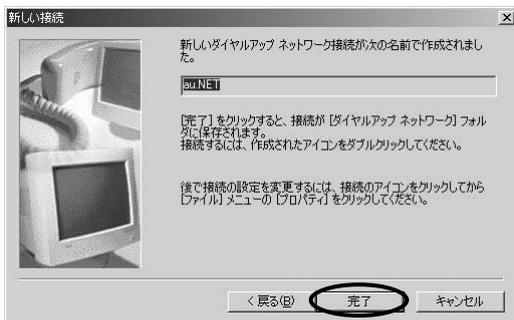


5 次のように設定し、[次へ]をクリックする

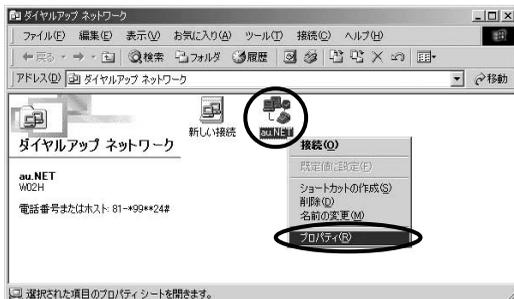
- ・[電話番号]に「*99**24#」と入力する
- ・[国/地域番号]で[日本 (81)]を選択する



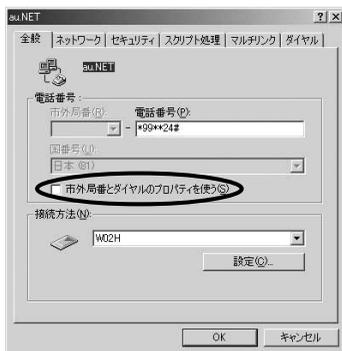
6 [完了]をクリックする



7 任意の名前(例:au.NET)のアイコンを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択する

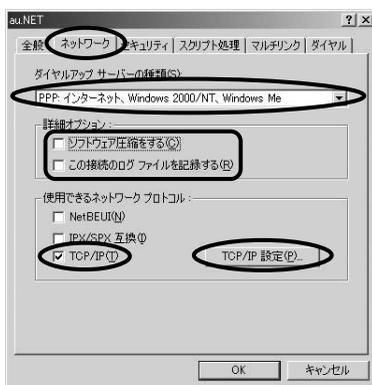


8 [市外局番とダイヤルのプロパティを使う]のチェックを外す



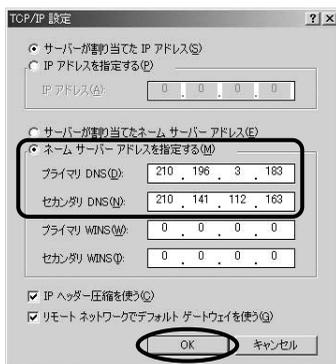
9 [ネットワーク] タブをクリックし、次のように設定して [TCP/IP設定] をクリックする

- ・「ダイヤルアップサーバーの種類」の「PPP:インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me」を選択
- ・[詳細オプション] ですべてのチェックを外す
- ・[使用できるネットワークプロトコル] で [TCP/IP] のみチェックされていることを確認する



10 次のように設定し、[OK] をクリックする

- ・「サーバーが割り当てたIPアドレス」をクリック
- ・[ネームサーバーアドレスを指定する]をクリック
- ・[プライマリDNS] に「210.196.3.183」と入力
- ・[セカンダリDNS] に「210.141.112.163」と入力



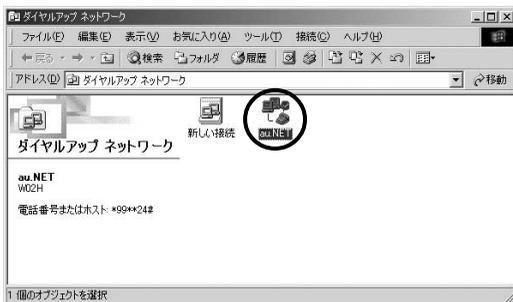
操作 9 の画面に戻ります。

11 [OK] をクリックする

インターネットに接続する

① [スタート] → [設定] → [ダイヤルアップ ネットワーク] をクリックする

② 任意の名前 (例:au.NET) のアイコンをダブルクリックする



③ 「ユーザー名」に「au@au-win.ne.jp」、
「パスワード」に「au」と
入力し、[接続] をクリック
する



インターネット接続 (Windows 98 SE)

準備

インストール条件

W02HをWindows 98 Second Edition (SE) でご利用いただくには、次の環境が必要です。

CPU	Pentium 300MHz以上
必要メモリ	64Mバイト以上
ハードディスクの空き容量	6Mバイト以上 (アドレス帳登録なしの場合) 7Mバイト以上 (アドレス帳登録500件の場合)

ダイヤラのインストール

- ① パソコンの電源を入れる
- ② PCカードスロットにW02Hが取り付けられていないことを確認する
- ③ 付属のCD-ROMをドライブにセットする

自動的にインストーラが起動します。

インストーラが自動的に起動しない場合は、[スタート] → [ファイル名を指定して実行] をクリックし、次のように入力して [OK] をクリックしてください。

<例>CD-ROMドライブがDドライブの場合

d:¥index.htm

- ④ W02H Dialerセットアップ(PC版)の[PC版セットアップ画面へ]をクリックする



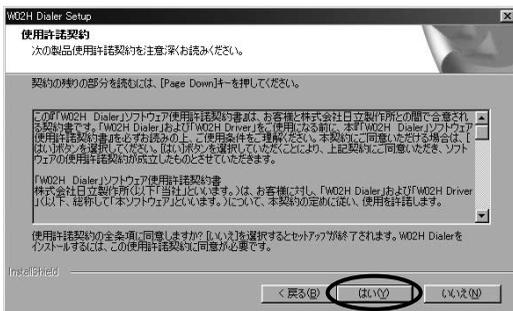
- 5 W02H Dialerの[インストール]をクリックし、ファイルダウンロード画面で[このプログラムを上記の場所から実行する]をクリックして[OK]をクリックする

セキュリティ警告の画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

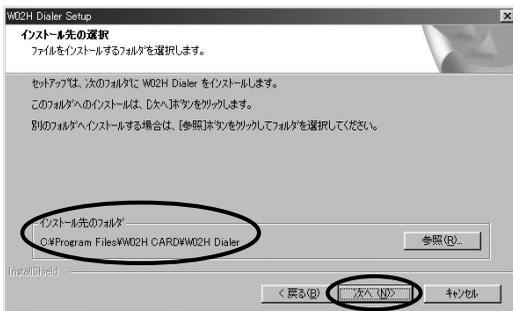
- 6 [次へ]をクリックする



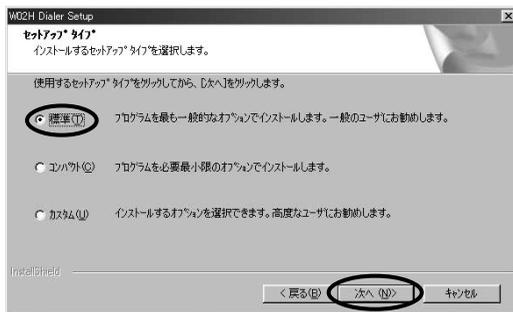
- 7 使用許諾契約を読み、[はい]をクリックする



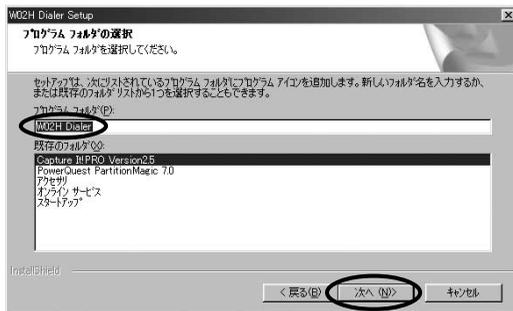
- 8 インストール先を確認し、[次へ]をクリックする
インストール先を変更する場合は、[参照]をクリックしてフォルダを指定してください。



- 9 [標準] が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックする



- 10 プログラムフォルダ名を確認し、[次へ] をクリックする
インストールが開始します。



- 11 [完了] をクリックする



- W02Hの最新ダイヤラソフトは、日立ホームページにおいてダウンロードいただけます。下記URLは日立HPモバイルトップとなっておりますので、こちらより、W02Hのページへアクセスしてください。

<http://www.hitachi.co.jp/products/personal/mobile/index.html>

ドライバのインストール

ドライバのインストールは、ダイヤラをインストールした後に行ってください。

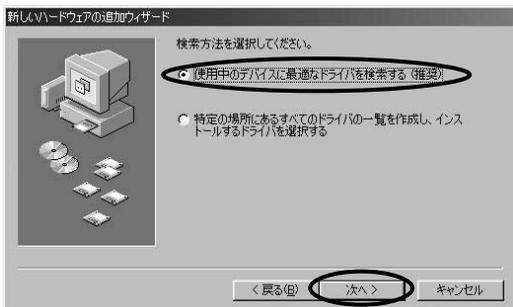
① WO2Hを取り付ける (→P.22)

WO2Hを奥までしっかり差し込んでください。カードが認識されると「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。

② [次へ]をクリックする



③ 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」をクリックし、[次へ]をクリックする

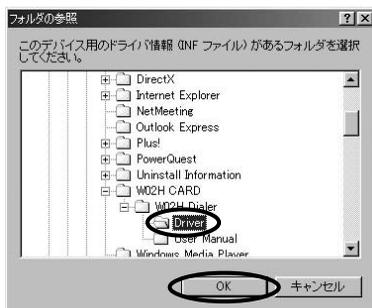


④ 「検索場所の指定」をチェックし、[参照]をクリックする



- ⑤ ダイアラのインストール先として指定したフォルダ(→ P.70)の中の [Driver] フォルダを選択し、[OK] をクリックする

操作④の画面に戻ります。



- ⑥ [次へ] をクリックする

ドライバが検索されます。

- ⑦ [次へ] をクリックする



- ⑧ [完了] をクリックする



お知らせ

- 本書では、初回インストール時の操作手順を記載しています。

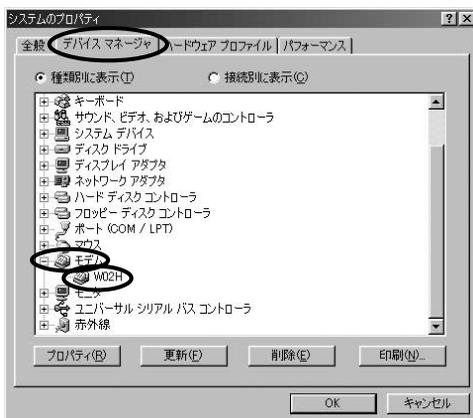
インストール結果の確認

W02Hのドライバが正しくインストールされたことを確認します。

① W02Hを取り付けた状態でコントロールパネルの[システム]を開く

② [デバイスマネージャ]タブをクリックし、[モデム]の[+]をクリックする

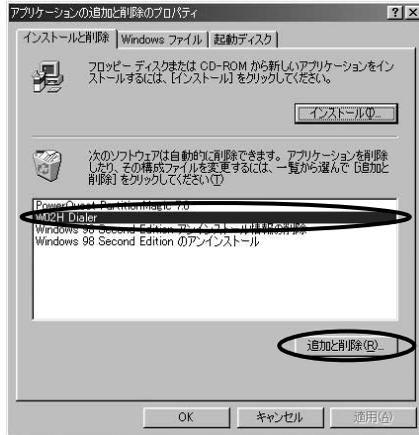
W02Hのドライバが正しくインストールされているときは、[W02H]が表示されます。



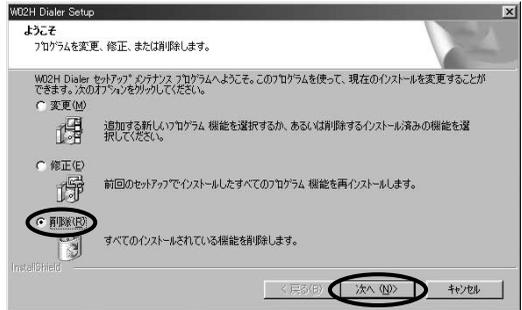
アンインストール

■ダイヤラをアンインストールする

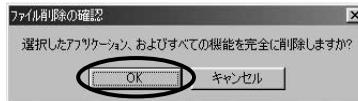
- ① コントロールパネルの [アプリケーションの追加と削除] を開く
- ② [W02H Dialer] をクリックし、[追加と削除] をクリックする



- ③ [削除] をクリックし、[次へ] をクリックする



- ④ [OK] をクリックする



⑤ [完了] をクリックする



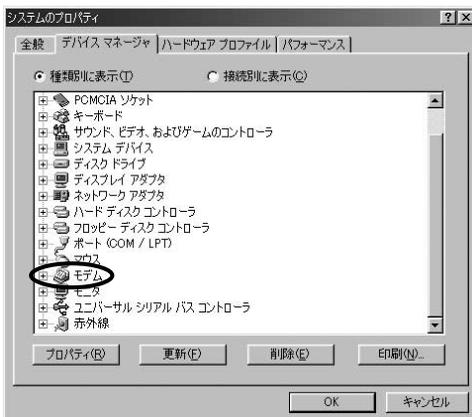
⑥ [完了] をクリックする



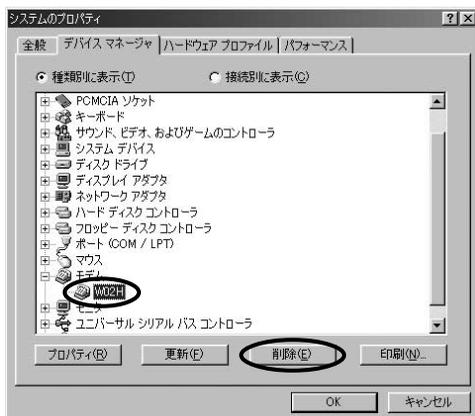
■ドライバをアンインストールする

① W02Hを取り付けた状態でコントロールパネルの [システム] を開く

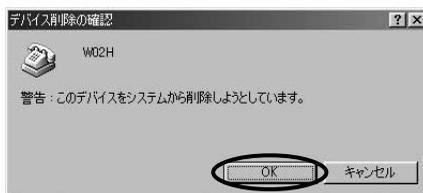
② [デバイスマネージャ] タブをクリックし、[モデム] の [+] をクリックする



- ③ [W02H] をクリックし、
[削除] をクリックする



- ④ [OK] をクリックする



ダイヤルアップ ネットワークを設定する

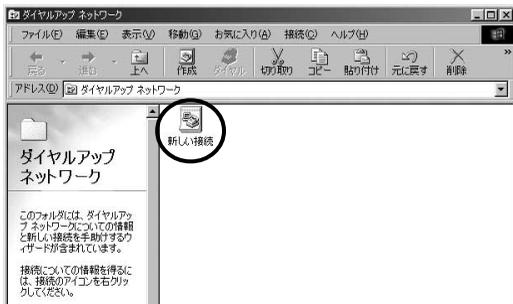
au.NETをご利用になる場合の設定例です。接続先のプロバイダから設定の指示がある場合は、それに従って設定してください。

ダイヤルアップネットワークとTCP/IPのインストール

ダイヤルアップネットワークの設定を行うには、あらかじめWindows 98 SEにダイヤルアップネットワークとTCP/IP（ネットワークコンポーネント）がインストールされている必要があります。確認やインストール方法については、Windows 98SEの取扱説明書やヘルプを参照してください。

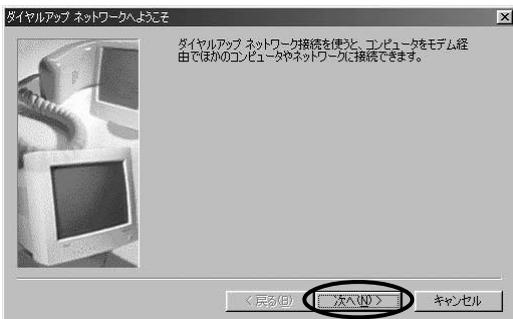
- ① [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ダイヤルアップ ネットワーク] をクリックする

- ② [新しい接続] アイコンをダブルクリックする



- ③ [次へ] をクリックする

すでにダイヤルアップ ネットワークで接続を作成している場合は、この画面は表示されません。



4 次のように設定し、[次へ]をクリックする

- ・ [接続名] に任意の名前 (例: au.NET) を入力
- ・ [モデムの選択] で [W02H] を選択

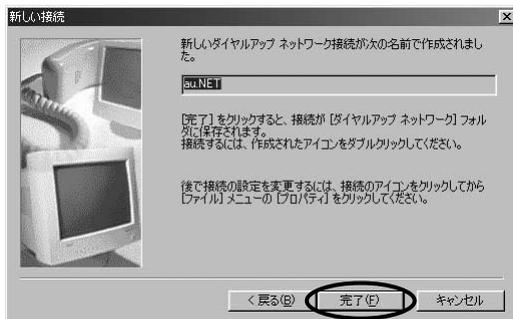


5 次のように設定し、[次へ]をクリックする

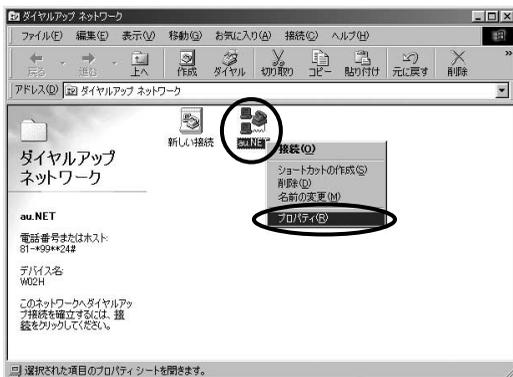
- ・ [電話番号] に「*99**24#」と入力
- ・ [国 / 地域番号] で [日本 (81)] を選択



6 [完了]をクリックする



- ⑦ 任意の名前 (例:au.NET) のアイコンを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択する

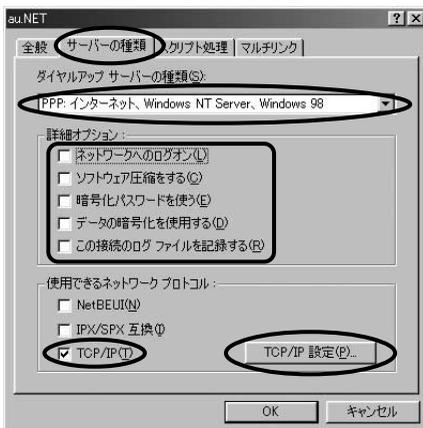


- ⑧ 「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」のチェックを外す



- ⑨ 「サーバーの種類」タブをクリックし、次のように設定して「TCP/IP設定」をクリックする

- ・「ダイヤルアップサーバーの種類」の「PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98」を選択
- ・「詳細オプション」ですべてのチェックを外す
- ・「使用できるネットワークプロトコル」で「TCP/IP」のみチェックされていることを確認する

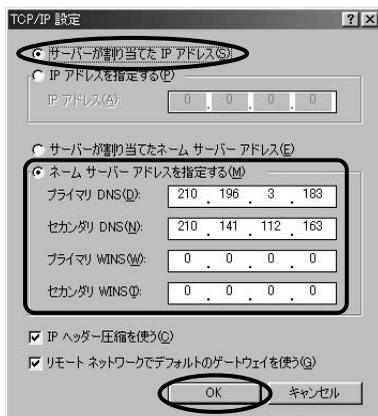


10 次のように設定し、[OK]をクリックする

- ・「サーバーが割り当てたIPアドレス」をクリック
- ・「名前サーバーアドレスを指定する」をクリック
- ・[プライマリDNS]に「210.196.3.183」と入力
- ・[セカンダリDNS]に「210.141.112.163」と入力

操作 9 の画面に戻ります。

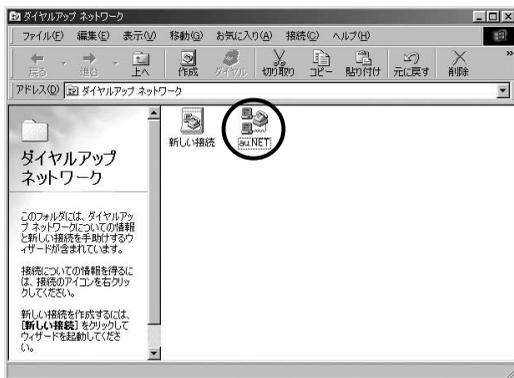
11 [OK]をクリックする



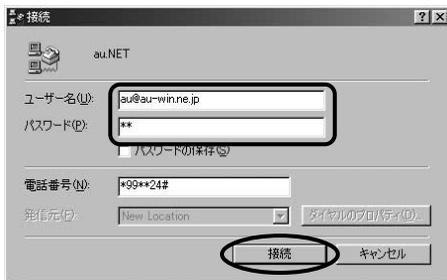
インターネットに接続する

① [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ダイヤルアップネットワーク] をクリックする

② 任意の名前(例:au.NET)のアイコンをダブルクリックする



③ 「ユーザー名」に「au@au-win.ne.jp」、「パスワード」に「au」と入力し、[接続] をクリックする



ダイヤラの使いかた

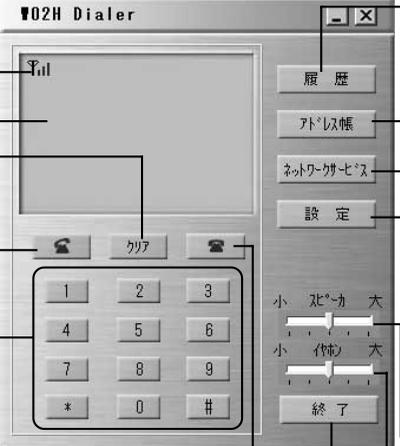
ダイヤラの起動

ダイヤラを起動する

次のいずれかの方法で起動します。起動するとダイヤラ画面が表示されます。

- ・ デスクトップの「W02H Dialer」アイコンをダブルクリックする
- ・ [スタート] → [すべてのプログラム] → [W02H] → [W02H Dialer] → [W02H Dialer]の順にクリックする

ダイヤラ画面の見かた

- 
- ① **電波の強さ**
「圏外」と表示されているときは通話できません。
- ② **ディスプレイ**
- ③ **【クリア】ボタン**
数字や文字を消去するときに使います。
- ④ **【発信】ボタン**
電話をかけたり受けたりするときに使います。
- ⑤ **ダイヤルボタン**
電話番号を入力するときに使います。
- ⑥ **【終話】ボタン**
通話を終了するときや着信拒否をするときに使います。
- ⑦ **【履歴】ボタン**
発信履歴、着信履歴、通知履歴画面を表示するときに使います。
- ⑧ **【アドレス帳】ボタン**
アドレス帳画面を表示するときに使います。
- ⑨ **【ネットワークサービス】ボタン**
ネットワークサービスの番号選択画面を表示するときに使います。
- ⑩ **【設定】ボタン**
各種設定画面を表示するときに使います。
- ⑪ **スピーカ音量設定バー**
着信音量を調節するときに使います。
- ⑫ **イヤホン音量設定バー**
受話音量を調節するときに使います。
- ⑬ **【終了】ボタン**
ダイヤラを終了するときに使います。

電話のかけかた／受けかた

自分の電話番号を確認する

① ダイヤラ画面で【設定】をクリックする

設定画面が表示され、電話番号を確認できます。



ダイヤラのバージョンを確認するには

設定画面で【バージョン】をクリックすると、ダイヤラのバージョンを確認することができます。

電話をかける

通話中の相手の声、電話をかけるときの「ツー」という音や「ツーツー…」という話中音は、イヤホンから聞こえます。パソコンからは聞こえませんので、あらかじめイヤホンマイクを接続して電話をおかけください。

① ダイヤラ画面で電話番号を入力する

ダイヤルボタンをクリックするか、パソコンの数字キーを押して入力します。



② をクリックする

「ツー」という音に続いて電話がかかります。



③ 相手が応答したら通話する



④ 通話が終わったら をクリックする

お知らせ

- データ通信中は電話をかけることはできません。
- 相手の方の携帯電話・PHSの電源が切ってあったり、電波の届かない地域にいるときには、接続できないことをアナウンスでお知らせします。
- 「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料金は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。
- 電話番号を修正するときは、[クリア]をクリックするか、パソコンのBackspaceキーを押します。
- 次の場合は発信した後、「ツーツ〜…」という話中音が聞こえます。  をクリックしてかけ直してください。
 - ・ 圏外るとき
 - ・ 相手がお話し中とき

電話を受ける

電話がかかってくると、パソコンとイヤホンの両方で着信音が鳴ります。

- ① 電話がかかってくると、W02Hの表示ランプが橙色で点滅し着信音が鳴る
ダイヤラを起動していなかった場合は、パソコンからの着信音は鳴りません。表示ランプの点滅とイヤホンからの着信音でお知らせします。通話するときはダイヤラを起動してください。
ダイヤラ画面を最小化していた場合は、最大化してお知らせします。

- ②  をクリックする



- ③ 通話する



- ④ 通話が終わったら  をクリックする

お知らせ

- お買い上げ時の着信音量は、5段階の3に設定されています。着信音量を変更するには、「着信音の音量を変える」(→P.91)をご参照ください。
- データ通信中は電話を受けることはできません。
- アドレス帳に登録されている相手からかかってくると、登録されている名前が表示されます。
- 相手から電話番号が通知されなかった場合は次のように表示されます。
非通知設定 : 相手が電話番号の通知を拒否した場合
公衆電話 : 相手が公衆電話からかけてきた場合
通知不可能 : 通知できない状況で電話をかけてきた場合
- 着信音が鳴っている間に  をクリックすると、着信を拒否することができます。相手には接続できなかったことを音声ガイダンスでお知らせします。

〈音声ガイダンスの内容〉

「こちらはauです。おかけになった電話を呼び出しましたが、お出になりません。」

※ お留守番サービス(→P.131)、着信転送サービスの無応答転送(→P.144)を設定している場合は、着信を拒否しても、お留守番サービス、着信転送サービスの設定が優先されます。

履歴を使う

発信履歴、着信履歴には、それぞれ20件まで記録されます。また、通知履歴には、伝言お知らせ(→P.135)と着信お知らせ(→P.137)が、合わせて20件まで記録されます。

※各履歴は記録できる件数を超えると、古いものから順に自動的に削除されます。

ダイヤラを起動していないときは、通知履歴に記録されません。

1 ダイヤラ画面で[履歴]をクリックする



■前にかけて相手に電話をかける（発信履歴）

- ① 履歴画面で [発信履歴] をクリックする
- ② かける相手をクリックし、[呼出] をクリックする



- ③  をクリックする

お知らせ

- 発信履歴には次の情報が表示されます。

発信先番号 : かけた相手の電話番号

発信先名 : アドレス帳に登録されている相手の名前

日時 : 電話をかけた日時

■かけてきた相手に電話をかける（着信履歴）

- ① 履歴画面で [着信履歴] をクリックする
- ② かける相手をクリックし、[呼出] をクリックする



- ③  をクリックする

お知らせ

- 着信履歴には次の情報が表示されます。

発信先番号 : かかってきた相手の電話番号

発信先名 : アドレス帳に登録されている相手の名前

ステータス : 着信を拒否した相手には「拒否」、また応答しなかった相手には「不在」の表示

日時 : 電話がかかってきた日時

■伝言や着信のお知らせを確認する(通知履歴)

① 履歴画面で[通知履歴]をクリックする

② 確認する伝言お知らせまたは着信お知らせをクリックし、[呼出]をクリックする



③  をクリックする

お知らせ

- 通知履歴には次の情報が表示されます。

発信先番号 : 伝言お知らせの場合はお留守番伝言再生の番号(→P.134)、
着信お知らせの場合はかかってきた相手の電話番号

発信先名 : アドレス帳に登録されている相手の名前
アドレス帳に登録されていない場合は非表示

日時 : 電話がかかってきた日時

- ダイヤラを起動していないときに通知された伝言お知らせ、着信お知らせは、通知履歴に表示されません。

履歴を削除する

- 履歴画面で削除する履歴をクリックし、[削除]をクリックする



発信履歴の例

お知らせ

- Shiftキーを押しながら履歴をクリックすると、複数の履歴を選択することができます、一度に削除することができます。

相手の声の音量を変える

- 通話中に、ダイヤラ画面のイヤホン音量設定バーを左右に動かす
受話音量は5段階で変更できます。



お知らせ

- W02Hを取り付けた状態であれば、待受中でも受話音量を変えることができます。

着信音の音量を変える

① ダイヤラ画面のスピーカ音量設定バーを左右に動かす

着信音量は5段階で変更できます。



着信音を鳴らさなくするには

ダイヤラのスピーカ音量設定バーを左端まで動かせば、着信音を鳴らさなくすることができます。

※ 着信音は、パソコン側のボリュームコントロールでも鳴らさなくすることができます。設定方法はお使いのパソコンの取扱説明書をご参照ください。

着信音を変える

① ダイヤラ画面で[設定]をクリックする

② 設定画面で[着信音選択]をクリックする



③ 着信音のパターンをクリックし、 [開く]をクリックする

あらかじめ5種類のパターンが用意されています。

ファイル名	着信音
bark.wav	犬の鳴き声
phone.wav	電話のベル音
sheep.wav	羊の鳴き声
smsalert.wav	電子音
windbell.wav	鐘の音



着信音を確認するには

設定画面で [着信音再生] をクリックすると、設定した着信音を確認することができます。再生を止めるときは、[着信音停止] をクリックします。

お知らせ

- お買い上げ時には着信音は「phone.wav」に設定されています。
- あらかじめ登録されている着信音のパターンのほかにも、WAVEファイルを着信音として利用することができます。

使用時間や使用パケット数を表示する

① ダイヤラ画面で [設定] をクリックする

② 使用時間や使用パケット数を確認する

[クリア] をクリックすると、使用時間や使用パケット数をリセットすることができます。



お知らせ

- 「使用時間」は電話を使用した時間の表示です。データ通信の時間は含まれません。

表示ランプを消灯する

- 1 ダイヤラ画面で[設定]をクリックする



- 2 [表示ランプOFF]をクリックする



お知らせ

- お買い上げ時には表示ランプはONに設定されています。
- 表示ランプを点灯させるときは、設定画面の[表示ランプON]をクリックします。
- 表示ランプの消灯を設定すると、待ち受け状態のとき消灯するだけでなく、電話がかかってきたときも点滅しません。

エニーキーアンサーを設定する

- 1 ダイヤラ画面で[設定]をクリックする



- 2 [エニーキーアンサーON]をクリックする



お知らせ

- エニーキーアンサーをONに設定するとダイヤラ画面上で  以外のボタン ([終了]および  ボタンは除く)をクリックしても電話に出られます。
- お買い上げ時にはエニーキーアンサーはOFFに設定されています。
- エニーキーアンサーの設定を解除するときには、設定画面の[エニーキーアンサーOFF]をクリックします。

アドレス帳

アドレス帳に登録する

① ダイアログ画面で[アドレス帳]をクリックする

② [追加]をクリックする



③ ヨミガナ、名前、電話番号、メモを入力し、[OK]をクリックする

ヨミガナは、先に名前を入力すると自動的に入力されます。



お知らせ

- アドレス帳には500件まで登録できます。
- ヨミガナは半角40文字まで、名前は全角20文字(半角40文字)まで入力できます。
- 電話番号は3件まで登録できます。
- 一般電話の電話番号を登録するときは市外局番から入力してください。
- メモには全角100文字(半角200文字)まで、必要に応じて覚え書きなどを入力することができます。

登録した電話番号にかける

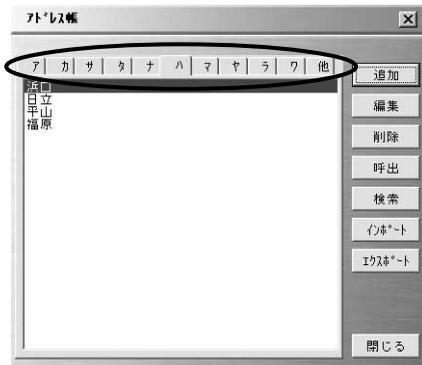
① ダイアログ画面で[アドレス帳]をクリックする

アドレス帳はヨミガナの五十音順で表示されます。

② ヨミガナの行(アカサタナ…他)をクリックする

③ かけるアドレスをクリックし、[呼出]をクリックする

④ をクリックする



ヨミガナ／名前／電話番号で検索するには

ヨミガナまたは名前に含まれる文字列でアドレス帳を検索することができます。

- 1 アドレス帳画面で[検索]をクリックする
- 2 検索の種類(ヨミガナ検索／名前検索／番号検索)をクリックする
- 3 検索する文字列、電話番号を入力し、[OK]をクリックする

検索文字列には全角20文字(半角40文字)まで入力することができます。

- 4 かけるアドレスをクリックし、[呼出]をクリックする
- 5  をクリックする

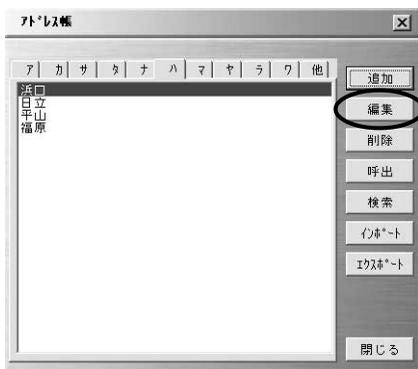


ヨミガナ検索の例



アドレス帳を修正する

- 1 アドレス帳画面またはアドレス帳検索結果画面で修正するアドレスをクリックし、[編集]をクリックする



- 2 内容を修正し、[OK]をクリックする

アドレス帳を削除する

- 1 アドレス帳画面またはアドレス帳検索結果画面で削除するアドレスをクリックし、[削除]をクリックする



- 2 [OK]をクリックする

お知らせ

- Shiftキーを押しながら削除するアドレス帳をクリックすると、複数のアドレスを選択することができ、一度に削除することができます。

履歴からアドレス帳に登録する

発信履歴、着信履歴、通信履歴の電話番号をアドレス帳に登録できます。

- 履歴画面で登録する電話番号をクリックし、[アドレス帳登録]をクリックする



発信履歴の例

- [新規登録]をチェックし、[OK]をクリックする
- ヨミガナ、名前を入力し、[OK]をクリックする

お知らせ

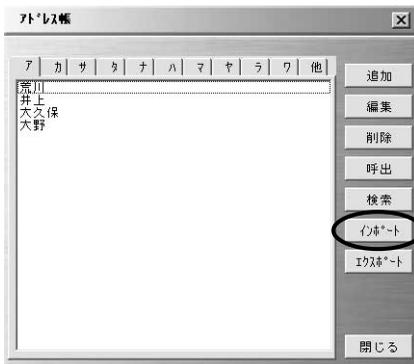
- 追加登録で登録済みのアドレスに電話番号だけ追加することができます。登録選択画面で[追加登録]をチェックするとアドレス帳画面が表示されますので、電話番号を追加するアドレスをクリックし、[編集]をクリックしてください。

テキストファイルやCSVファイルを利用する

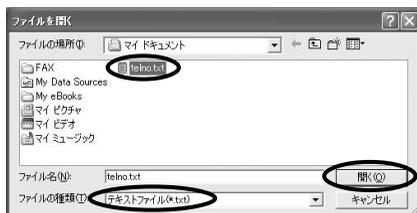
アドレス帳にテキストファイルやCSVファイル(カンマ区切り)からデータを取り込むことができます(インポート)。また、アドレス帳のデータをCSVファイルで出力することができます(エクスポート)。

■データをインポートする

- アドレス帳画面で[インポート]をクリックする



- ② [ファイルの場所] でファイルが保存されているフォルダを指定する
- ③ ファイルの種類を選択し、ファイルをクリックする
- ④ [開く] をクリックする



- ⑤ [閉じる] をクリックする

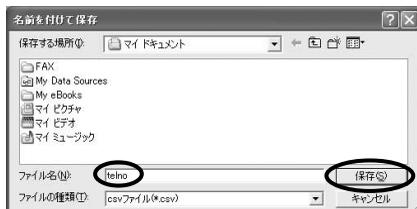


■データをエクスポートする

- ① アドレス帳画面で[エクスポート] をクリックする



- ② [ファイルの場所] でCSVファイルを保存するフォルダを指定する
- ③ ファイル名を入力し、[保存] をクリックする



PDAで使う

取り付けかた	100
インターネット接続	104
ダイヤラの使いかた	112

PDAには一定時間操作を行わないと、節電のため自動的に電源をOFFにする機能が設定されています。データ通信中または通話中にこの機能が作動するとデータ通信、通話も切断されますので、長時間のデータ通信、通話でPDAを操作しないときは、あらかじめ節電設定をOFFに設定してください。

取り付けかた

インターネット接続

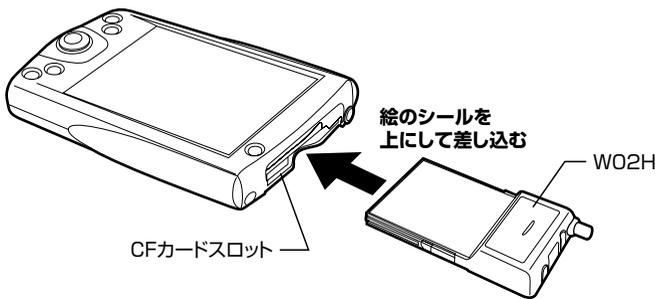
ダイヤラの使いかた

取り付けかた

PDAへの取り付けかた

PDAのCFカードスロットに差し込みます。W02Hは奥までしっかり差し込んでください。

PDAにW02Hを取り付ける前にダイヤラをインストールしてください。ダイヤラをインストールする前にW02Hを取り付けるとW02Hが正しく認識されません。



W02Hを取り外すときは

W02Hを取り外すときはW02Hをしっかり押さえて、真っすぐ引き抜いてください。
※ W02Hを取り外すときは、PDA側の操作は必要ありません。

● ご利用になれるPDAにつきましては、auのホームページ <http://www.au.kddi.com> をご参照ください。

アンテナについて

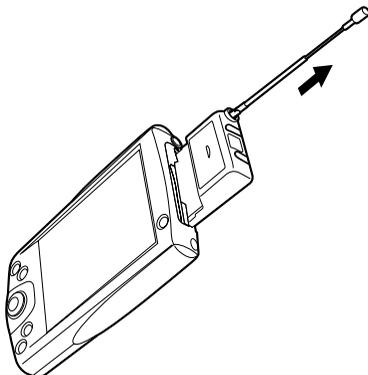
快適な通信をご利用いただくために内蔵アンテナを引き出してご使用いただくことを推奨いたします。なお、本製品は内蔵アンテナと外部アンテナから使用するアンテナを選ぶことができます。内蔵アンテナでは十分に受信できないような電波の弱い場所にいるときや移動中などは、外部アンテナを使用することを推奨いたします。

内蔵アンテナを使用する

内蔵アンテナを使用するときは、電波の状態に合わせて向きや角度を調節してください。

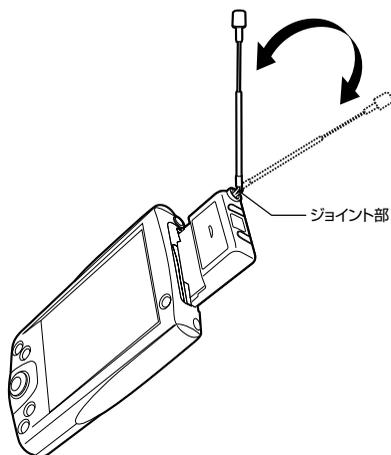
① アンテナの先端部を持ち、まっすぐ引き出す

最後までしっかり引き出してください。



② ジョイント部で折り曲げ、角度を調節する

ジョイント部の近くを持ち、折り曲げる方向をよく確認して折り曲げてください。



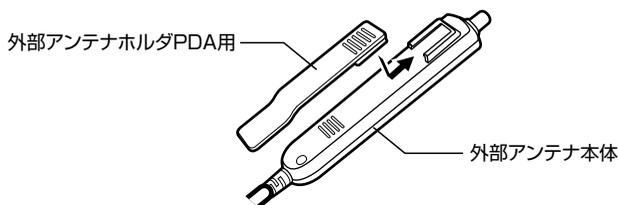
注意

- 通信中に内蔵アンテナを握ったりすると、電波を妨げる要因となることがあります。
- 内蔵アンテナに無理な力を加えないでください。故障の原因となります。
- 使用しないときや持ち運ぶときは、内蔵アンテナを収納し、W02HをPDAから取り外してください。

外部アンテナを使用する

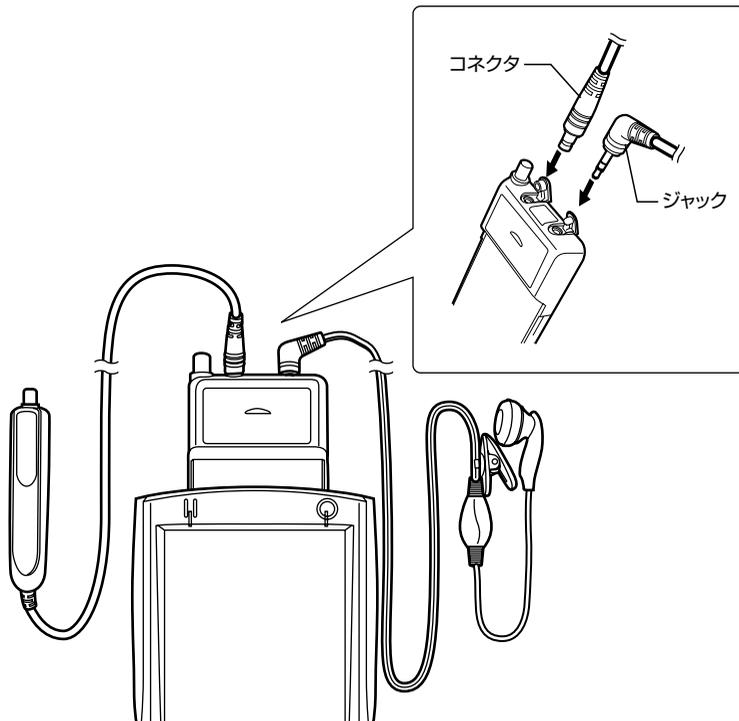
快適な通信をご利用いただくため、付属の外部アンテナのご使用を推奨いたします。

- ① 外部アンテナ本体に外部アンテナホルダーPDA用を取り付ける
衣服のポケットなどに取り付けます。

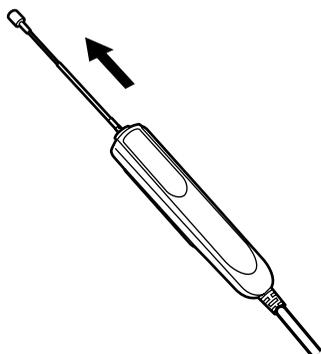


- ② 外部アンテナのコネクタをW02Hの外部アンテナ端子に、イヤホンマイクのジャックをW02Hのイヤホンマイク端子に差し込む

コネクタ/ジャックは無理に差し込まないでください。破損するおそれがあります。うまく差し込めない場合はいったんコネクタ/ジャックを抜き、再度差し込んでください。



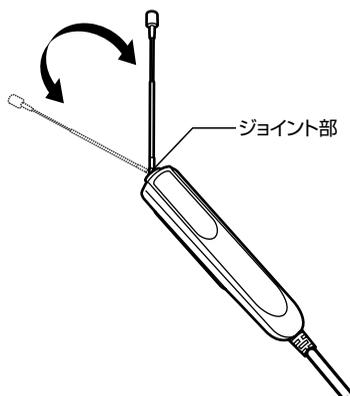
- ③ 外部アンテナの先端部を持ち、まっすぐ引き出す
最後までしっかり引き出してください。



- ④ ジョイント部で折り曲げ、角度を調節する

ジョイント部の近くを持ち、折り曲げる方向をよく確認して折り曲げてください。

※ 外部アンテナは引き出して使用することを推奨いたします。アンテナの向きを変えることにより、通信の品質がよくなる場合があります。



注意

- 外部アンテナに無理な力を加えないでください。故障の原因となります。
- 外部アンテナのケーブルをきつく束ねたり、折り曲げたりしないでください。ケーブル断線の原因となることがあります。
- 外部アンテナ使用時には、本体内蔵アンテナは収納してください。
- 使用しないときや持ち運ぶときは、アンテナを収納してください。

インターネット接続

準備

ダイヤラのインストール

PDAとパートナー関係にあるパソコンとを接続し、パソコンからPDAにダイヤラをインストールします。ダイヤラをインストールする前に、あらかじめパートナーシップの設定を完了しておいてください。

※パートナーシップの設定のしかたについては、PDAの説明書を参照してください。

- ① PDAをパソコンに接続する
- ② パソコンに付属のCD-ROMをセットする

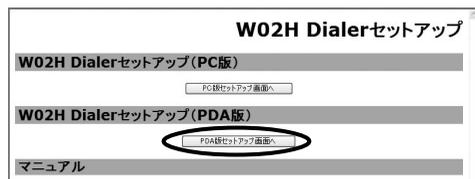
自動的にインストーラが起動します。

インストーラが自動的に起動しない場合は、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックし、次のように入力して[OK]をクリックしてください。

<例>CD-ROMドライブがDドライブの場合

d:¥index.htm

- ③ W02H Dialerセットアップ (PDA版) の [PDA版セットアップ画面へ] をクリックする



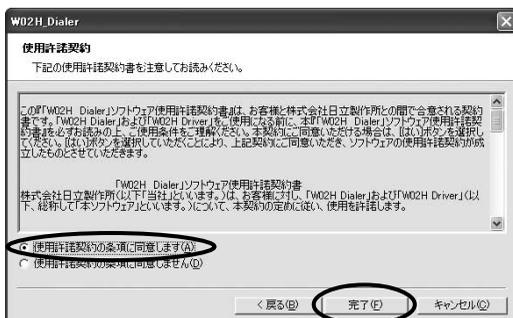
- ④ ご使用のPDAの機種を選択して [インストール] をクリックし、ファイルのダウンロード画面で [開く] をクリックする



⑤ [次へ] をクリックする



⑥ 使用許諾契約を読み、 [使用許諾契約の条項に同意します] をクリックして [完了] をクリックする



⑦ [はい] をクリックする



⑧ [OK] をクリックする



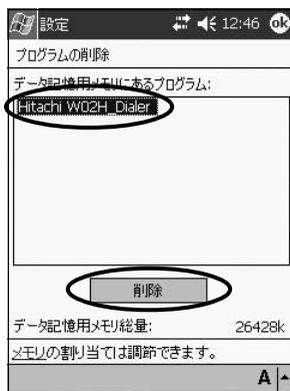
お知らせ

- ダイアラのインストールが完了すると、PDAには「セットアップが正常に完了しました。PDAをリセットします。」と表示されます。[OK] をタップしてください。

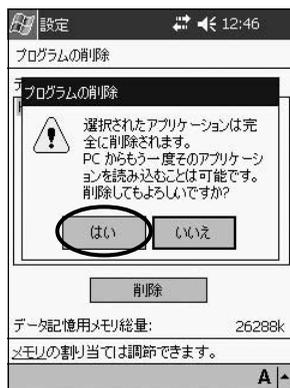
ダイヤラのアンインストール

ダイヤラをアンインストールするときは、PDAの操作で行います。

- ① [スタート]→[設定]の順にタップする
- ② 「システム」タブをタップし、「プログラムの削除」アイコンをタップする
- ③ [Hitachi WO2H Dialer]をタップし、[削除]をタップする



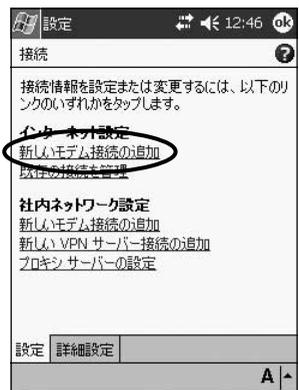
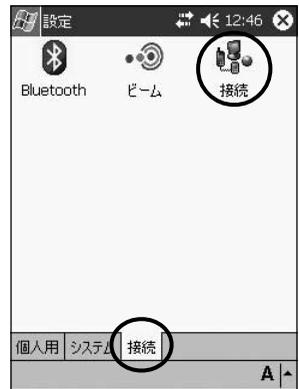
- ④ [はい]をタップする



接続を設定する

au.NETをご利用になる場合の設定例です。接続先のプロバイダから設定の指示がある場合は、それに従って設定してください。

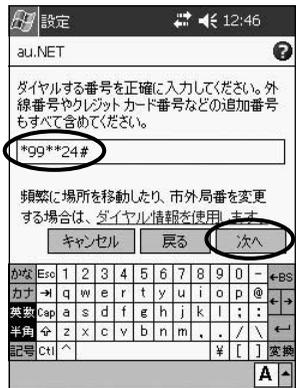
- ① W02Hを取り付ける(→P.98)
- ② [スタート]→[設定]の順にタップする
- ③ [接続]タブをタップし、[接続]アイコンをタップする
- ④ [インターネット設定]の[新しいモデム接続の追加]をタップする



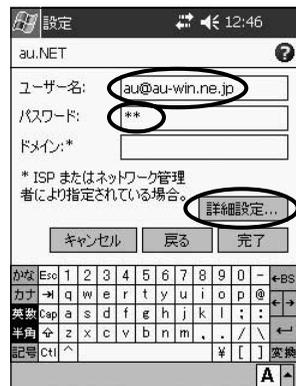
- 5 [接続名]に任意の名前(例:au.NET)を入力し、モデムの選択で[Hitachi WO2H]を選択し、[次へ]をタップする



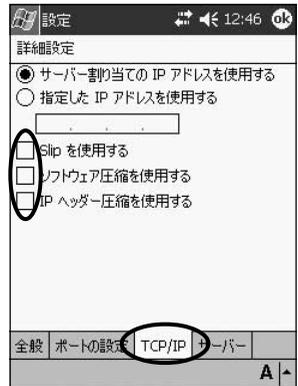
- 6 「ダイヤルする番号を正確に入力してください。…」に「*99**24#」と入力し、[次へ]をタップする



- 7 [ユーザー名]に「au@au-win.ne.jp」、[パスワード]に「au」と入力し、[詳細設定]をタップする



8 [TCP/IP] タブをタップし、すべてのチェックを外す

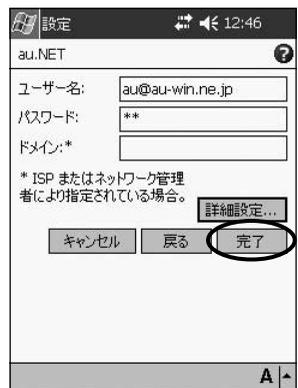


9 [サーバー] タブをタップし、次のように設定し、[OK] をタップする

- ・ [指定されたサーバーアドレス] をタップ
- ・ [プライマリDNS] に「210.196.3.183」と入力
- ・ [セカンダリDNS] に「210.141.112.163」と入力

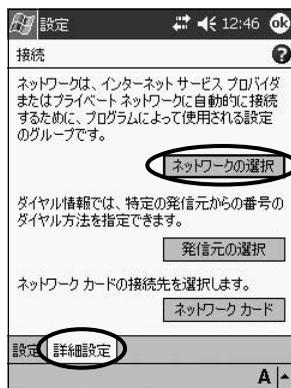


10 [完了] をタップする

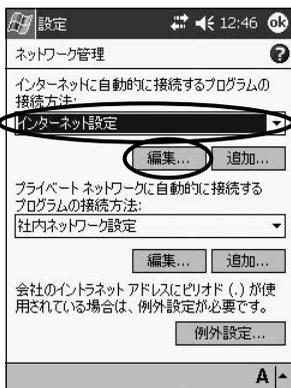


インターネットに接続する

- ① [スタート] → [設定] の順にタップする
- ② [接続] タブをタップし、[接続] アイコンをタップする
- ③ [詳細設定] タブをタップし、[ネットワークの選択] をタップする

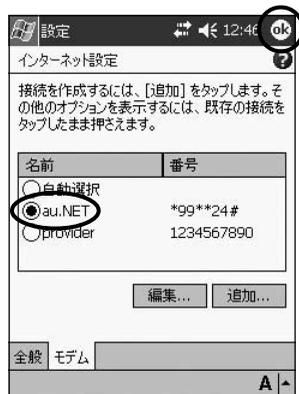


- ④ [インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法] で [インターネット設定] を選択し、[編集] をタップする



⑤ 名前(例:au.NET)をタップし、[OK]をタップする

Internet Explorerなどのインターネットに接続するプログラムを起動すると、ここで選択した接続で自動的に接続します。



お知らせ

- 操作 ⑤ で名前(例:au.NET)をタップしたまま押さえ、メニューから [接続] を選択すると、すぐに接続することができます。

注意

- PDAには一定時間操作を行わないと、節電のため自動的に電源をOFFにする機能が設定されています。データ通信中にこの機能が作動するとデータ通信も切断されますので、長時間のデータ通信でPDAを操作しないときは、あらかじめ節電設定をOFFに設定してください。

ダイヤラの使いかた

ダイヤラの起動

ダイヤラを起動する

- ① [スタート] → [プログラム] → [W02H Dialer] の順にタップする
ダイヤラ画面が表示されます。

注意

- PDAには一定時間操作を行わないと、節電のため自動的に電源をOFFにする機能が設定されています。通話中にこの機能が作動すると通話も切断されますので、長時間通話するときは、あらかじめ節電設定をOFFに設定してください。

ダイヤラ画面の見かた

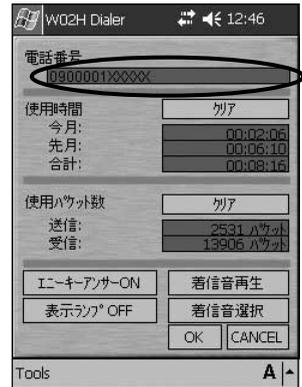
-
- ① 電波の強さ
「圏外」と表示されているときは通話できません。
- ② ディスプレイ
ダイヤラ画面の表示領域。
- ③ [クリア] ボタン
数字や文字を消去するときに使います。
- ④ [発信] ボタン
電話をかけた受けたりするときに使います。
- ⑤ ダイヤルボタン
電話番号を入力するときに使います。
- ⑥ [終了] ボタン
通話を終了するときや着信拒否をするときに使います。
- ⑦ [履歴] ボタン
発信履歴、着信履歴、通知履歴画面を表示するときに使います。
- ⑧ [アドレス帳] ボタン
アドレス帳画面を表示するときに使います。
- ⑨ [ネットワーク] ボタン
ネットワークサービスの番号選択画面を表示するときに使います。
- ⑩ [設定] ボタン
各種設定画面を表示するときに使います。
- ⑪ スピーカ受話音量設定バー
受話音量を調節するときに使います。
- ⑫ イヤホン着信音量設定バー
着信音量を調節するときに使います。
- ⑬ [終了] ボタン
ダイヤラを終了するときに使います。

電話のかけかた／受けかた

自分の電話番号を確認する

① ダイヤラ画面で[設定]をタップする

設定画面が表示され、電話番号が確認できます。



電話をかける

通話中の相手の声、電話をかけるときの「ツー」という音や「ツーツー…」という話中音は、イヤホンから聞こえます。PDAからは聞こえませんので、あらかじめイヤホンマイクを接続して電話をおかけください。

① ダイヤラ画面で電話番号を入力する

ダイヤルボタンをタップして入力します。



② をタップする

「ツー」という音に続いて電話がかかります。



③ 相手が応答したら通話する

④ 通話が終わったら をタップする



お知らせ

- データ通信中は電話をかけることはできません。
- 相手の方の携帯電話・PHSの電源が切ってあったり、電波の届かない地域にいるときには、接続できないことをアナウンスでお知らせします。
- 「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料金は、auのぶりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。
- 電話番号を修正するときは、[クリア]をタップします。
- 次の場合は発信した後、「ツーツー…」という話中音が聞こえます。  をタップしてかけ直してください。
 - ・ 圏外するとき
 - ・ 相手がお話し中のとき

電話を受ける

電話がかかってくると、PDAとイヤホンの両方で着信音が鳴ります。

① 電話がかかってくると、W02Hの表示ランプが橙色で点滅し着信音が鳴るダイヤラを起動していなかった場合は、PDAからの着信音は鳴りません。表示ランプの点滅とイヤホンからの着信音でお知らせします。通話するときはダイヤラを起動してください。

②  をタップする



③ 通話する

④ 通話が終わったら  をタップする



お知らせ

- お買い上げ時の着信音量は、5段階の3に設定されています。着信音量を変更するには、「着信音の音量を変える」(→P.120)をご参照ください。
- データ通信中は電話を受けることはできません。
- アドレス帳に登録されている相手からかかってくると、登録されている名前が表示されます。
- 相手から電話番号が通知されなかった場合は次のように表示されます。
非通知設定 : 相手が電話番号の通知を拒否した場合
公衆電話 : 相手が公衆電話からかけてきた場合
通知不可能 : 通知できない状況で電話をかけてきた場合
- 着信音が鳴っている間に  をタップすると、着信を拒否することができます。相手には接続できなかったことを音声ガイダンスでお知らせします。

〈音声ガイダンスの内容〉

「こちらはauです。おかけになった電話を呼び出しましたが、お出になりません。」

- ※ お留守番サービス(→P.131)、着信転送サービスの無応答転送(→P.144)を設定している場合は、着信を拒否しても、お留守番サービス、着信転送サービスの設定が優先されます。

履歴を使う

発信履歴、着信履歴には、それぞれ20件まで記録されます。また、通知履歴には、伝言お知らせ(→P.135)と着信お知らせ(→P.137)が、合わせて20件まで記録されます。

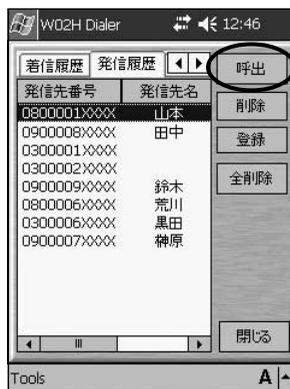
- ※各履歴は記録できる件数を超えると、古いものから順に自動的に削除されます。ダイヤラを起動していないときは、通知履歴に通知されません。

① ダイヤラ画面で[履歴]をタップする



■前にかけた相手に電話をかける（発信履歴）

- ① 履歴画面で[発信履歴]をタップする
- ② かける相手をタップし、[呼出]をタップする
- ③  をタップする



お知らせ

- 発信履歴には次の情報が表示されます。

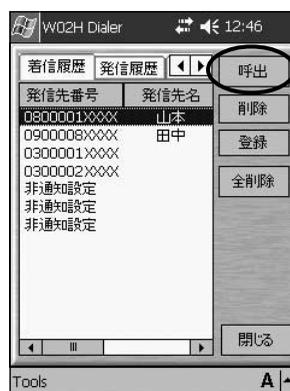
発信先番号 : かけた相手の電話番号

発信者名 : アドレス帳に登録されている相手の名前

日時 : 電話をかけた日時

■かけてきた相手に電話をかける（着信履歴）

- ① 履歴画面で[着信履歴]をタップする
- ② かける相手をタップし、[呼出]をタップする
- ③  をタップする



お知らせ

- 着信履歴には次の情報が表示されます。

発信者番号 : かかってきた相手の電話番号

発信者名 : アドレス帳に登録されている相手の名前

ステータス : 着信を拒否した相手には「拒否」、また応答しなかった相手には「不在」の表示

日時 : 電話がかかってきた日時

■伝言や着信のお知らせを確認する(通知履歴)

- 1 履歴画面で [通知履歴] をタップする
- 2 確認する伝言お知らせまたは着信お知らせをタップし、[呼出] をタップする
- 3  をタップする



お知らせ

- 通知履歴には次の情報が表示されます。

発信者番号 : 伝言お知らせの場合はお留守番伝言再生の番号(→P.136)、着信お知らせの場合はかかってきた相手の電話番号

発信者名 : アドレス帳に登録されている相手の名前

アドレス帳に登録されていない場合は非表示

日時 : 電話がかかってきた日時

- ダイアラを起動していないときに通知された伝言お知らせ、着信お知らせは、通知履歴に記録されません。

履歴を削除する

① 履歴画面で削除する履歴をタップし、[削除]をタップする

削除確認画面が表示されます。



発信履歴の例

② [OK] をタップする



履歴をすべて削除するには

履歴画面で[全削除]をタップすると、着信履歴、発信履歴、通知履歴ごとに、すべて削除することができます。

相手の声の音量を変える

① 通話中に、ダイヤラ画面のイヤホン音量設定バーを左右に動かす

受話音量は5段階で変更できます。



お知らせ

- W02Hを取り付けた状態であれば、待受中でも受話音量を変えることができます。

着信音の音量を変える

① ダイヤラ画面のスピーカ音量設定バーを左右に動かす

着信音量は5段階で変更できます。



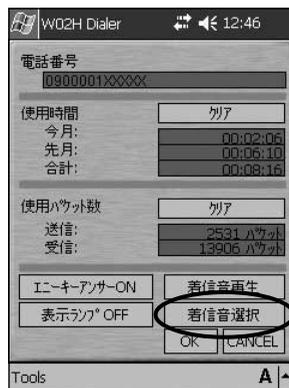
着信音を鳴らさなくするには

ダイヤラのスピーカ音量設定バーを左端まで動かせば、着信音を鳴らさなくすることができます。

※ 着信音は、PDA側のボリュームコントロールでも鳴らさなくすることができます。設定方法はお使いのPDAの取扱説明書をご参照ください。

着信音を変える

- ① ダイヤラ画面で[設定]をタップする
- ② 設定画面で[着信音選択]をタップする



- ③ 着信音のパターンをタップする
あらかじめ7種類のパターンが用意されています。

ファイル名	着信音
bark.wav	犬の鳴き声
cuckoo.wav	カッコウの鳴き声
phone.wav	電話のベル音
sheep.wav	羊の鳴き声
smsalert.wav	電子音
stopboth.wav	人の声
windbell.wav	鐘の音



着信音を確認するには

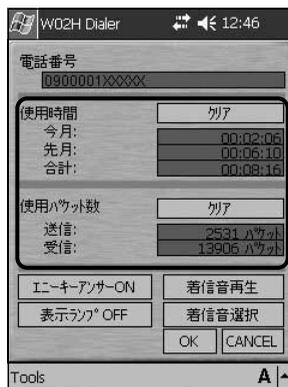
設定画面で[着信音再生]をタップすると、設定した着信音を確認することができます。再生を止めるときは、[着信音停止]をタップします。

お知らせ

- お買い上げ時には着信音は「phone.wav」に設定されています。
- あらかじめ登録されている着信音のパターンのほかにも、WAVEファイルを着信音として利用することができます。

使用時間や使用パケット数を表示する

- ① ダイヤラ画面で[設定]をタップする
- ② 使用時間や使用パケット数を確認する
[クリア]をタップすると、使用時間や使用パケット数をリセットすることができます。

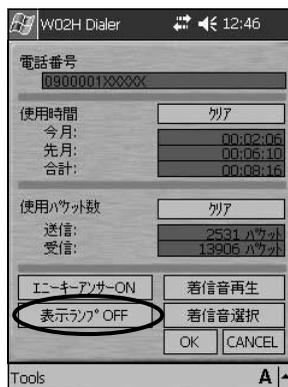


お知らせ

- [使用時間]は電話を使用した時間の表示です。データ通信の時間は含まれません。

表示ランプを消灯する

- ① ダイヤラ画面で[設定]をタップする
設定画面が表示されます。
- ② [表示ランプOFF]をタップする



- ③ [OK]をタップする

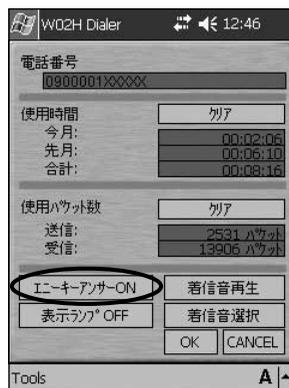


お知らせ

- お買い上げ時には表示ランプはONに設定されています。
- 表示ランプを点灯させるときは、設定画面の[表示ランプON]をタップします。
- 表示ランプの消灯を設定すると、待受状態のとき消灯するだけでなく、電話がかかってきたときも点滅しません。

エニーキーアンサーを設定する

- ① ダイヤラ画面で[設定]をタップする
- ② [エニーキーアンサーON]をタップする



- ③ [OK]をタップする



お知らせ

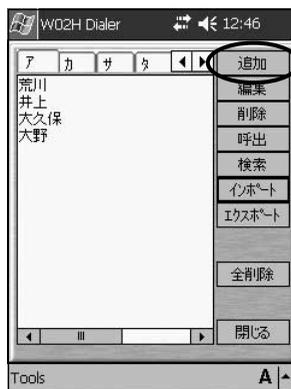
- エニーキーアンサーをONに設定すると、ダイヤラ画面上で  以外のボタン、([終了] および  ボタンは除く) をタップしても電話に出られます。
- お買い上げ時にはエニーキーアンサーはOFFに設定されています。
- エニーキーアンサーの設定を解除するときには、設定画面の[エニーキーアンサーOFF]をタップします。

アドレス帳

アドレス帳に登録する

① ダイアログ画面で[アドレス帳]をタップする

② [追加]をタップする



③ ヨミガナ、名前、電話番号、メモを入力し、[OK]をタップする

ヨミガナは、先に名前を入力すると自動的に入力されます。



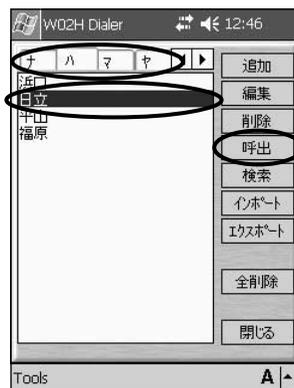
お知らせ

- アドレス帳には500件まで登録できます。
- ヨミガナは半角40文字まで、名前は全角20文字(半角40文字)まで入力できます。
- 電話番号は3件まで登録できます。
- メモには全角100文字(半角200文字)まで、必要に応じて覚え書きなどを入力することができます。

登録した電話番号にかける

アドレス帳はヨミガナの五十音順で表示されます。ヨミガナまたは名前で検索することもできます。

- ① **ダイヤラ画面で[アドレス帳]をタップする**
アドレス帳はヨミガナの五十音順で表示されます。
- ② **ヨミガナの行(アカサタナ…他)をタップする**
- ③ **かけるアドレスをタップし、[呼出]をタップする**
- ④ ** をタップする**



ヨミガナ／名前／電話番号で検索するには

ヨミガナまたは名前に含まれる文字列で検索することができます。

- 1 アドレス帳画面で[検索]をタップする
- 2 検索の種類(ヨミガナ検索／名前検索／電話番号検索)をタップする
- 3 検索する文字列、電話番号を入力し、[OK]をタップする
検索文字列には全角20文字(半角40文字)まで入力することができます。
- 4 かけるアドレスをタップし、[呼出]をタップする
- 5  をタップする

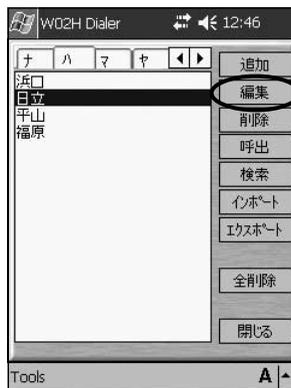


ヨミガナ検索の例



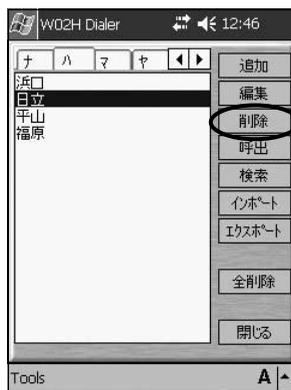
アドレス帳を修正する

- 1 アドレス帳画面またはアドレス帳検索結果画面で修正するアドレスをタップし、[編集]をタップする
- 2 内容を修正し、[OK]をタップする



アドレス帳を削除する

- 1 アドレス帳画面またはアドレス帳検索結果画面で削除するアドレスをタップし、[削除]をタップする
- 2 [OK]をタップする



アドレス帳をすべて削除するには

アドレス帳画面で[全削除]をタップすると、アドレス帳をすべて削除することができます。

履歴からアドレス帳に登録する

発信履歴、着信履歴、通知履歴の電話番号をアドレス帳に登録できます。

- 1 履歴画面で登録する電話番号をタップし、**[登録]**をタップする
- 2 **[新規登録]**をチェックし、**[OK]**をタップする
- 3 ヨミガナ、名前を入力し、**[OK]**をタップする



発信履歴の例

お知らせ

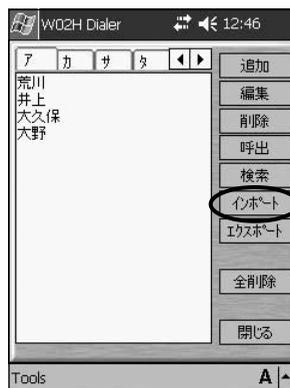
- 追加登録で登録済みのアドレスに電話番号だけ追加することができます。登録選択画面で「追加登録」をチェックするとアドレス帳画面が表示されますので、電話番号を追加するアドレスをタップし、**[編集]**をタップしてください。

テキストファイルを利用する

アドレス帳にテキストファイルからデータを取り込むことができます（インポート）。また、アドレス帳のデータをテキストファイルで出力することができます（エクスポート）。

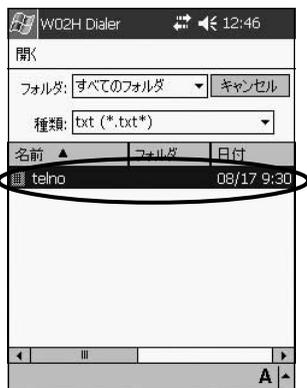
■データをインポートする

- 1 アドレス帳画面で**[インポート]**をタップする
- 2 **[フォルダ]**でテキストファイルが保存されているフォルダを指定する



③ テキストファイルをタップする

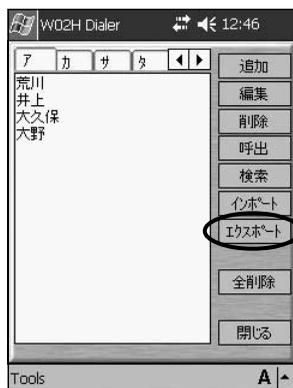
④ [閉じる]をタップする



■データをエクスポートする

① アドレス帳画面で[エクスポート]をタップする

② [フォルダ]でテキストファイルを保存するフォルダを指定する



③ ファイル名を入力し、[OK]をタップする



auの ネットワークサービス

利用できるauのネットワークサービス	130
お留守番サービス(標準サービス)	131
着信転送サービス(標準サービス)	143
割込通話サービス(標準サービス)	149
発信番号表示サービス(標準サービス)	152
番号通知リクエストサービス(標準サービス)	153
迷惑電話撃退サービス(オプションサービス)	154
通話明細分計サービス(オプションサービス)	156

利用できる auのネットワークサービス

■auのネットワークサービスについて

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

	サービス	掲載ページ
標準サービス	データ通信サービス	P.12
	Cメール*	—
	お留守番サービス(ボイスメール含む)	P.131
	着信転送サービス	P.143
	割込通話サービス	P.149
	発信番号表示サービス	P.152
	番号通知リクエストサービス	P.153
有料オプションサービス	三者通話サービス*	—
	迷惑電話撃退サービス	P.154
	通話明細分計サービス	P.156

※W02Hではご利用になれません。

お知らせ

- オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。お申し込み・お問い合わせは、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

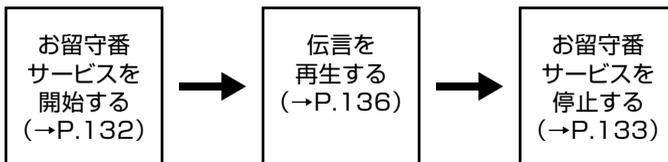
お留守番サービス (標準サービス)

電源を切っているとき、電波の届かない場所にいるとき、一定の時間が経過しても電話にでられなかったときなどに「お留守番サービス」で留守応答して相手からの伝言をお預かりするサービスです。

■お留守番サービスをご利用になる前に

- ご契約時は、お留守番サービスは開始状態に設定されています。
- お留守番サービスを開始しているときでも、電話がかかってくる着信音がおおよそ20秒間鳴り、この間は電話に出ることができます。
- お留守番サービスと着信転送サービス(→P.143)を同時に開始することはできません。お留守番サービスを起動中に着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(→P.153)を同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- 直接、お客様の伝言をお預かりすることもできます。「ボイスメール」(→P.140)

■お留守番サービスの開始から停止まで



■お留守番サービスでお預かりする伝言

お留守番サービスでは、次の通りに伝言をお預かりします。

お預かり(保存)する時間	48時間まで*1
お預かりできる件数	20件まで*2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから48時間以上経過している伝言は、順次自動的に消去されます。

※2 21件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、お預かりできないことをガイダンスでお知らせします。この件数にはボイスメール(→P.140)の伝言も含まれます。

■お留守番サービス総合案内(141)

総合案内への接続番号「141」を覚えていただければ、個々のダイヤル操作の番号を覚える必要がないので便利です。

① ダイヤル画面で「141」と入力→ 

② ガイダンスに従って操作する

お知らせ

● 総合案内では、次の機能を利用できます。

- ・ 伝言再生(1417)
- ・ 応答メッセージの録音/確認/変更(1414)
- ・ 外国語ガイダンスの設定/解除(14191/14190)
- ・ 不在通知の設定/解除(1610/1611)
- ・ 着信お知らせの開始/停止
- ・ 伝言お知らせの選択/変更

お留守番開始1

通話中にかかってきた電話も転送する場合は、お留守番開始1で開始します。

① ダイヤル画面で[ネットワークサービス]→「留守番開始1」を選択→[OK]
→ 

ダイヤル画面で「1411」と入力→  でも操作できます。

お留守番サービスに接続すると、サービスの開始をお知らせするガイダンスが流れて、お留守番サービスが開始されます。

② 

お留守番開始2

通話中にかかってきた電話を転送しない場合は、お留守番開始2で開始します。

① ダイヤル画面で[ネットワークサービス]→「留守番開始2」を選択→[OK]
→ 

ダイヤル画面で「1413」と入力→  でも操作できます。

お留守番サービスに接続すると、サービスの開始をお知らせするガイダンスが流れて、お留守番サービスが開始されます。

②

お知らせ

- 着信転送サービス(→P.143)と異なり、接続される条件を選択して設定することはできません。
- お留守番サービスを開始しているときでも、電話がかかってきたら着信音がおよそ20秒間鳴り、この間は電話にすることができます。
- 電話がかかってきたとき、以下の場合にお留守番サービスへ転送され、留守応答します
無応答転送：電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間(約20秒間)呼び出しても電話にでなかった場合
話中転送： 通話中にかかってきた場合(留守番開始1で設定した場合のみ)

お留守番停止

① ダイヤラ画面で[ネットワークサービス]→「留守番停止」を選択→[OK]→

ダイヤラ画面で「1410」と入力→  でも操作できます。

お留守番サービスに接続すると、サービスの停止をお知らせするガイダンスが流れて、お留守番サービスが停止されます。

②

お知らせ

- お留守番サービスを停止しても、録音された伝言や応答メッセージは消去されません。
- お留守番サービスを停止していても、伝言再生(1417)応答メッセージの録音/確認/変更(1414)の操作をすることができます。また、伝言お知らせ、および着信お知らせの設定変更の操作もできます。

サービス中に電話がかかってくると

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。よく電話をかけてくる方にお知らせしておくことをお勧めします。

① お留守番サービスで留守応答する

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、お客様が設定された応答メッセージで留守応答します。

電話をかけてきた相手は[#]をダイヤルすると、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップが禁止されている場合(→P.138)は、[#]をダイヤルしても応答メッセージはスキップしません。

② 伝言を録音する

録音時間は3分以内です。

伝言を録音したあと、操作3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

③ [#]をダイヤルして録音を終了する

録音終了後、ガイダンスに従い次のようにダイヤルして操作をすることができます。

目 的	操 作
録音した伝言を再生して、内容を確認する。	[1]
録音した伝言を[至急扱い]にする。(「至急扱い」にした伝言は、お客様が伝言を確認すると、他の「至急扱い」でない伝言より先に再生されます。)	[2]
録音した伝言を消去して、取り消す。	[9]
録音した伝言を消去して、録音し直す。	[*]

④ 電話を切る

お知らせ

- お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料金は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料金が発生します。

伝言お知らせ

伝言をお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。
伝言お知らせは通知履歴(→P.89,118)で確認することができます。



パソコンの場合



PDAの場合

■伝言お知らせが通知されるタイミング

伝言お預かり後、通知されます。通話中などですぐにお知らせできない場合がありますが、お留守番センターのリトライ機能によりお知らせすることができます。

お知らせ

- 伝言お知らせには「発番情報なし」(伝言の未聴/総件数のみのお知らせ)、「発番情報あり」(伝言の未聴/総件数、お預かりした時間、相手の電話番号などをお知らせ)の2種類があります。
- 「発番情報なし」、「発番情報あり」の保持期間はともに48時間ですが、それぞれ保持件数が異なります。「発番情報なし」は1件まで、「発番情報あり」は20件までです。
- ご契約時は、「発番情報あり」に設定されていますが、総合案内(→P.132)で「発番情報なし」へ設定変更することができます。
- 伝言お知らせが届く前に伝言を再生して消去した場合は、その伝言についてのお知らせは届きません。
- 伝言お知らせをご利用になる場合は、ダイヤラを起動してください。ダイヤラを起動していないときに通知された伝言お知らせは、通知履歴に記録されません。

お留守番伝言再生

- ① ダイアラ画面で[ネットワークサービス]→「留守録再生」を選択→[OK]→

ダイアラ画面で「1417」と入力→でも操作できます。

お留守番サービスに接続すると、伝言が再生され、その後はガイダンスが流れます。

- ② ガイダンスに従って操作する

目的	操作
同じ伝言をもう一度聞く。	[1]
伝言を保存する。	[2]
5秒間巻き戻して聞き直す。	[4]
伝言を一時停止(20秒間)する* ¹ 。	[5]
5秒間早送りして聞く。	[6]
伝言を消去する。	[9]
伝言再生中の操作方法を聞く。	[0]
次の伝言を聞く* ² 。	[#]
前の伝言を聞く* ² 。	[*]

※1 以外のボタンをクリック(タップ)すると、伝言の再生を再開します。

※2 再生中の伝言は保存されません。

- ③ 操作終了後に 

お知らせ

- 伝言を再生する前に、伝言が録音された日時を音声で通知します。
- 伝言再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言は常に新しい伝言として保存されます。
- 伝言は、お留守番サービスの留守応答でお預かりした場合も、ボイスメール(→P.140)でお預かりした場合も同じものとして扱われます。

着信お知らせ

お留守番サービスセンターに着信があったことを通知音と文字でお知らせします。着信お知らせは通知履歴(→P.89,118)で確認することができます。



パソコンの場合



PDAの場合

■着信お知らせが通知されるタイミング

相手の方が伝言を残さず電話を切ったあと、通知されます。通話中などですぐにお知らせできない場合がありますが、お留守番センターのリトライ機能によりお知らせすることができます。

お知らせ

- 着信お知らせは、電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間、相手の方の電話番号をお知らせします。
- 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知であっても番号の桁数が20桁以上の場合もお知らせしません。
- 着信お知らせの保持期間は約6時間、保持件数は最大4件です。
- ご契約時は、「着信お知らせ有り」に設定されていますが、総合案内(→P.132)で「着信お知らせ無し」へ設定変更することができます。
- 着信お知らせをご利用になる場合は、ダイヤラを起動してください。ダイヤラを起動していないときに通知された着信お知らせは、通知履歴に記録されません。

応答内容変更

現在設定されている応答メッセージの内容を確認／変更／録音／スキップ禁止などの設定を行うことができます。

① **ダイヤラ画面で「ネットワークサービス」→「留守録応答内容変更」を選択→[OK]→** 

ダイヤラ画面で「1414」と入力→  でも操作できます。

② **ガイダンスに従って操作する**

- ・ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージに設定する
→ [1] → 3分以内で応答メッセージを録音 → [#] → [#] → 
- ・ 名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージに設定する
→ [2] → 10秒以内で名前を録音 → [#] → [#] → 
- ・ 設定されている応答メッセージを確認する
→ [3] → 応答メッセージを確認 → 

お知らせ

- 録音できる応答メッセージは、各1件です。
- 応答メッセージは、お留守番サービスが停止中でも録音できます。
- ご契約時は既製タイプの応答メッセージに設定されています。
- 通常は、電話をかけてきた方が[#]を押すと応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)伝言の録音を開始できますが、応答メッセージを最後まで聞いてほしい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。

不在通知

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに不在通知を設定することもできます。この機能はお留守番サービスとボイスメールで伝言をお預かりせずに、お客様が録音された声で留守応答するものです。なお、この機能をご利用になる場合は、事前に「1411」もしくは「1413」でお留守番サービスを開始しておく必要があります。

■不在通知を設定する

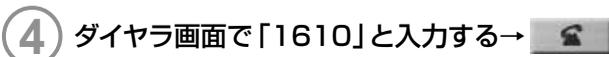
① **ダイヤラ画面で「ネットワークサービス」→「留守録応答内容変更」を選択→[OK]→** 

ダイヤラ画面で「1414」と入力→  でも操作できます。

お留守番サービスに接続するとガイダンスが流れます。

② 蓄積停止メッセージを録音する

[7]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]



■不在通知を解除する



お留守番サービスに接続するとガイダンスが流れます。



お知らせ

- 本機能ご利用後、「1410」でお留守番サービスを停止しても不在通知機能は解除できません。この状態で次に「1411」もしくは「1413」でお留守番サービスを開始すると、通常のお留守番サービスではなく、再び不在通知機能が設定されます。通常のお留守番サービスをご利用になるには、「1611」にダイヤルして不在通知を解除する必要があります。

遠隔操作サービス

W02H以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などからお留守番サービスの開始/停止、伝言の再生、応答メッセージの録音/確認/変更などができます。

① 090- 4444- XXXX に電話をかける

上記XXXXは、サービスの使用目的によって下記のようになります。

総合案内(伝言再生など)	「0141」	お留守番サービスの停止	「1410」
お留守番サービスの開始	「1411」、 「1413」	伝言再生	「1417」

② ご利用のW02Hの電話番号を入力→暗証番号(4桁)を入力

③ ガイダンスに従って操作する

お知らせ

- 遠隔操作を行う場合、暗証番号が必要になりますので、お忘れになりませんようご注意ください。
- 暗証番号を3回連続して間違うと、通話は切断されます。
- 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

ボイスメール

相手がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手呼び出すことなくお留守番サービスに直接伝言を録音するサービスです。また、相手がお留守番サービスを停止していても伝言を残すことができます。

ボイスメールを送信する

■ W02Hからボイスメールを送信する

① ダイヤラ画面で「1612+送信先のau電話番号」を入力→

② ガイダンスに従って伝言を録音する

■ボイスメールでお預かりする伝言

ボイスメールでは、次のように伝言をお預かりします。

お預かり(保存)する時間	48時間まで※1
お預かりできる件数	20件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから48時間以上経過している伝言は、順次自動的に消去されます。

※2 21件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、録音できないことをガイダンスでお知らせします。この中にはお留守番サービスの伝言も含まれます。

お知らせ

● ボイスメールを送信したときに相手が電話にでることはありません。

ボイスメールを再生する

ボイスメールをお預かりすると、お留守番サービスの伝言と同様に、通知音と文字でお知らせします。(→P.135)

ボイスメールの再生は、お留守番サービスの「お留守番伝言再生」(→P.136)と同じ方法で再生してください。

遠隔操作サービス

W02H以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから伝言を再生することができます。ボイスメールの遠隔操作は、お留守番サービスの「遠隔操作サービス」(→P.140)と同じ方法で操作してください。

英語ガイドンス

お留守番サービスの操作ガイドンスや、応答メッセージを日本語から外国語（英語）に変更することができます。

- ① ダイヤル画面で【ネットワークサービス】→【英語ガイドンス英語】を選択→【OK】→ 

ダイヤル画面で「14191」と入力→  でも操作できます。

外国語（英語）ガイドンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

- ② 

お知らせ

- ご契約時は日本語ガイドンスに設定されています。

日本語ガイドンス

お留守番サービスの操作ガイドンスや、応答メッセージを外国語（英語）から日本語に変更することができます。

- ① ダイヤル画面で【ネットワークサービス】→【英語ガイドンス日本語】を選択→【OK】→ 

ダイヤル画面で「14190」と入力→  でも操作できます。

日本語ガイドンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

- ② 

ご利用料金

月額使用料について	無 料
特番へのダイヤル操作	ダイヤルする特番に関わりなく、蓄積された伝言を聞いた場合は通話料金がかかります。伝言がないときなど、伝言を聞かなかった場合は通話料金がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料金がかかります。
伝言の録音	伝言を残す場合、伝言を残した方の電話に通話料金がかかります（お留守番サービスに転送する旨のガイドンス中に電話を切った場合には通話料金は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料金が発生します）。

着信転送サービス (標準サービス)

お客様が電話にでられないときに、かかってきた電話を登録した別の電話に転送するサービスです。電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話など、転送する条件を無応答転送、話中転送、フル転送の3つから選ぶことができます。

■サービス特番

無応答転送	「1422+転送先電話番号」
話中転送	「1423+転送先電話番号」
フル転送	「1424+転送先電話番号」
サービスの停止	「1420」

※W02Hは[選択転送]ができません。

■無応答転送

W02Hの電源がOFFのとき、電波が届かない場所にいるとき、またはかかってきた電話にでられないときに、かかってきた電話を転送します。

■話中転送

ほかの電話との通話中にかかってきた電話を転送します。

■フル転送

かかってきた電話をすべて転送します。

■転送停止

着信転送サービスを停止します。

お知らせ

- 転送先電話番号に「184」や「186」をつけないでください。着信転送サービスが設定できなくなります。
- 転送先が一般電話の場合は、市外局番からダイヤルしてください。
- 海外へ電話を転送することもできます。(→P.146)
- 緊急電話(110/119/118)、時報/天気予報(117/177)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できないようになっています。
- 着信転送サービスを開始していても、電話をかけることができます。また、無応答転送サービスをセットしているときでも、電話がかかってきたら、着信音が鳴っている間(約20秒間)は、電話にでることができます。着信転送サービスの応答時間(約20秒間)は変更することはできません。
- 着信転送サービスとお留守番サービス(→P.131)同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
- 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(→P.153)を同時に開始すると、番号通知リクエストサービスを優先します。
- 転送の種類を変更するときは、転送を停止してから設定し直してください。

無応答転送

電波の届かない場所にいるときや、電源が切つてあるときなど、かかってきた電話にでられないときに電話を転送します。

- ① ダイアログ画面で[ネットワークサービス]→「着信転送(無応答)」を選択→[OK]



パソコンの場合

- ② 転送先電話番号を入力→ 

ダイアログ画面で「1422+転送先電話番号」→  でも操作できます。
設定が完了したことを伝えるガイダンスが流れます。

**お知らせ**

- 前回と同じ転送先へ設定する場合には、「14212」と入力→  で再設定することができます。

話中転送

通話中にかかってきた電話を転送します。

- ① ダイヤラ画面で[ネットワークサービス]→[着信転送(話中)]を選択→[OK]



パソコンの場合

- ② 転送先電話番号を入力→ 

ダイヤラ画面で「1423+転送先電話番号」→  でも操作できます。
設定が完了したことを伝えるガイダンスが流れます。

**お知らせ**

- 前回と同じ転送先へ設定する場合には、「14213」と入力→  で再設定することができます。
- 話中転送と割込通話サービス(→P.149)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

フル転送

かかってくるすべての電話を転送します。

① ダイヤラ画面で[ネットワークサービス]→「着信転送(フル転送)」を選択→[OK]

② 転送先電話番号を入力→ 

ダイヤラ画面で「1424+転送先電話番号」→  でも操作できます。

設定が完了したことを伝えるガイダンスが流れます。

③ 



パソコンの場合

お知らせ

- フル転送が設定されているとお客様のW02Hは呼び出されません。
- 前回と同じ転送先へ設定する場合には、「14214」と入力→  で再設定することができます。

■同時に開始している場合の優先順位

①フル転送 ②話中転送 ③無応答転送

海外の電話に転送するには

KDDI(001)の国際電話サービスをお申し込みになれば、海外の電話に転送することができます。

<例>アメリカの「212-123××××」に転送する場合

① XXXXをダイヤルする

上記XXXXは、転送の種類によって下記ようになります。

無応答転送	「1422」
話中転送	「1423」
フル転送	「1424」

② 

- ③ 「001 (KDDI国際アクセスコード)→010→国番号→市外局番→転送先電話番号」と入力する



■海外の電話に転送する(注)

KDDI 国際電話サービスについてのお申し込み・お問い合わせは下記へ

一般電話・au 電話から
 0120-786-001(通話料金無料)
 受付時間 毎日9:00~20:00

(注) KDDI以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話事業者で転送できない場合があります。また、au国際電話サービス(005345)での転送はご利用いただけません。

転送停止

- ① ダイヤラ画面で[ネットワークサービス]→「着信転送(停止)」を選択→[OK]→

ダイヤラ画面で「1420」→ でも操作できます。

設定を解除したことを伝えるガイダンスが流れて、着信転送サービスが停止されます。



パソコンの場合

遠隔操作サービス

W02H以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから着信転送サービスの転送開始(無応答転送、話中転送、フル転送)、サービス停止ができます。

① 090- 4444- XXXX に電話をかける

上記XXXXは、転送の種類によって下記のようになります。

無応答転送開始	「1422」	フル転送開始	「1424」
話中転送開始	「1423」	サービス停止	「1420」

② ご利用のW02Hの電話番号を入力する

③ 暗証番号(4桁)を入力する

④ ガイダンスに従って操作する

お知らせ

- 遠隔操作を行う場合、暗証番号が必要になりますので、お忘れになりませんようご注意ください。
- 暗証番号を3回連続して間違うと、通話は切断されます。
- 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンを送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

ご利用料金

月額使用料		無料
サービス使用料	サービス開始(1422~1424)	無料
	サービス停止(1420)	無料
	電話が転送されたとき、相手の方からW02Hまでの通話料金 ●電話をかけてきた方のご負担となります。	有料
	電話が転送されたとき、W02Hから転送先までの通話料金 ●お客様のご負担となります。*	有料

※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際通信事業者からのご請求となります。

割込通話サービス (標準サービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留して、後からかけてきた方と通話ができます。

なお、W02Hで割込通話を受けることができるのは、音声通話中の場合のみとなります。パケット通信中は割込通話サービスが開始に設定されていても、割込通話を受けることはできません。

■割込通話を受けるには（Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合）

① 通話中に割込音が聞こえる

「ブップッ…ブップッ…」という音が繰り返し鳴ります。

②

Bさんと通話できます。

この間Aさんとの通話は保留となり、Aさんには「ブルルルッブーッ」という音が聞こえます。



をクリックもしくはタップするたびに、通話の相手が切り替わります。

③

お知らせ

- 新規にご加入いただいた際には、割込通話サービスは「開始」に設定されていますので、すぐにご利用いただけます。
-  をクリックもしくはタップすると、通話中・保留中の両方の通話が終了します。
- 通話中に相手が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
- 割込通話時の着信は着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知・非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割込禁止

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手との通話だけ、割り込みを禁止させることができます。

- 1 ダイヤラ画面で[ネットワークサービス]→「割込禁止」を選択→[OK]
→相手先電話番号を入力する→ 

ダイヤラ画面で「1452+相手先電話番号」と入力→  でも操作できます。

お知らせ

- 発信の際に、発信者番号を通知する／しないを設定することができます。その場合、必ず「184(発信者番号非通知)／186(発信者番号通知)」を先にダイヤルしてください。
184+1452+相手先電話番号： 発信者番号を通知しない
186+1452+相手先電話番号： 発信者番号を通知する
「1452+186+相手先電話番号」の順では相手につながりません。184についても同じです。
- 割込禁止の通話中に別の相手から電話があった場合は、お話し中になります。

割込通話開始

割込通話サービスの設定(開始/停止)を切り替えることができます。

- 1 ダイヤラ画面で[ネットワークサービス]→「割込通話開始」を選択→[OK]
→ 

ダイヤラ画面で「1451」→  でも操作できます。

割込通話サービスを開始するアナウンスが流れます。

割込通話停止

① ダイヤラ画面で[ネットワークサービス]→「割込通話停止」を選択→[OK]
→ 

ダイヤラ画面で「1450」→  でも操作できます。

割込通話サービスを停止するアナウンスが流れます。

お知らせ

- 初めてご利用になる場合は、開始状態になっています。
- 割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(→P.153)を同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(→P.154)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- 「最大2.4Mbpsエリア」で、Packet通信中に割込通話サービスが「停止」に設定されていると、一部のサービスで設定どおりに動作しなくなる場合があります。割込通話サービスが「開始」に設定されているときは、設定どおりに動作しますが、パケット通信中は割込通話を受けることはできません。

ご利用料金

月額使用料	無料
通話料金	電話をかけてきた方のご負担(保留中でも通話料金はかかります)

発信番号表示サービス (標準サービス)

電話をかけるときにお客様の電話番号を相手の方の電話機に通知したり、電話がかかってきたときに相手の方の電話番号をディスプレイに表示させたりすることができます。

発信時の操作について(自分の電話番号の通知)

相手の方の電話番号の前に「184」または「186」を付加してダイヤルすることによって、通話ごとにお客様の電話番号を通知する／しないを指定することができます。

	操作手順
電話番号を通知する場合	相手先電話番号+ 
	186+相手先電話番号+ 
電話番号を通知しない場合	184+相手先電話番号+ 

お知らせ

- ダイヤル画面で[ネットワークサービス]→「発信非通知」または「発信通知」の選択→[OK]で「184」や「186」を電話番号に付加することができます。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けてください。
- 電話番号を通知しても、相手方のネットワークおよび電話機によってはお客様の電話番号が表示されないことがあります。

着信時の表示について(かけてきた相手の電話番号の表示)

電話がかかってきたときに相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

ダイヤル表示	非通知理由
「非通知設定」	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけた場合
「公衆電話」	相手の方が公衆電話からかけている場合
「通知不可能」	相手が国際電話、一部地域系電話、CATV 電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけてきた場合

お知らせ

- 電話をかけてきた相手の方の名前と電話番号がアドレス帳に登録してあると、電話がかかってきたときに電話番号と名前が表示されます。
- 割込通話に対しても発信者番号の表示ができます。

番号通知リクエストサービス (標準サービス)

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

番号通知リクエストサービス開始

- ① **ダイヤル画面で[ネットワークサービス]→「番号通知リクエスト開始」を選択→[OK]→**  **でも操作できます。**
ダイヤル画面で「1481」と入力→  **でも操作できます。**
設定が完了したことをお知らせするガイダンスが流れます。

番号通知リクエストサービス停止

- ① **ダイヤル画面で[ネットワークサービス]→「番号通知リクエスト停止」を選択→[OK]→**  **でも操作できます。**
ダイヤル画面で「1480」と入力→  **でも操作できます。**
設定が完了したことをお知らせするガイダンスが流れます。

お知らせ

- 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
- サービスの開始・停止の際の通話料金はかかりません。
- 電話をかけてきた相手の方が、意図的に電話番号を通知してこない場合は相手の方に、「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しおかけ直してください」とガイダンスが流れます。
- 電話をかけてきた相手の方にガイダンスが流れると相手の方に通話料金がかかります。
- お留守番サービス(→P.131)、着信転送サービス(→P.143)、割込通話サービス(→P.149)のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス(→P.154)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- 以下の条件の着信時には、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・ 公衆電話、国際電話
 - ・ その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

迷惑電話撃退サービス (オプションサービス)

※別途お申し込みが必要です。

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話したあとに「1442」とダイヤルすると、次回からの発信者からの電話を「受信拒否ガイダンス」に接続するサービスです。

受信拒否リスト登録

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

- ① **ダイヤル画面で[ネットワークサービス]→「迷惑電話拒否リスト登録」を選択→[OK]→** 

ダイヤル画面で「1442」と入力→  でも操作できます。

設定が完了したことをお知らせするガイダンスが流れます。

- ② 

お知らせ

- お留守番サービス(→P.131)、着信転送サービス(→P.143)、割込通話サービス(→P.149)、番号通知リクエストサービス(→P.153)のそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- 電話をかけてきた相手の方に受信拒否ガイダンスが流れると、相手の方に通話料金がかかります。
受信拒否ガイダンスの内容：「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」
- 受信拒否リストへ登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録するといちばん古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
- 電話番号の通知のない着信についても、受信拒否リストに登録できます。
- 以下の条件からの着信時には、受信拒否リストへは登録できません。
 - ・ 警察、消防、海上保安本部
 - ・ 公衆電話、国際電話
- 受信拒否リストに登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合も受信拒否ガイダンスに接続されます。
- 受信拒否リストに登録した相手でも以下の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・ 国際ローミング中のau電話からの着信

受信拒否リスト削除

- 1 ダイヤラ画面で[ネットワークサービス]→「迷惑電話拒否リストの最後の登録を削除」を選択→[OK]→ 

ダイヤラ画面で「1448」と入力→  でも操作できます。

最後に登録した電話番号を削除したことをお知らせするガイダンスが流れます。

お知らせ

- 受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合、常に新しい登録から順に1件ずつ削除します。

受信拒否リスト全削除

- 1 ダイヤラ画面で[ネットワークサービス]→「迷惑電話拒否リスト全登録内容を削除」を選択→[OK]→ 

ダイヤラ画面で「1449」と入力→  でも操作できます。

受信拒否リストに登録した電話番号をすべて削除したことをお知らせするガイダンスが流れます。

ご利用料金

月額使用料		有料
サービス使用料	受信拒否リスト登録(1442)	無料
	最後の登録を削除(1448)	無料
	すべての登録を削除(1449)	無料

付録

ATコマンド	158
故障かな?と思ったら	162
アフターサービス	171
主な仕様	173
索引	174

ATコマンド

ATコマンドについて

W02HはATコマンドに準拠しています。通常はダイヤラなどの通信ソフトがATコマンドを発行するため、ATコマンドを意識する必要はありません。独自にW02Hを制御して通信を行いたいときは、ハイパーターミナルなどの通信ソフトウェアを利用して、ATコマンドを入力してください。

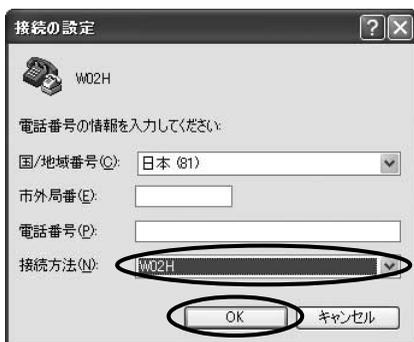
■ATコマンドの入力例

操作は、Windows XPのハイパーターミナルを使用してATコマンドを入力する例です。「AT」に続いてコマンドとパラメータを入力し、Enterキーを押します。「AT」およびコマンドの入力は、大文字、小文字どちらでもかまいません。

- ① W02Hをパソコンに取り付ける
- ② [スタート] → [すべてのプログラム] (または [プログラム]) → [アクセサリ] → [通信] → [ハイパーターミナル] の順にクリックする
- ③ [名前] に任意の名前 (例: W02H) を入力し、[OK] をクリックする



- ④ **【接続方法】で【W02H】を選択し、【OK】をクリックする**
接続画面が表示されます。



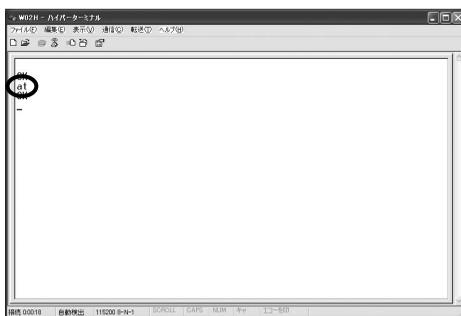
- ⑤ **【キャンセル】をクリックする**



- ⑥ **「at」と入力し、Enterキーを押す**

W02Hと通信できる状態になっていると、【OK】と表示されます。

「ati6」と入力してEnterキーを押すと、W02Hの電話番号を確認することができます。



ATコマンドリファレンス

ATコマンド

コマンド	パラメータ	説明
D	電話番号	Packet通信で発信する
E	0	コマンドエコーしない
	1 (初期値)	コマンドエコーする
H	0	通信を切断する 切断が完了すると、オンラインコマンドモードからコマンドモードへ 遷移する パラメータ0は省略可、0以外はERRORを返す
I	1	製品名を表示する (W02H)
	3	製造メーカー名を表示する (HITACHI)
	5	製品バージョンを表示する
	6	電話番号を表示する
Q	0 (初期値)	リザルトコードを返す
	1	リザルトコードを返さない (インフォメーション・レスポンスは返す)
V	0	リザルトコードを数字形式で返す リザルトコード <数字><CR> インフォメーション・レスポンス <text><CR><LF>
	1 (初期値)	リザルトコードを文字形式で返す リザルトコード <CR><LF> <文字><CR><LF> インフォメーション・レスポンス <CR><LF> <text><CR><LF>
Z	0	不揮発性メモリに保存されている内容でリセットする オンラインモード時は実行できない
&D	2	データ端末レディ信号がONからOFFになると通信を切断し、オンラ インモードからオフラインコマンドモードに遷移する Packet通信の場合、インアクティブモードへ遷移する
&F	0	工場出荷時の設定にリセットする パラメータ0は省略可、0以外はERRORを返す オンラインモード時は初期化して通信を切断する

コマンド	パラメータ	説明
&W	—	現在の設定を不揮発性メモリに保存する 適用範囲 EO-E1、Q0-Q1、V0-V1、&D2

リザルトコード

パソコンから送られたATコマンドにW02Hが応答して、リザルトコードの形式でパソコンに信号を送り動作状態を通知します。

リザルトコードには文字形式と数字形式があり、Vコマンドで使用する形式を変更できます。

数字形式	文字形式	説明
0	OK	コマンドが正常に実行されました
1	CONNECT	オンラインモード遷移時に、このコードを送ります
3	NO CARRIER	オフラインモード遷移時に、このコードを送ります
4	ERROR	コマンドの入力エラー、または実行できないコマンドです
29	DELAYED	通信が規制中です

故障かな?と思ったら

■パソコンの場合

症状	原因	ページ
W02Hを差し込んで もパソコンがまったく 反応しない	● PCカードアダプタとW02Hが正しくパソコンに接続されていない可能性があります。 PCカードアダプタとW02Hをもう一度、奥までしっかりと差し込んでください。	22
	● 省エネタイプのパソコンではPCカードへの電源をOFFにしているものがあります。 パソコンの取扱説明書に従い、電源の状態を確認してください。	—
	● W02Hがパソコンに正しく認識されていない可能性があります。 モデムとして正しく認識されていることを確認してください。	166
	● W02Hのドライバが正常に機能していない可能性があります。 ドライバが正常に機能しているか確認してください。	166
	● リソースが競合している可能性があります。 システムのデバイスマネージャでリソースの競合などがないことを確認してください。リソースが競合している場合は、赤外線機能やプリンタポートなどを、使用しないデバイスに設定してリソースを空けてください。	—
ダイヤラで電話がか けられない	● PCカードアダプタとW02Hが正しくパソコンに接続されていない可能性があります。 PCカードアダプタとW02Hをもう一度、奥までしっかりと差し込んでください。	22
	● W02Hがパソコンに正しく認識されていない可能性があります。 モデムとして正しく認識されていることを確認してください。	166
	● W02Hのドライバが正常に機能していない可能性があります。 ドライバが正しくインストールされていることを確認してください。	166
	● データ通信中の可能性があります。 データ通信中は電話をかけることができません。 データ通信が終了していることを確認してください。	—
着信音が鳴らない	● パソコンのボリュームコントロールがミュートに設定されている可能性があります。 パソコン側でミュートを解除してください。	—

症状	原因	ページ
「ダイヤル先のコンピュータが応答しません」と表示される	● ご利用になるプロバイダへの接続設定が正しくない可能性があります。 設定内容を確認してください。	168
「モデムは他のネットワークまたは他のプログラムが使用中です」と表示される	● W02Hがパソコンに正しく認識されていない可能性があります。 モデムとして正しく認識されていることを確認してください。	166
	● W02Hのドライバが正常に機能していない可能性があります。 ドライバが正しくインストールされていることを確認してください。	166
	● ご利用になるプロバイダへの接続設定が正しくない可能性があります。 設定内容を確認してください。	168
モデムが正しく応答しない	● モデムの設定が正しくない可能性があります。 モデムの設定を確認してください。	167
インターネットに接続できない	● ご利用になるプロバイダとの契約が完了していない可能性があります。 ご利用になるプロバイダとの契約が完了しているか確認してください。	—
	● ご利用になるプロバイダへの接続設定が正しくない可能性があります。 設定内容を確認してください。	168
データ通信ができない	● 通話中の状態の可能性があります。 通話中はデータ通信できません。ダイヤラを終了してください。	—
データ通信時、相手につながるとすぐに切れてしまう	● 通信条件の設定が通信相手と合っていない場合があります。 通信方式の種類・ID番号・パスワード・データ形式などを確認してください。また、サーバーの設定・TCP/IPの設定も確認してください。	168
通信が安定しない	● 電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。 W02Hの表示ランプを確認してください。電波状況が悪ければ、電波状況のよいところ（表示ランプが緑色に点滅する）まで移動してください。	20
	● 通信相手とデータ形式が合っていない可能性があります。 データ形式を確認してください。	167
通信速度が遅く感じる	● 電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。 W02Hの表示ランプを確認してください。電波状況が悪ければ、電波状況のよいところ（表示ランプが緑色に点滅する）まで移動してください。	20
	● 通信条件の設定が通信相手と合っていない場合があります。 通信方式の種類・ID番号・パスワード・データ形式などを確認してください。また、サーバーの設定・TCP/IPの設定も確認してください。	168

症状	原因	ページ
通信をしていないのにパソコン本体の電力を消耗する	● 通信ソフトウェアを起動していると通信してなくても電力を消耗します。 通信をしないときは、できるだけ通信ソフトウェアを終了させるようにしてください。	—
	● パソコン本体より電源を供給しますので、W02Hを取り付けたままだとパソコン本体の電力を消耗します。 W02Hを使用していないときは取り外してください。	22
付近のテレビやラジオなどに雑音はいる	● W02Hは電子機器ですので若干ながらノイズを発生します。これは法令でも許容されているごく微弱な量ですが、近くに置かれたテレビやラジオに影響を与えることもあります。 テレビやラジオからパソコンやW02Hを離すようにしてください。	7

■PDAの場合

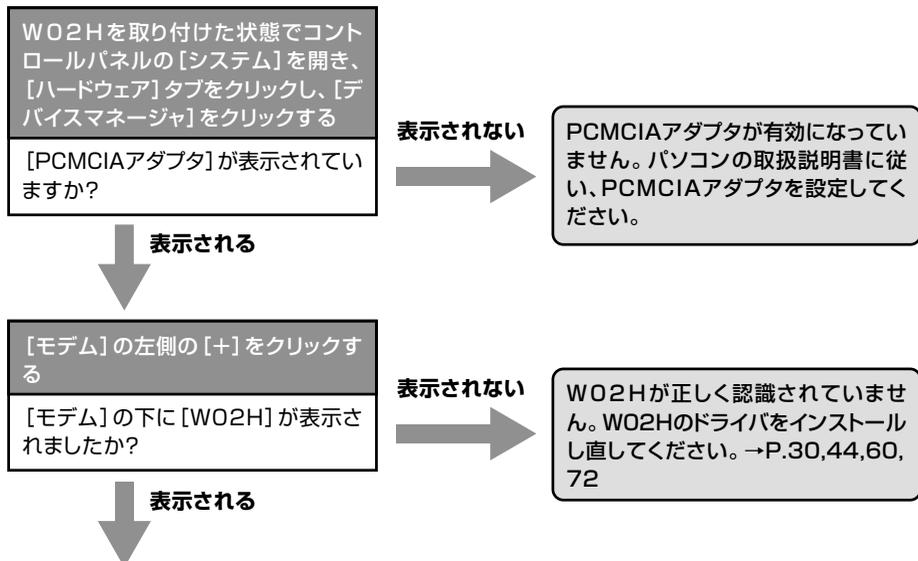
症状	原因	ページ
W02Hを差し込んでもPDAがまったく反応しない	● W02Hが正しくPDAに接続されていない可能性があります。 W02Hをもう一度、奥までしっかりと差し込んでください。	100
ダイヤラで電話がかかけられない	● W02Hが正しくPDAに接続されていない可能性があります。 W02Hをもう一度、奥までしっかりと差し込んでください。	100
	● データ通信中の可能性があります。 データ通信中は電話をかけることができません。 データ通信が終了していることを確認してください。	—
インターネットに接続できない	● モデムの設定が正しくない可能性があります。 モデムの設定を確認してください。	169
	● ご利用になるプロバイダとの契約が完了していない可能性があります。 ご利用になるプロバイダとの契約が完了しているか確認してください。	—
	● ご利用になるプロバイダへの接続設定が正しくない可能性があります。 設定内容を確認してください。	169
データ通信ができない	● 通話中の状態の可能性があります。 通話中はデータ通信できません。ダイヤラを終了してください。	—
データ通信時、相手につながるとすぐに切れてしまう	● 通信条件の設定が通信相手と合っていない場合があります。 通信方式の種類・ID番号・パスワード・データ形式などを確認してください。また、サーバーの設定・TCP/IPの設定も確認してください。	169

症状	原因	ページ
通信が安定しない	● 電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。 W02Hの表示ランプを確認してください。電波状況が悪ければ、電波状況のよいところ（表示ランプが緑色に点滅する）まで移動してください。	20
	● 通信相手とデータ形式が合っていない可能性があります。 データ形式を確認してください。	169
通信速度が遅く感じる	● 電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。 W02Hの表示ランプを確認してください。電波状況が悪ければ、電波状況のよいところ（表示ランプが緑色に点滅する）まで移動してください。	20
	● 通信条件の設定が通信相手と合っていない場合があります。 通信方式の種類・ID番号・パスワード・データ形式などを確認してください。また、サーバーの設定・TCP/IPの設定も確認してください。	169
通信をしていないのにPDAの電力を消耗する	● PDAより電源を供給しますので、W02Hを取り付けたままだとPDAの電力を消耗します。 W02Hを使用していないときは取り外してください。	—
付近のテレビやラジオなどに雑音がはいる	● W02Hは電子機器ですので若干ながらノイズを発生します。これは法令でも許容されているごく微弱な量ですが、近くに置かれたテレビやラジオに影響を与えることもあります。テレビやラジオからPDAやW02Hを離すようにしてください。	7

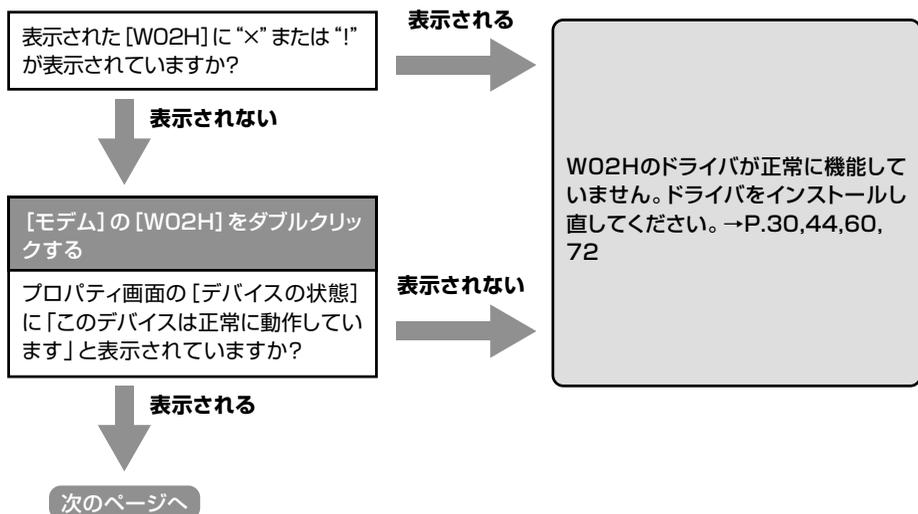
WO2Hが動作しないときの確認方法 (パソコンの場合)

確認方法は、Windows XPの例です。なお、Windows 2000、Windows Me、Windows 98 SEでも、Windows XPに準じた手順で確認できます。

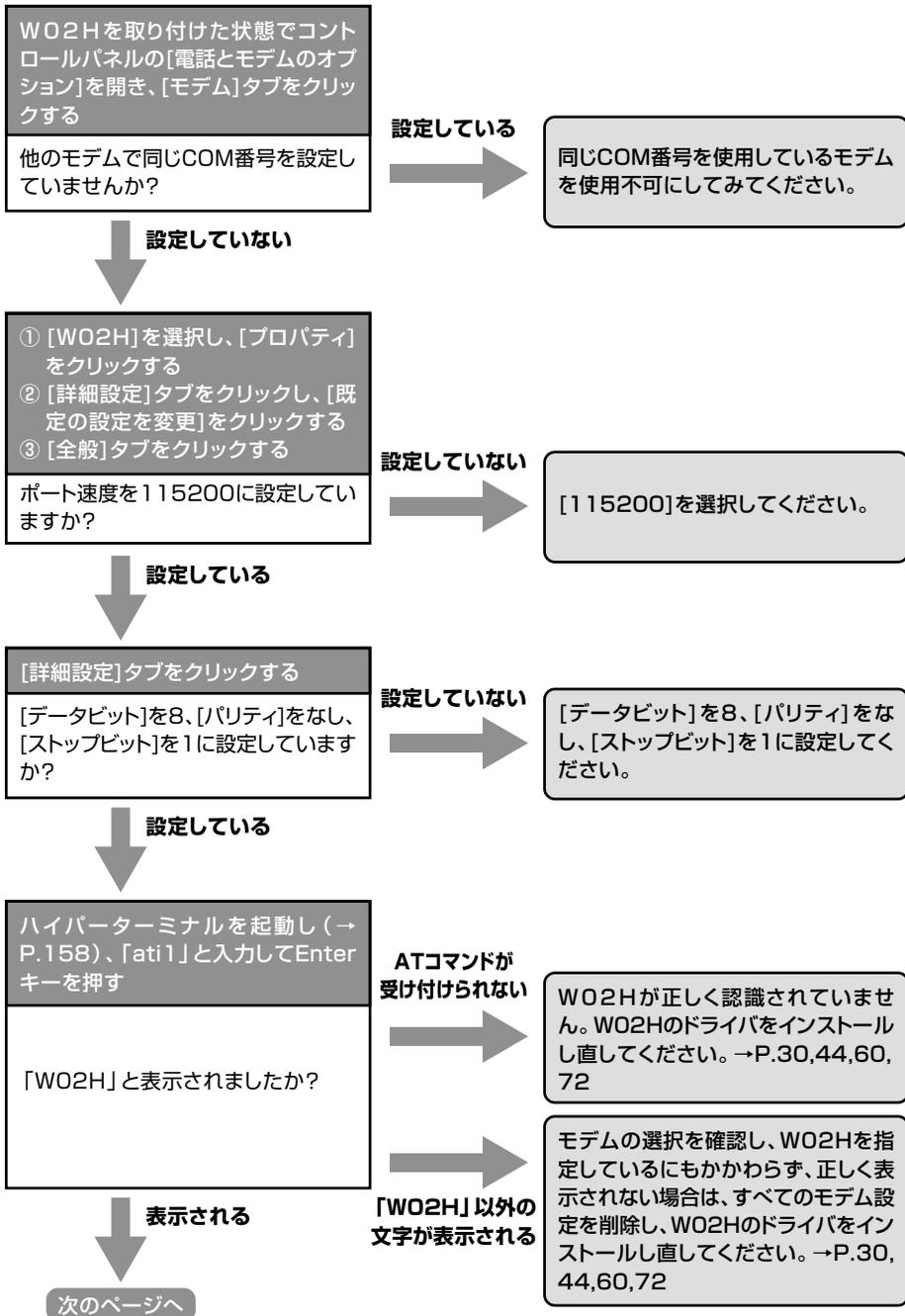
■接続を確認する



■ドライバを確認する



■モデムの設定を確認する



故障かな？と思ったら

付録

■接続の設定を確認する

コントロールパネルの[ネットワーク接続]を開き、WO2H用に作成した接続のアイコンをダブルクリックする
ユーザー名、パスワードは正しいですか？
[ダイヤル]に接続先の番号が正しく入力されていますか？

正しくない



正しい



[プロパティ]をクリックし、[ネットワーク]タブをクリックする
[インターネットプロトコル(TCP/IP)]がチェックされていますか？

正しくない



正しい



[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックし、[プロパティ]をクリックする
IPアドレス、DNSサーバなどの設定が、プロバイダに指定されたとおりになっていますか？

正しくない



正しく設定し直してください。

◎以降の操作は、通信料が発生しますので、ご注意ください。



インターネットに接続する→P.40, 56, 68, 82
接続中と表示され、その後、選択した接続先に正しく接続されましたか？

接続されない



もう一度、接続の設定内容を確認しても誤りがない場合は、ご利用になるプロバイダへ設定内容が正しいかお問い合わせください。

接続される



確認終了

故障かな？と思ったら

付録

W02Hが動作しないときの確認方法 (PDAの場合)

■モデムを確認する

- ① [スタート]→[設定]をタップし、[接続]タブをタップする
- ② [既存の接続を管理]をタップする
- ③ W02H用に作成した接続を選択し、[編集]をタップする

[モデムの選択]で[W02H]を選択していますか？

選択していない

[W02H]を選択してください。[モデムの選択]に[W02H]がない場合は、W02Hが正しく認識されていません。ダイヤラをインストールし直してください。→P.104

選択している

■接続の設定を確認する

- ① [スタート]→[設定]をタップし、[接続]タブをタップする
- ② [既存の接続を管理]をタップする
- ③ W02H用に作成した接続を選択し、[編集]をタップする
- ④ [次へ]をタップする

接続先の番号が正しく入力されていますか？

正しくない

正しく設定し直してください。

正しい

[次へ]をタップする

ユーザー名、パスワードは正しいですか？

正しくない

正しい

[詳細設定]をタップし、[ポートの設定]をタップする

[データビット]を8、[パリティ]をなし、[ストップビット]を1に設定していますか？

正しくない

正しい

次のページへ

[TCP/IP] タブをタップする
IPアドレスなどが、プロバイダに指定されたとおりになっていますか？

正しくない

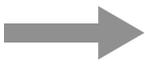


正しい



[サーバー] タブをタップする
DNSサーバーなどの設定が、プロバイダに指定されたとおりになっていますか？

正しくない



正しい



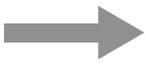
正しく設定し直してください。

◎以降の操作は、通信料が発生しますので、ご注意ください。



インターネットに接続する→P.110
接続先に正しく接続されましたか？

接続されない



接続される



もう一度、接続の設定内容を確認しても誤りがない場合は、ご利用になるプロバイダへ設定内容が正しいかお問い合わせください。

確認終了

アフターサービス

■修理を依頼されるときは

修理については、auショップもしくはauお客様センターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

※修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

■補修用性能部品について

当社はこの本製品およびその周辺機器の補修用性能部品を製造終了後6年間保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記auお客様センターへお問い合わせください。

auお客様センター(故障案内)

一般電話からは  0077-7-113(通話料金無料)

au電話からは 局番なしの113番(通話料金無料)

■auあんしんサービスについて

盗難、紛失などで、ご利用のW02Hが使用できなくなったとき、通常の機種変更価格よりお求めやすい価格で新しいW02Hをご提供させていただくサービスです。

補償対象	盗難・紛失など
補償期間	お買い上げ後1年間（補償は1回限りとなります。）
補償内容	同一機種（W02H） ※在庫状況によっては、同一機種をご提供できない場合もあります。

- ※ 盗難、紛失されたW02Hが後日発見された場合でも、お客様ご負担金の返金はございません。
- ※ 以前、利用されていたW02Hを持ち込みで新規加入、機種変更をした場合は、「auあんしんサービス」が受けられません。
- ※ 補償によりご提供したW02Hは「auあんしんサービス」を受けられません。
- ※ お客様の分解による事故、故意による事故は、補償の対象となりません。
- ※ 契約者ご本人以外のお客様が事故にあった場合でも、お客様ご負担金は契約者ご本人の負担になります。
- ※ 「auあんしんサービス」にて変更されたW02Hのご利用期間は0からとなります。（auご加入年数は継続されます。）
- ※ auショップ、PiPitでのサービスとなります。

auあんしんサービスお問い合わせ先

一般電話からは  0077-7-111（通話料金無料）

au電話からは 局番なしの157番（通話料金無料）

主な仕様

●W02H

サイズ(W×H×D)	約43mm×約73mm×約11mm(突起物を除く)
外形	CFカード(PCカードアダプタ使用時、PCカードType II対応)
質量	約30g
使用電源	DC3.3V±5%(PC/PDAカードスロットより供給)
最大消費電流	約850mA
環境条件	動作温度範囲: 5~40℃ 動作湿度範囲: 30~85%(結露しないこと)
制御コマンド	Hayes(ヘイズ)ATコマンド準拠
通信速度	最大2.4 Mbps

●外部アンテナ

サイズ(W×H×D)	約16mm×約80mm×約11mm(アンテナ、ケーブル、突起物を除く)
質量	約22g
コネクタ	専用コネクタ

索引

アルファベット

ATコマンド	158
auあんしんサービス	172
auお客様センター	171
auのネットワークサービス	129
DNSサーバーアドレス	
PDA	109
Windows 2000	53
Windows 98 SE	81
Windows Me	67
Windows XP	39
PacketWIN	12
PDA	107
Windows 2000	51
Windows 98 SE	78
Windows Me	65
Windows XP	36
PCカードアダプタ	16,22

あ

アドレス帳で電話をかける	
PDA	125
パソコン	95
アドレス帳の検索	
PDA	125
パソコン	95
アドレス帳の削除	
PDA	126
パソコン	96
アドレス帳の登録	
PDA	124
パソコン	94
アドレス帳へのデータインポート	
PDA	127
パソコン	97

アドレス帳へのデータエクスポート	
PDA	128
パソコン	98
アフターサービス	171
アンインストール	
PDA	106
Windows 2000	48
Windows 98 SE	75
Windows Me	62
Windows XP	34
イヤホンマイク	17,19
イヤホンマイク端子	18
インターネットに接続する	
PDA	110
Windows 2000	56
Windows 98 SE	82
Windows Me	68
Windows XP	40
エニーキーアンサー	
PDA	123
パソコン	93
お留守番サービス	131
英語ガイダンス	142
遠隔操作サービス	140
応答内容変更	138
お留守番開始1	132
お留守番開始2	132
お留守番停止	133
お留守番伝言再生	136
ご利用料金	142
サービス中に電話がかかってくると	134
着信お知らせ	137
伝言お知らせ	135
日本語ガイダンス	142
不在通知	138

ボイスメール	140
音声通話	14

か

カードケース	16
カードスロットコネクタ	18
外部アンテナ	17,19
PDA	102
パソコン	24
外部アンテナ端子	18

さ

受話音量	
PDA	120
パソコン	90
使用時間／使用パケット数	
PDA	122
パソコン	92

た

ダイヤラ画面	
PDA	112
パソコン	83
ダイヤラのインストール	
PDA	104
Windows 2000	41
Windows 98 SE	69
Windows Me	57
Windows XP	26
着信お知らせ	137
着信音パターンの変更	
PDA	121
パソコン	91
着信音量	
PDA	120
パソコン	91
着信転送サービス	143
遠隔操作サービス	148
海外の電話に転送するには	146
ご利用料金	148
転送停止	147

フル転送	146
無応答転送	144
話中転送	145

着信履歴

PDA	117
パソコン	88

通知履歴

PDA	118
パソコン	89

通話明細分計サービス

伝言お知らせ

電話を受ける

PDA	115
パソコン	86

電話をかける

PDA	113
パソコン	84

電話番号の確認

PDA	113
パソコン	84

ドライバのインストール

Windows 2000	44
Windows 98 SE	72
Windows Me	60
Windows XP	30

な

内蔵アンテナ

PDA	101
パソコン	23

は

発信番号表示サービス

着信時の表示について	152
発信時の操作について	152

発信履歴

PDA	117
パソコン	88

番号通知リクエストサービス

番号通知リクエストサービス開始 ..	153
番号通知リクエストサービス停止 ..	153

表示ランプ	18,20
表示ランプの消灯	
PDA	122
パソコン	93

ま

迷惑電話撃退サービス	154
ご利用料金	155
受信拒否リスト削除	155
受信拒否リスト全削除	155
受信拒否リスト登録	154

わ

割込通話サービス	149
ご利用料金	151
割込禁止	150
割込通話開始	150
割込通話停止	151

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部について、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブリを行ったり、それに関与してはなりません。

この取扱説明書で説明する機器は、以下の米国特許のうち的一件または複数に基づいて製造されています。

4,901,307	5,056,109	5,101,501	5,109,390	5,228,054	5,267,261
5,267,262	5,337,338	5,414,796	5,416,797	5,490,165	5,504,773
5,506,865	5,511,073	5,535,239	5,544,196	5,568,483	5,600,754
5,657,420	5,659,569	5,710,784	5,778,338		

その他の件については、特許出願中

Hayes (ヘイズ) は、米国 Hayes Micro Computer Products, Inc. の登録商標です。
Microsoft® および Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、本書で記載している会社名、製品名などは各社の商標、および登録商標です。

とくに本文中では、® マーク、™ マークは明記しておりません。

お問い合わせ先番号

au お客様センター(総合案内)

一般電話からは

 **0077-7-111**

(通話料金無料)

au 電話からは

局番なしの157番

(通話料金無料)

Pressing "zero" will connect you
to an operator, after calling "157"
on your au cellphone.



携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず④マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

発売元：KDDI(株)
沖縄セルラー電話(株)
製造元：株式会社 日立製作所

2005年8月第3版